

神川町まちづくりアンケート調査
報 告 書

平成18年10月

神 川 町

- 目 次 -

調査の概要

1．調査の目的.....	1
2．調査の設計.....	1
3．回収結果.....	1
4．報告書の手引き.....	1

調査の結果

回答者の属性

(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 世帯.....	3
(4) 居住地.....	4
(5) 職業.....	5
(6) 就学先・勤務先.....	6
(7) 家族.....	7

本 編

1．住みよさと定住意向	
(1) 神川町の住みよさ.....	8
(2) 住みにくいと感じる理由.....	10
(3) 住み続けたいか.....	12
2．満足度と重要度	
(1) 生活環境やまちづくりの現状についての満足度.....	13
(2) 生活環境やまちづくりの現状についての重要度.....	15
(3) 満足度と重要度の分析.....	17
(4) 地区別にみる満足度と重要度.....	20
3．属性にみる満足度と重要度	
(1) 保健（健診・健康管理など）.....	27
(2) 医療.....	28
(3) 高齢者への支援.....	28
(4) 障害者への支援.....	29
(5) 子育て支援（保育所など）.....	29

(6) 公園.....	30
(7) 道路整備.....	30
(8) 鉄道・バス.....	31
(9) 上水道.....	31
(10) 汚水処理（下水道、合併処理浄化槽）.....	32
(11) ごみ処理・収集.....	32
(12) ごみの不法投棄.....	33
(13) 公害防止.....	33
(14) 防災.....	34
(15) 交通安全.....	34
(16) 防犯.....	35
(17) 農業振興.....	35
(18) 工業振興.....	36
(19) 商業振興.....	36
(20) 観光振興.....	37
(21) 林業振興.....	37
(22) 幼児教育（幼稚園など）.....	38
(23) 学校教育.....	38
(24) 生涯学習環境.....	39
(25) スポーツ振興.....	39
(26) 歴史・文化の保全・活用.....	40
(27) 国際交流.....	40
(28) 男女共同参画.....	41
(29) 地域の情報化.....	41
(30) 行財政運営.....	42
4 . 町政について	
(1) 町政への関心度.....	43
(2) 町政に関する情報を得る手段.....	44
(3) 町政に関する情報は十分か.....	45
(4) 町への意見・要望を伝える手段.....	46
5 . 分野ごとの力を入れるべき事業	
(1) 保健福祉.....	48
(2) 都市基盤.....	50
(3) 生活環境.....	52
(4) 産業振興.....	54
(5) 教育文化.....	56
(6) 男女共同参画.....	58

6 . 重要なこと・優先すべきこと・大切なこと	
(1) 教育のあり方.....	60
(2) 生涯学習.....	62
(3) 行財政.....	64
(4) 少子化対策、子育て支援.....	66
(5) 住民参加.....	68
7 . 将来の姿と自慢できるもの	
(1) 将来の姿.....	70
(2) 自慢できるもの.....	73
8 . 行政について	
(1) サービスと住民負担.....	75
(2) まちづくりで参加したい活動.....	77
(3) 役所の仕事ぶり.....	79

自由回答

調査の概要

1. 調査の目的

神川町総合計画策定のための基本資料とするため、町民意識調査を実施した。

2. 調査の設計

- | | |
|----------|-------------------------|
| (1) 調査対象 | 神川町在住の 20 歳以上の町民 |
| (2) 標本数 | 2,000 人 |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳から等間隔無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送による配布・回収
督促はがき 1 回 |
| (5) 調査時期 | 平成 18 年 7 月～ 8 月 |

3. 回収結果

- | | |
|-----------|---------|
| (1) 有効回収数 | 1,056 件 |
| (2) 有効回収率 | 52.8% |

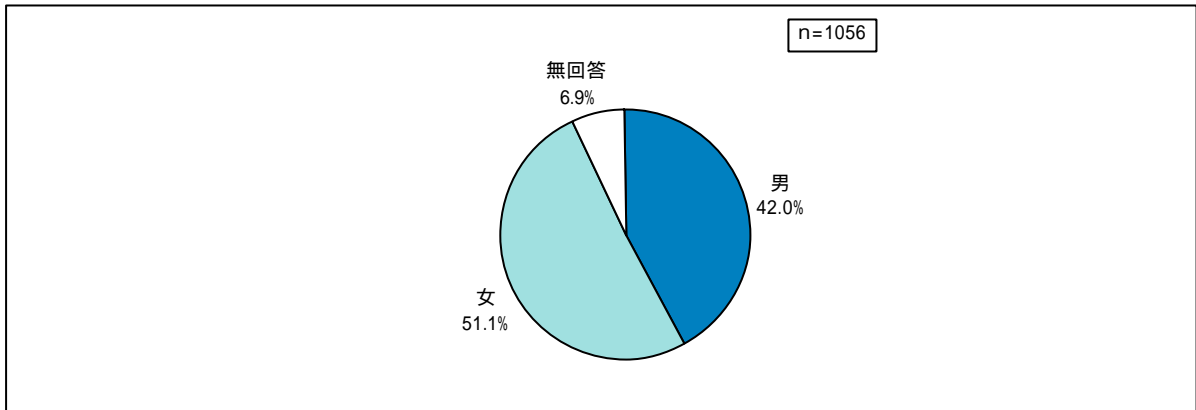
4. 報告書の手引き

- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数 (n) とし、少数第 2 位を四捨五入して算出している。よって、四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100%を超える。
- (3) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフでは省略した表現を用いている。
- (4) 帯グラフ上で構成比の記入のないものは回答率が 5%に満たなかったものであり、作図の便宜上省略した。

調査の結果

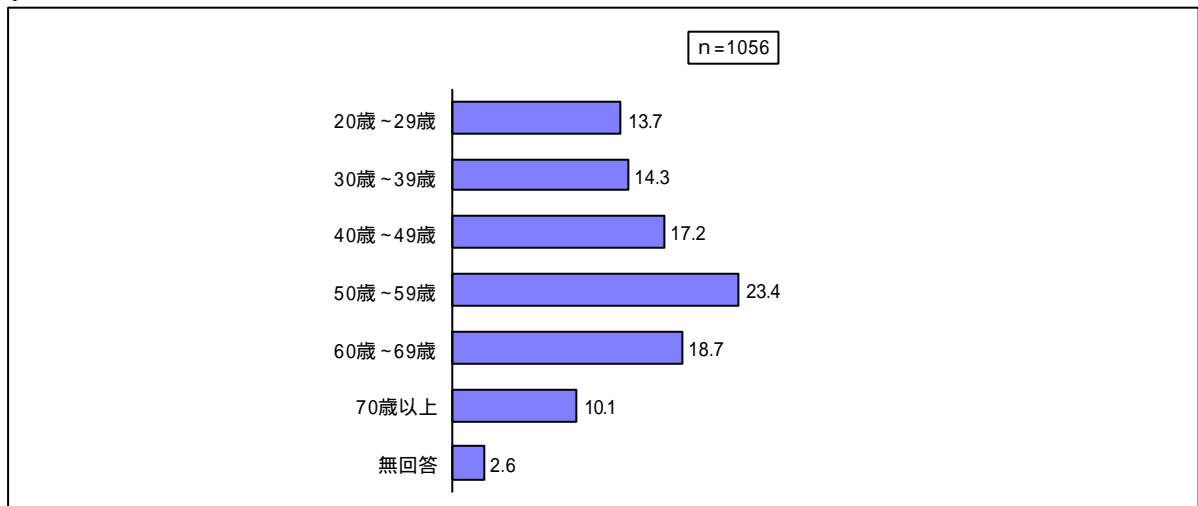
回答者の属性

(1) 性別



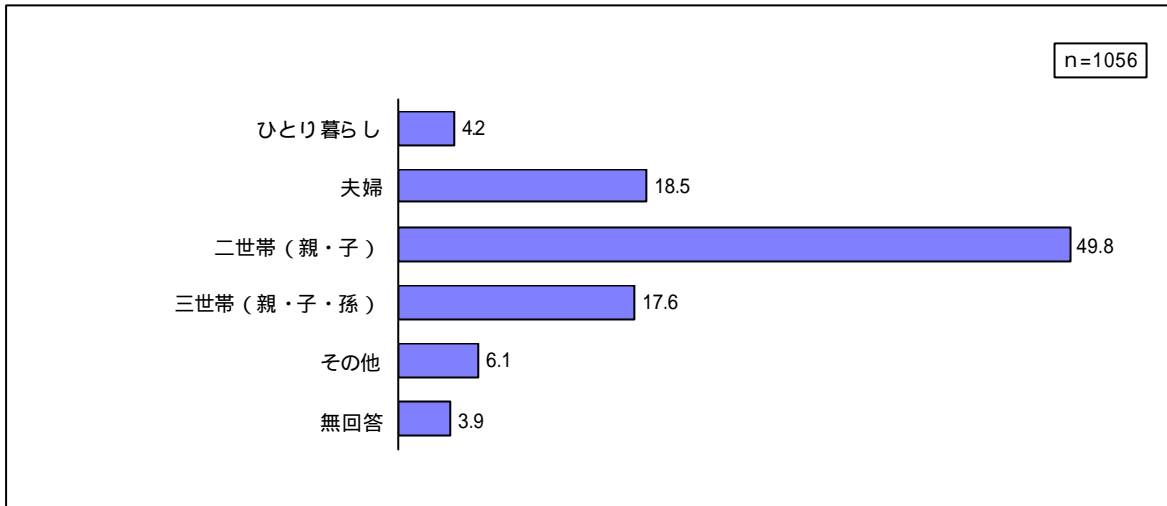
回答者の性別は、「男性」42.0%、「女性」51.1%となっています。

(2) 年齢



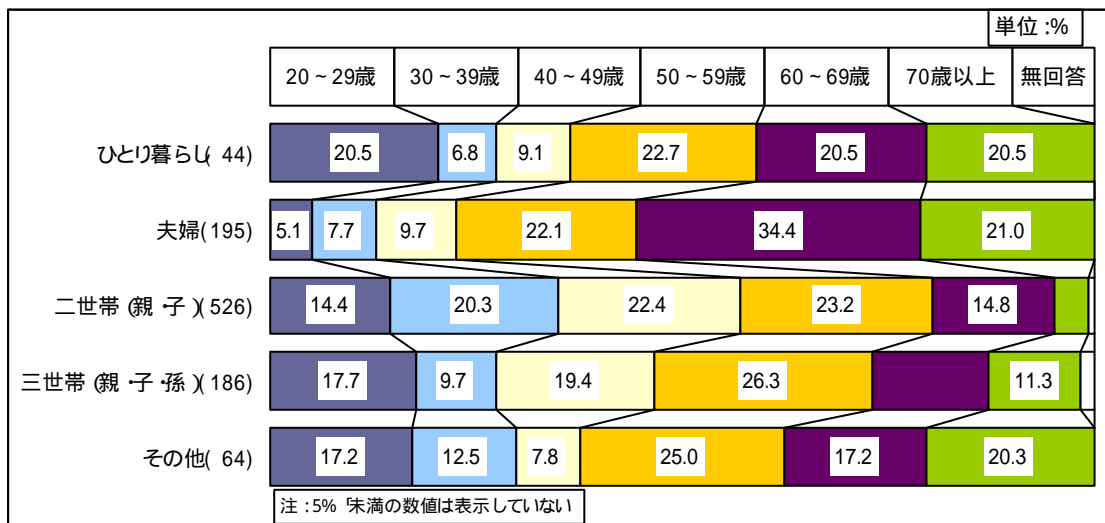
年齢は「50歳代」23.4%、「60歳代」18.7%、「40歳代」17.2%、「30歳代」14.3%、「20歳代」13.7%、「70歳以上」10.1%の順です。

(3) 世帯

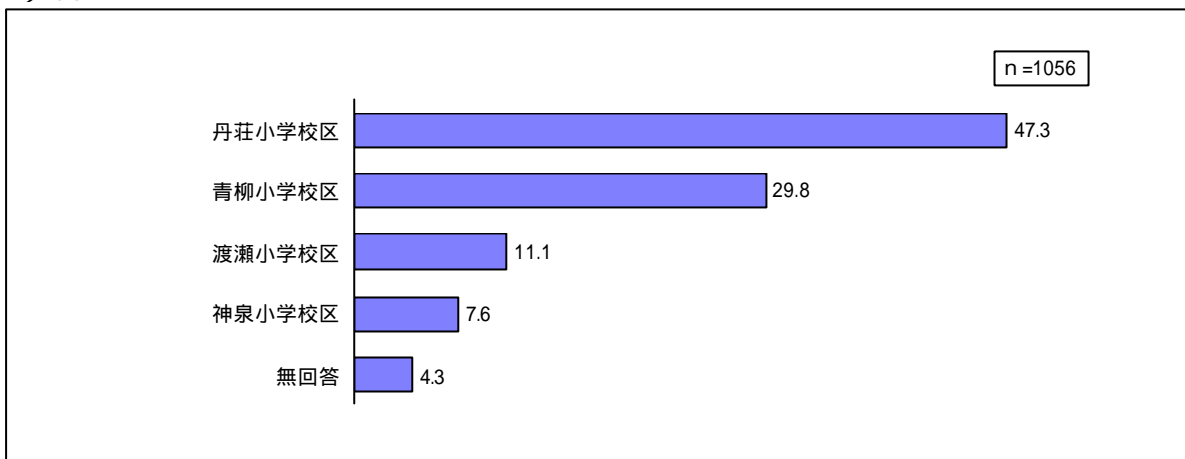


世帯構成は「二世帯(親・子)」が49.8%と半数を占め、以下「夫婦」18.5%、「三世帯(親・子・孫)」17.6%、「ひとり暮らし」4.2%となっています。

年齢では、「二世帯」は30歳代から50歳代で各20%を超え、「三世帯」は50歳代26.3%、「夫婦」は60歳代34.4%とがそれぞれ多くなっています。また、「ひとり暮らし」は20歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上でそれぞれ約2割、40歳代で1割、30歳代で1割以下となっています。

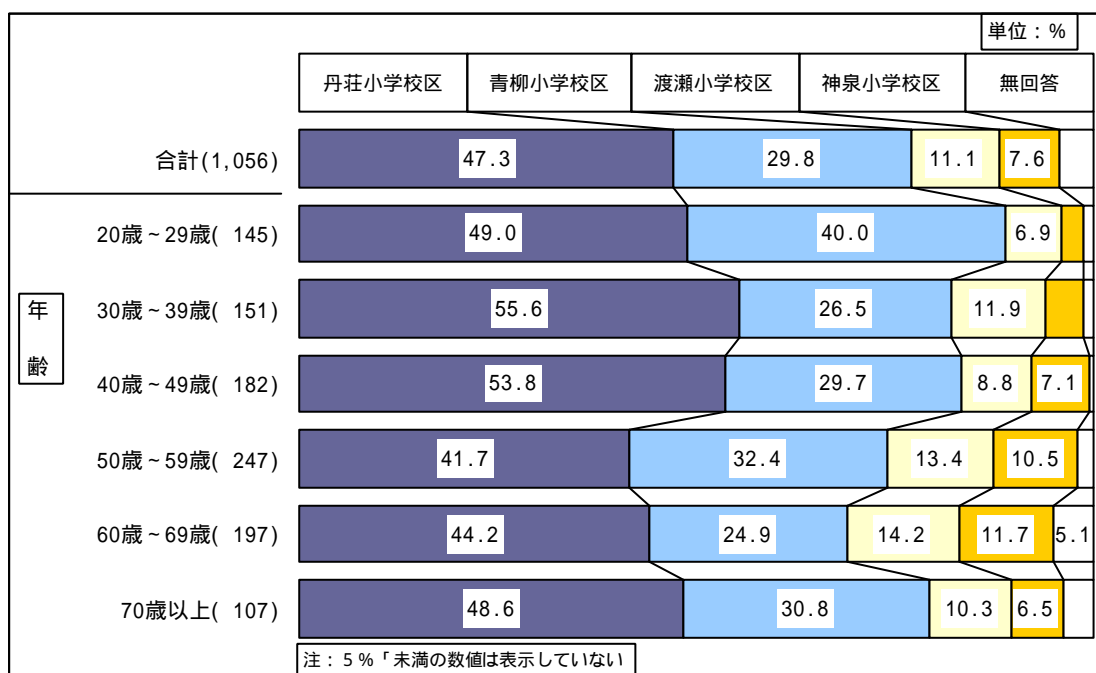


(4) 居住地

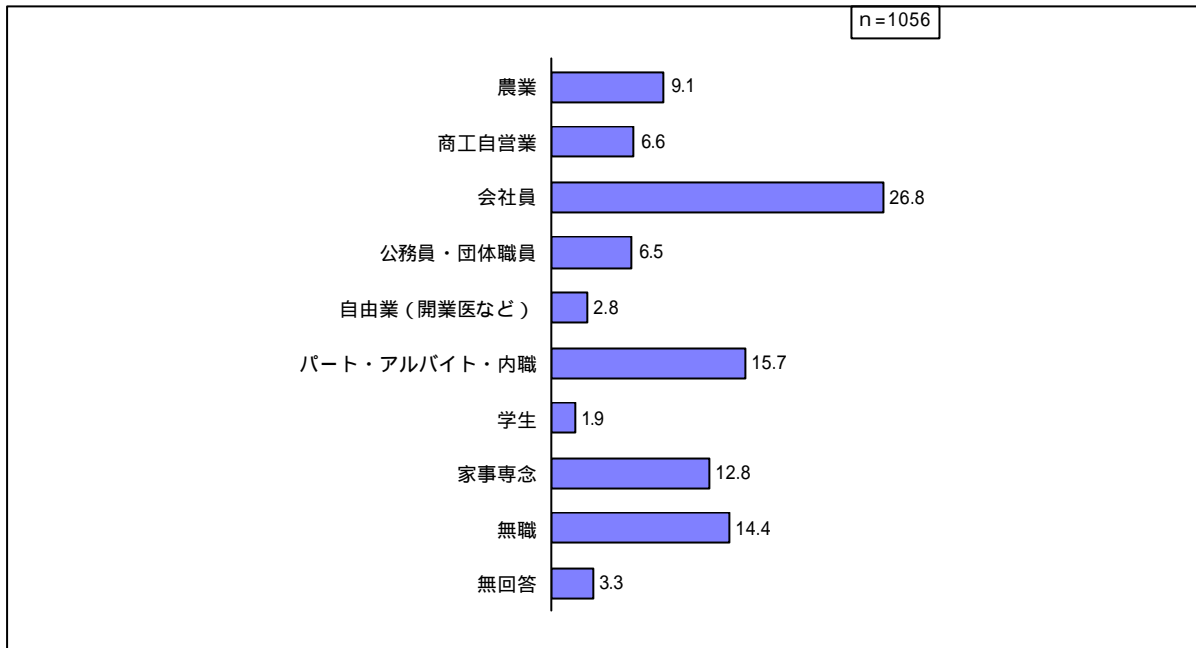


居住の地区は「丹荘小学校区」が47.3%と半数近くを占め、「青柳小学校区」が29.8%と約3割、「渡瀬小学校区」が11.1%と約1割、「神泉小学校区」が7.6%と1割未満となっています。

年齢では、20歳代から70歳以上までいずれの年代も「丹荘小学校区」で約半数を占めていますが、20歳代については青柳小学校区も4割を占めています。

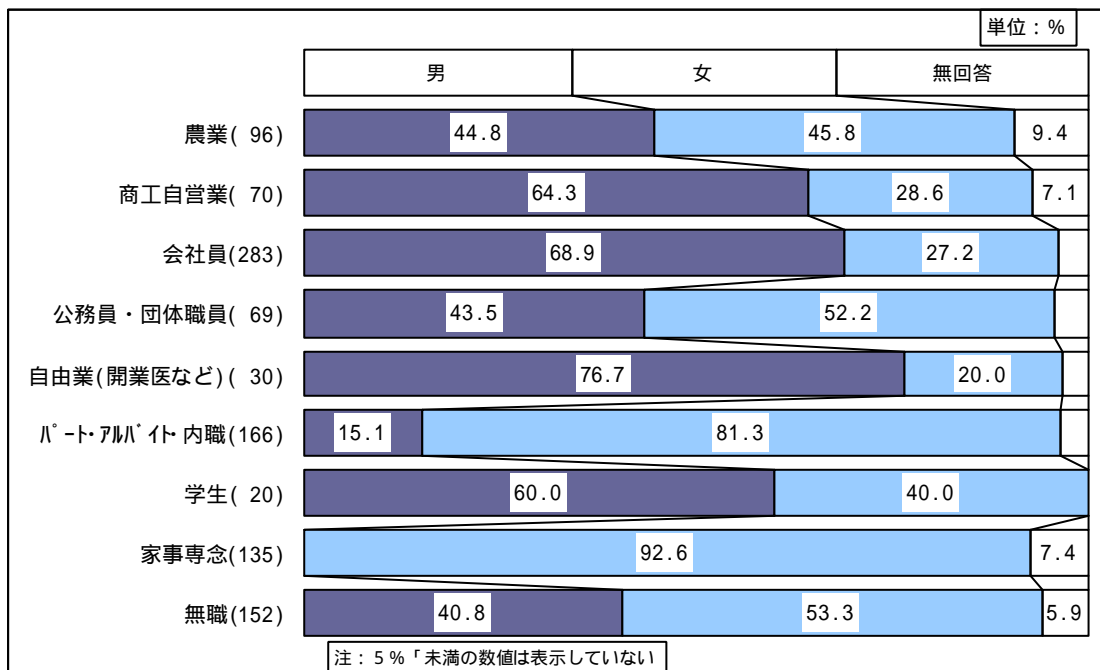


(5) 職業等

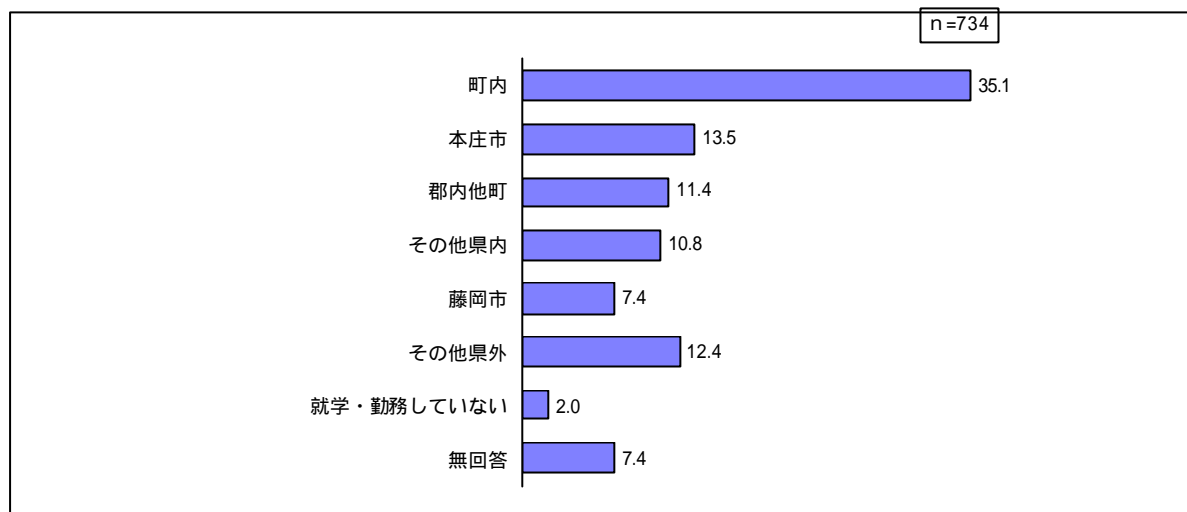


最も多いのが「会社員」26.8%であり、次いで「パート・アルバイト・内職」の15.7%、「無職」14.4%、「家事専念」12.8%、「農業」9.1%などとなっています。

性別では、「会社員」の7割は男性に対し、「パート・アルバイト・内職」の8割は女性です。

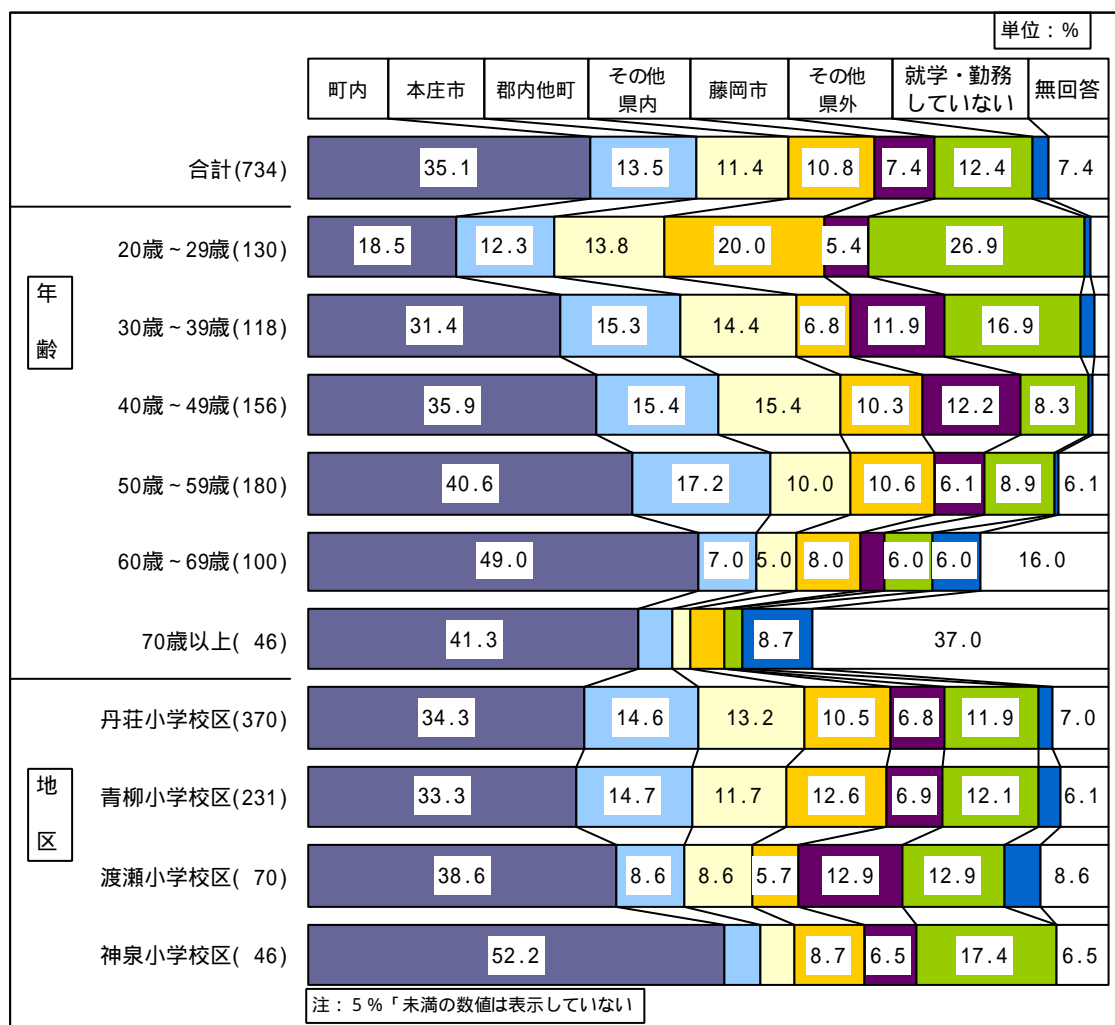


(6) 就学先・勤務先

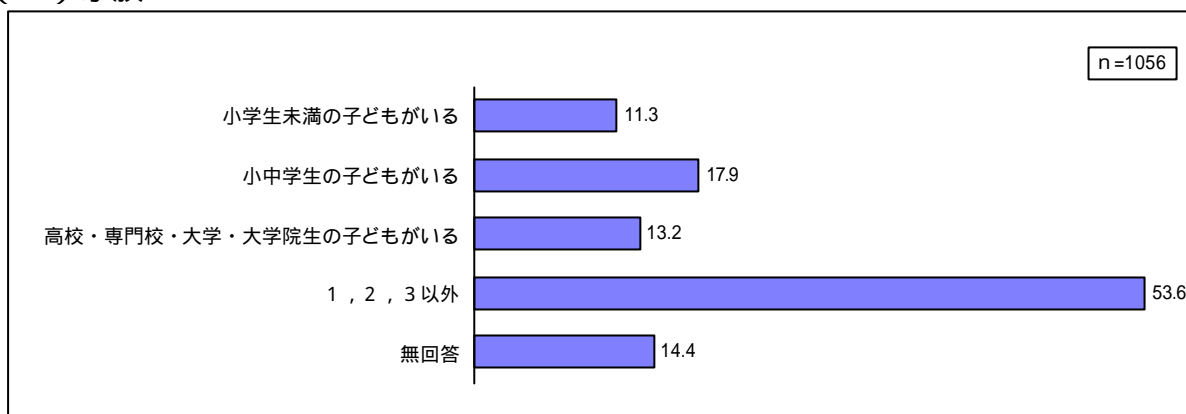


「町内」が 35.1%と 3 人に 1 人は町内ということになります。次いで「本庄市」13.5%、「その他県外」12.4%、「郡内他町」11.4%、「その他県内」10.8%、「藤岡市」7.4%などです。

年齢では、「町内」は 30 歳代で 3 割ですが、年齢が高まるにつれ増加し、60 歳代では 5 割と なっています。また、地区では、神泉小学校区は「町内」が 5 割と多くなっています。



(7) 家族

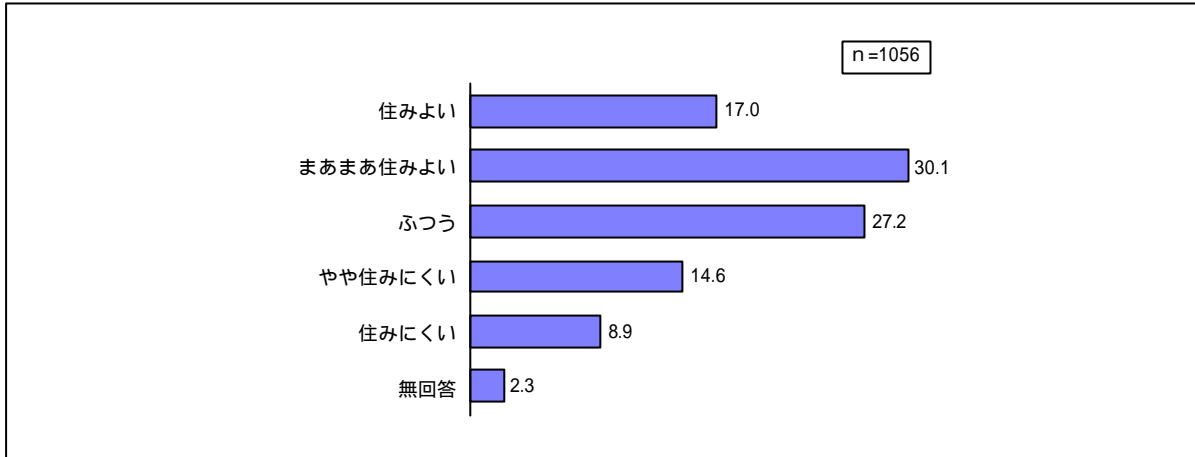


未就学の子どもあるいは就学中の子どもがいる人は 42.4%、内訳は「小学生未満の子どもがいる」11.3%、「小中学生の子どもがいる」17.9%、「高校・専門学校・大学・大学院生の子どもがいる」13.2%であり、そうした子どもがいない人は 53.6%となっています。

本 編

1 . 住み良さと定住意向

(1) 神川町の住みやすさ



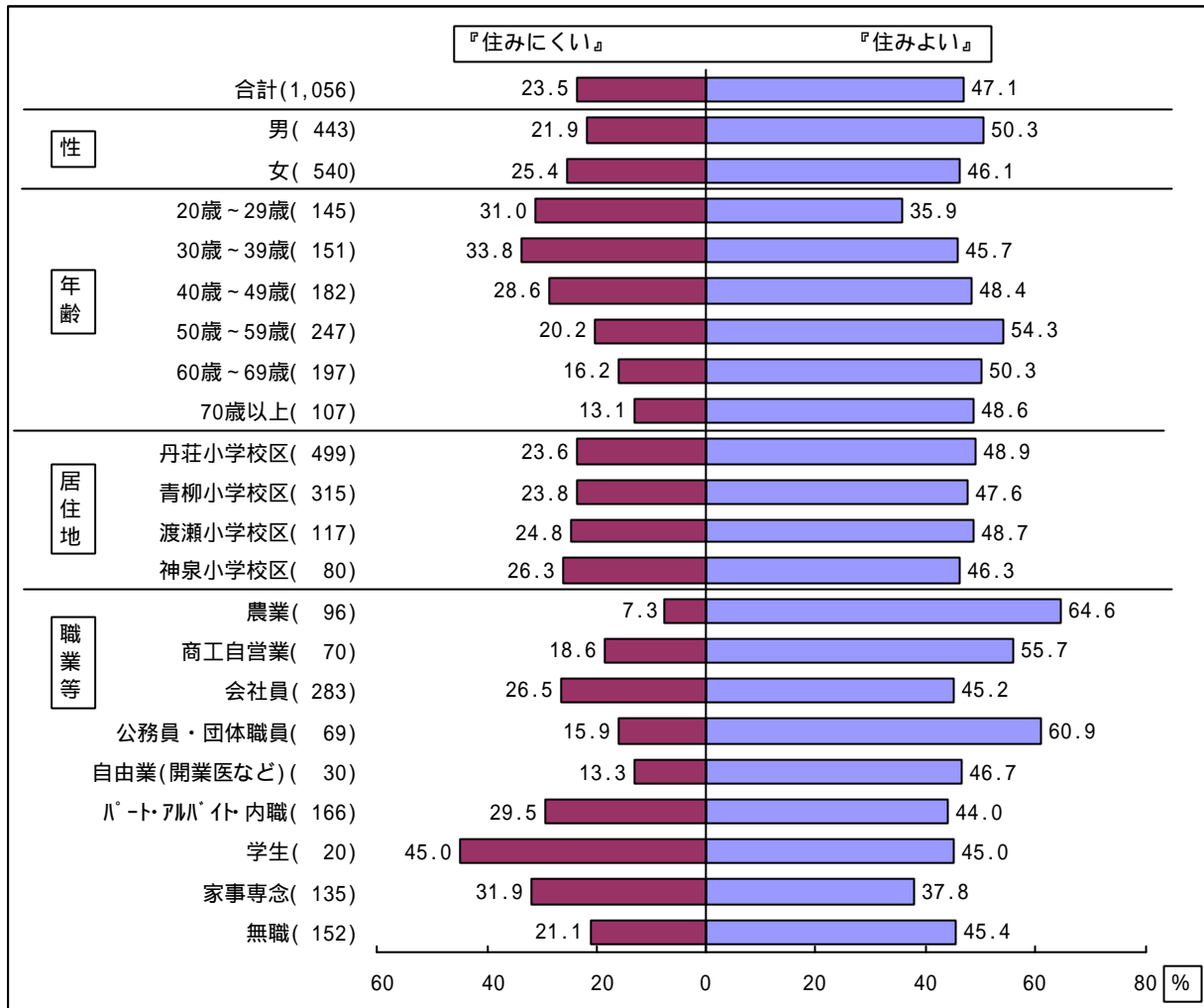
神川町の住みやすさは、「住みよい」と「まあまあ住みよい」の『住みよい』が 47.1%、「やや住みにくい」と「住みにくい」の『住みにくい』が 23.5%です。『住みよい』が『住みにくい』の倍となっています。

性別では『住みよい』は男性 50.3%に対し女性 46.1%、『住みにくい』は男性 21.9%に対し女性 25.4%となっています。

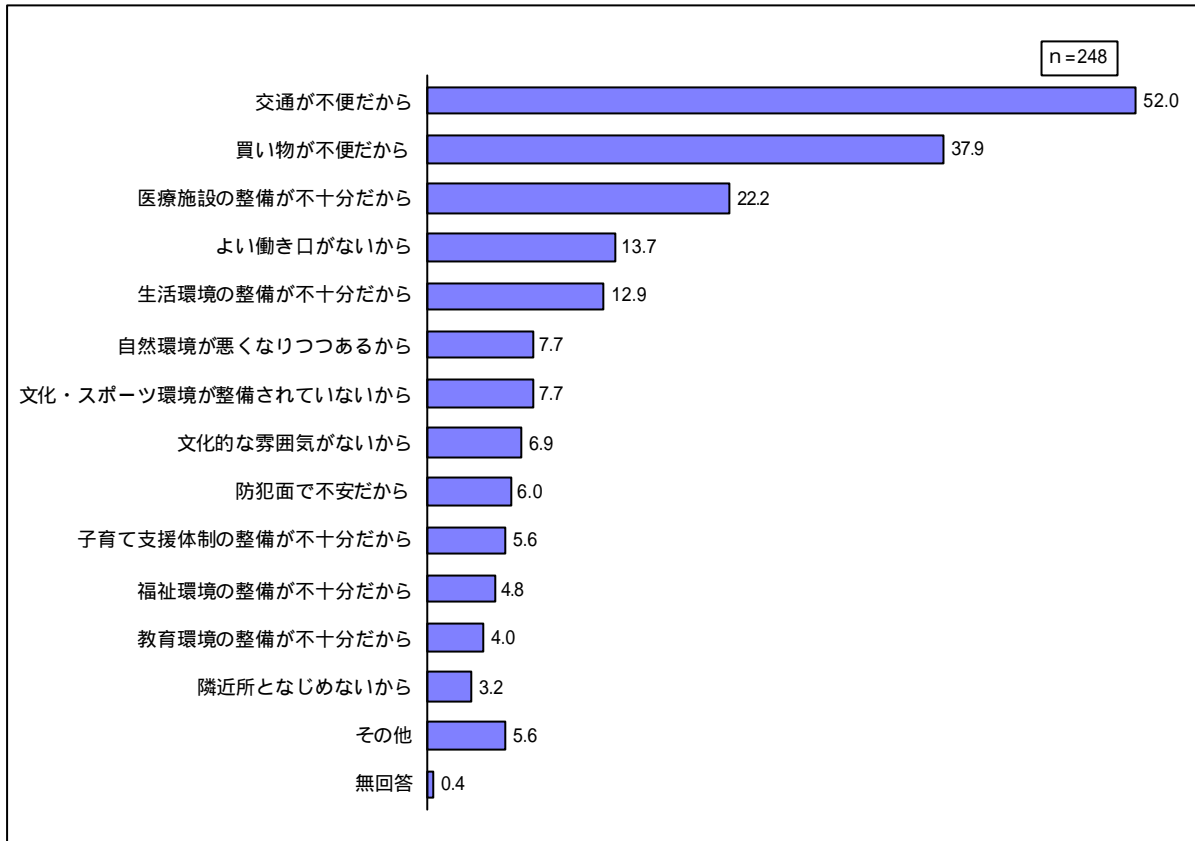
年齢別では『住みよい』は 50 歳代の 54.3%が最も多く、次いで 60 歳代の 50.3%、70 歳以上の 48.6%、40 歳代の 48.4%などであり、中高年層が多くあげています。これに対し『住みにくい』は 30 歳代 33.8%、20 歳代 31.0%、40 歳代 28.6%など若壮年層が中心となっています。

地区別ではほとんど差がなく、あえてあげれば神泉小学校区の『住みよい』46.3%は他地区を下回り、逆に『住みにくい』26.3%は他地区を上回るものとなっています。

職業別では、『住みよい』は農業 64.6%、公務員・団体職員 60.9%、商工自営業 55.7%、自由業（開業医など）46.7%、無職 45.4%、会社員 45.2%となっています。これに対し『住みにくい』は「学生」45.0%、「家事専念」31.9%、「パート・アルバイト・内職」29.5%、「会社員」26.5%などです。概して町内で住み、働いている人に住みよいとの声が多いものの、町内でも「家事専念」の人は『住みにくい』の回答も多いものとなっています。



(2) 住みにくいと感じる理由



住みにくいと感じる理由は、「交通が不便」52.0%、「買い物が不便」37.9%、「医療施設の整備が不十分」22.2%、「よい働き口がない」13.7%、「生活環境の整備が不十分」12.9%など特に利便性が上位にあげられています。

「交通が不便」は、性別では女性 55.5%が男性 50.5%をやや上回り、年齢別では20 歳代 57.8%、及び 70 歳以上 57.1%で多くあげています。また、世帯ではひとり暮らし 78.6%、地区では神泉小学校区 61.9%、職業では農業 85.7%及び学生 88.9%をあげることができます。

「買い物が不便」は、性別では女性 40.9%が男性 35.0%を上回り、年齢別では 30 歳代が 52.9%と多くなっています。地区別では青柳小学校区 42.7%でやや多くなっています。また、家族構成で小学生未満の子どもがいるは 52.8%と、「交通が不便」の 41.7%を大きく上回ります。

「医療施設の整備が不十分」は、特に 60 歳代 37.5%に多く、「よい働き口がない」は 50 歳代 22.0%、また地区では神泉小学校区 38.1%、渡瀬小学校区 34.5%をあげることができます。

問3 住みにくいと感ずる理由

単位：%

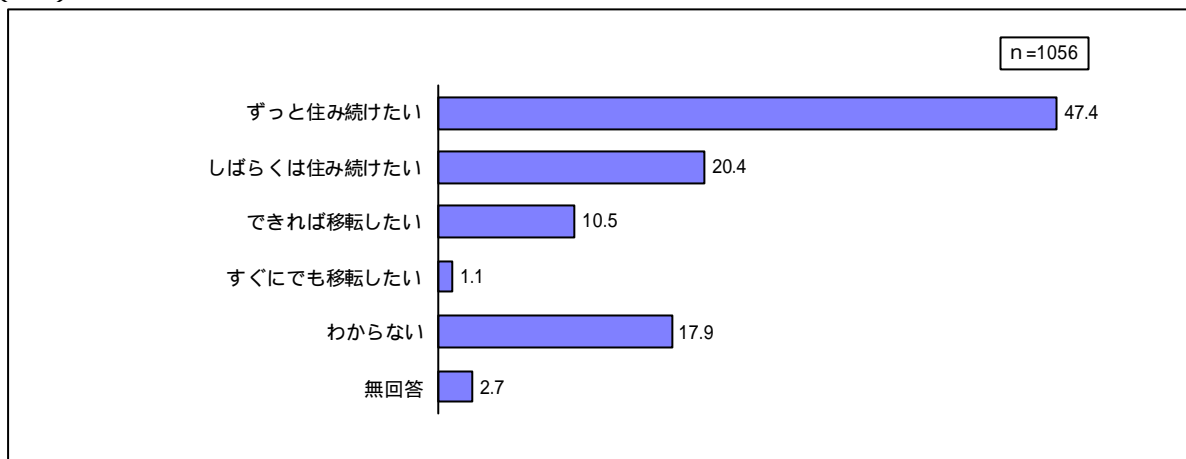
属性	全体	悪く自然環境がなりつつあるから	交通が不便だから	買い物が不便だから	よい働き口がないから	生活環境の整備が不十分だから	医療施設の整備が不十分だから	福祉環境の整備が不十分だから	教育環境の整備が不十分だから	整備されたスポーツ環境が	文化・スポーツ環境が整備されていないから	子育て支援体制の整備が不十分だから	防犯面で不安だから	隣近所となじめないから	文化的な雰囲気がないから	その他	無回答
全体	248	7.7	52.0	37.9	13.7	12.9	22.2	4.8	4.0	7.7	5.6	6.0	3.2	6.9	5.6	0.4	
性別																	
男	97	8.2	50.5	35.1	16.5	15.5	17.5	5.2	3.1	7.2	4.1	6.2	2.1	7.2	6.2	1.0	
女	137	6.6	55.5	40.9	10.9	10.2	25.5	4.4	5.1	8.0	6.6	5.8	4.4	7.3	3.6	0.0	
年齢																	
20歳～29歳	45	0.0	57.8	42.2	15.6	8.9	15.6	0.0	2.2	13.3	6.7	13.3	2.2	6.7	2.2	0.0	
30歳～39歳	51	3.9	51.0	52.9	7.8	13.7	25.5	3.9	2.0	7.8	3.9	5.9	5.9	2.0	9.8	0.0	
40歳～49歳	52	9.6	53.8	32.7	13.5	15.4	26.9	0.0	13.5	13.5	7.7	1.9	1.9	3.8	1.9	0.0	
50歳～59歳	50	10.0	50.0	26.0	22.0	14.0	16.0	10.0	0.0	4.0	6.0	6.0	2.0	10.0	12.0	2.0	
60歳～69歳	32	9.4	40.6	28.1	12.5	18.8	37.5	15.6	0.0	0.0	6.3	6.3	3.1	3.1	3.1	0.0	
70歳以上	14	21.4	57.1	42.9	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	35.7	0.0	0.0	
世帯																	
ひとり暮らし	14	0.0	78.6	28.6	14.3	0.0	21.4	7.1	0.0	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	14.3	0.0	
夫婦	43	11.6	48.8	34.9	11.6	11.6	32.6	0.0	4.7	2.3	2.3	7.0	4.7	9.3	4.7	2.3	
二世帯(親・子)	130	8.5	50.0	37.7	14.6	14.6	21.5	4.6	2.3	8.5	6.2	6.2	3.8	6.9	6.2	0.0	
三世帯(親・子・孫)	31	3.2	61.3	38.7	16.1	19.4	9.7	6.5	9.7	9.7	9.7	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	
その他	17	5.9	41.2	47.1	11.8	5.9	29.4	5.9	11.8	11.8	0.0	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	
居住地																	
丹荘小学校区	118	8.5	47.5	37.3	9.3	16.1	26.3	5.9	4.2	6.8	4.2	6.8	4.2	8.5	5.1	0.8	
青柳小学校区	75	5.3	53.3	42.7	6.7	10.7	17.3	2.7	4.0	10.7	8.0	6.7	4.0	8.0	9.3	0.0	
渡瀬小学校区	29	10.3	58.6	27.6	34.5	6.9	24.1	10.3	3.4	3.4	6.9	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0	
神泉小学校区	21	9.5	61.9	28.6	38.1	14.3	14.3	0.0	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	4.8	0.0	0.0	
職業等																	
農業	7	0.0	85.7	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	
商工自営業	13	7.7	30.8	15.4	7.7	38.5	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0	15.4	7.7	15.4	0.0	0.0	
会社員	75	2.7	57.3	48.0	14.7	9.3	20.0	4.0	2.7	12.0	8.0	2.7	2.7	4.0	5.3	1.3	
公務員・団体職員	11	0.0	45.5	18.2	9.1	18.2	18.2	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	
自由業(開業医など)	4	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	
パート・アルバイト内職	49	6.1	53.1	34.7	18.4	16.3	24.5	4.1	4.1	10.2	8.2	10.2	2.0	2.0	4.1	0.0	
学生	9	0.0	88.9	33.3	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
家事専念	43	9.3	48.8	48.8	11.6	7.0	34.9	4.7	9.3	2.3	0.0	4.7	4.7	4.7	7.0	0.0	
無職	32	21.9	40.6	18.8	12.5	15.6	15.6	9.4	3.1	0.0	6.3	6.3	3.1	15.6	6.3	0.0	
家族について																	
小学生未満の子どもがいる	36	2.8	41.7	52.8	0.0	11.1	30.6	0.0	11.1	8.3	19.4	11.1	5.6	2.8	2.8	0.0	
小中学生の子どもがいる	54	3.7	55.6	37.0	14.8	16.7	25.9	0.0	9.3	11.1	9.3	3.7	1.9	7.4	1.9	0.0	
高校・専門学校・大学・大学院生の子どもがいる	32	9.4	56.3	31.3	15.6	9.4	28.1	3.1	9.4	12.5	3.1	3.1	3.1	6.3	0.0	0.0	
1, 2, 3以外	130	9.2	54.6	34.6	15.4	11.5	18.5	7.7	0.8	7.7	3.8	4.6	2.3	8.5	7.7	0.8	

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

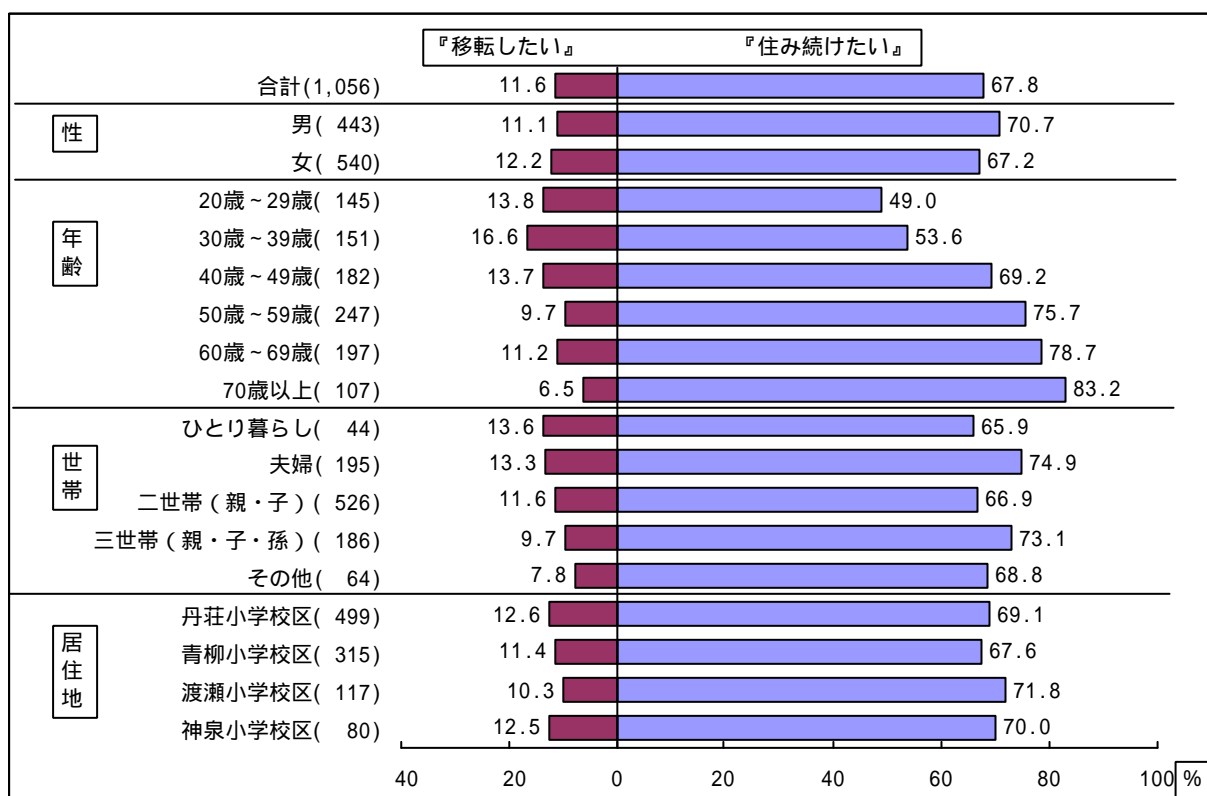
- ・税金、公共料金が高い(5件)
- ・古い習慣、しきたりが多い(3件)
- ・全てにおいて中途半端だから
- ・暴走族が多い
- ・外国人がうるさすぎる

(3) 住み続けたいか



今後、「ずっと住み続けたい」が 47.4%と約半数であり、「しばらくは住み続けたい」20.4%、合わせると 67.8%と7割近い人が住み続けたいとしています。

定住意向の高いのは、年齢では 70 歳以上の 83.2%、60 歳以上の 78.7%、50 歳代の 75.7%、世帯構成では夫婦 74.9%、三世帯（親・子・孫）73.1%などをあげることができます。また、地区ではほとんど差がありませんが、青柳小学校の 67.6%が他の地区を下回ります。



2. 満足度と重要度

(1) 生活環境やまちづくりの現状についての満足度

生活環境やまちづくりの現状に対し、30施策の満足度を聞きました。「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足』が最も多いのは、「ごみ収集・処理」43.3%であり、次いで「保健（健診・健康管理など）」34.6%、「上水道」29.7%、「道路整備」28.8%、「交通安全」26.5%などがあげられています。

これに対し、「不満である」と「やや不満である」を合わせた『不満』が最も多いのは「鉄道・バス」53.0%、「ごみの不法投棄」45.6%、「医療」39.2%、「道路整備」33.7%、「汚水処理（下水道など）」32.9%などとなっています。

『満足』・『不満』の上位5位

	『満足』 (「満足している」+「やや満足している」)	『不満』 (「不満である」+「やや不満である」)
1位	ごみ収集・処理 43.3%	鉄道・バス 53.0%
2位	保健（健診・健康管理など） 34.6%	ごみの不法投棄 45.6%
3位	上水道 29.7%	医療 39.2%
4位	道路整備 28.8%	道路整備 33.7%
5位	交通安全 26.5%	汚水処理（下水道など） 32.9%

保健・医療・福祉の分野では、「医療」への『不満』が39.2%と多く、「子育て支援」については『満足』21.7%が『不満』15.9%を上回り、「高齢者への支援」は『満足』16.5%と『不満』16.6%がほぼ同じとなっています。

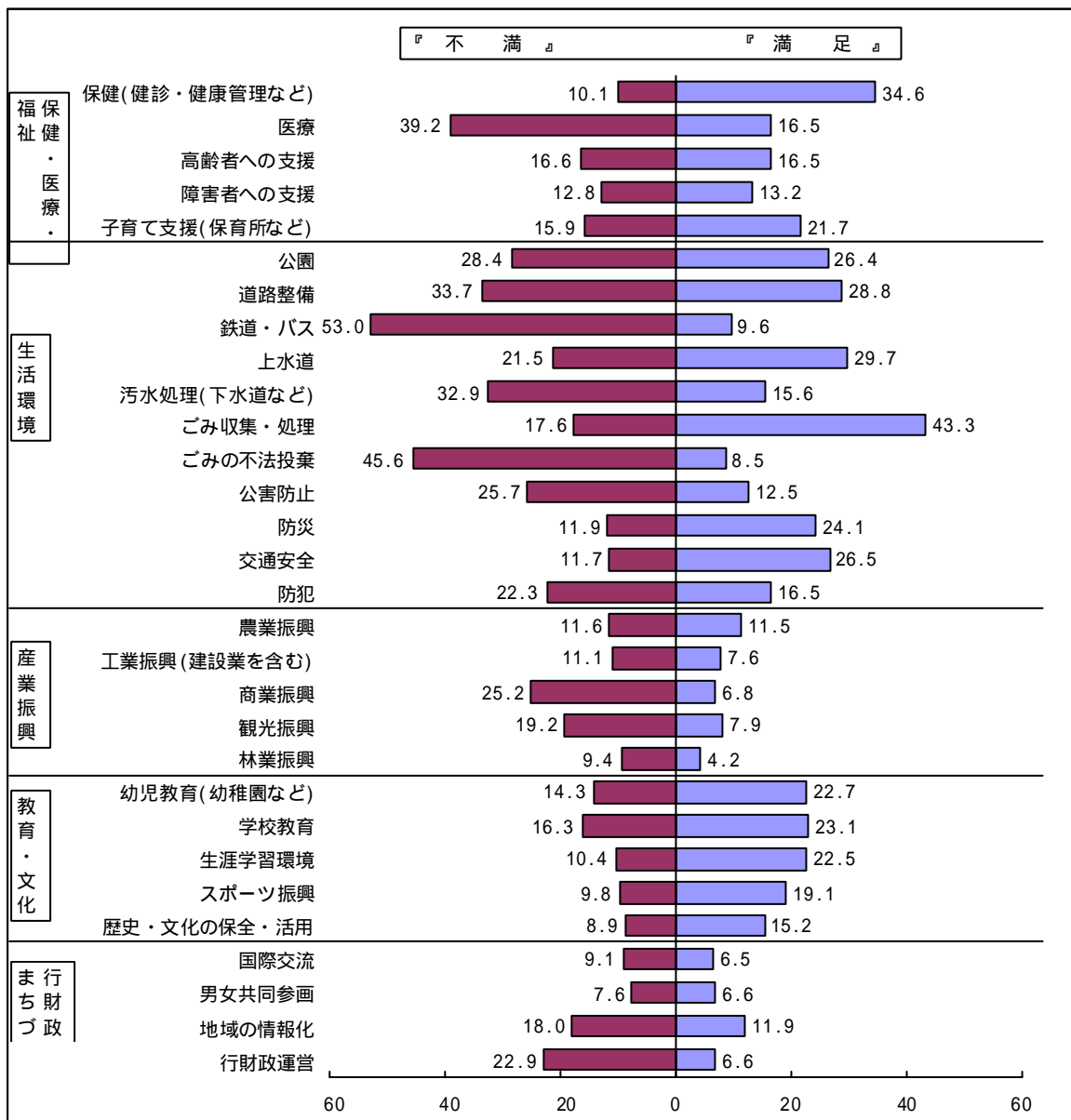
生活環境の分野では、「鉄道・バス」の『不満』が53.0%、「ごみの不法投棄」が45.6%と目立っています。『満足』が多いのは、「ごみの収集・処理」43.3%であり、「道路整備」は『満足』28.8%、『不満』33.9%に分かれるところとなっています。

産業振興の分野では、『不満』は「商業振興」25.2%であり、次いで「観光振興」19.2%です。教育・文化の分野では、『不満』は「学校教育」16.3%、「幼児教育」14.3%ですが、いずれも『満足』が各23.1%、22.7%と上回ります。

行財政・まちづくりの分野では、『不満』は「行財政運営」22.9%、「地域の情報化」18.0%ですが、これらは『満足』でも上位にあげられています。

分野ごとの『満足』・『不満』の上位

分野	『不満』 (「不満である」+「やや不満である」)		『満足』 (「満足している」+「やや満足している」)	
	項目	割合	項目	割合
保健・医療・福祉	医療	39.2%	保健	34.6%
	高齢者への支援	16.6%	子育て支援(保育所など)	21.7%
	子育て支援(保育所など)	15.9%		
生活環境	鉄道・バス	53.0%	ごみの収集・処理	43.3%
	ごみの不法投棄	45.6%	上水道	29.7%
	道路整備	33.7%	道路整備	28.8%
産業振興	商業振興	25.2%	農業振興	11.5%
	観光振興	19.2%	観光振興	7.9%
教育・文化	学校教育	16.3%	学校教育	23.1%
	幼児教育(幼稚園など)	14.3%	幼児教育(幼稚園など)	22.7%
行財政・まちづくり	行財政運営	22.9%	地域の情報化	11.9%
	地域の情報化	18.0%	男女共同参画/ 行財政運営	6.6%



(2) 生活環境やまちづくりの現状について重要度

上記30の施策に対し、満足度と同じく重要度を聞きました。「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要』が最も多いのは、「医療」77.7%、「保健(健診・健康管理など)」71.7%、「防犯」71.3%、「ごみ収集・処理」68.8%、「ごみの不法投棄」65.8%などがあげられています。

これに対し、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた『重要でない』は、いずれの項目も非常に少ないものとなっており、「公園」11.0%、「国際交流」7.1%、「林業振興」6.7%などとなっています。

『重要』・『重要でない』の上位5位

	『重要』 (「重要である」+「やや重要である」)	『重要でない』 (「重要でない」+「あまり重要でない」)
1位	医療 77.7%	公園 11.0%
2位	保健(健診・健康管理など) 71.7%	国際交流 7.1%
3位	防犯 71.3%	林業振興 6.8%
4位	ごみ収集・処理 68.8%	観光振興 6.1%
5位	ごみの不法投棄 65.9%	男女共同参画 5.9%

保健・医療・福祉の分野の『重要』は「医療」77.7%、「保健」71.7%、「高齢者への支援」65.2%と続き、「保健」は『満足』が多いにもかかわらず、『重要』としています。

生活環境の分野では、「防犯」71.3%、「ごみ収集・処理」68.8%、「ごみの不法投棄」65.8%などですが、『不満』のトップである「鉄道・バス」は上位にはランクされていません。

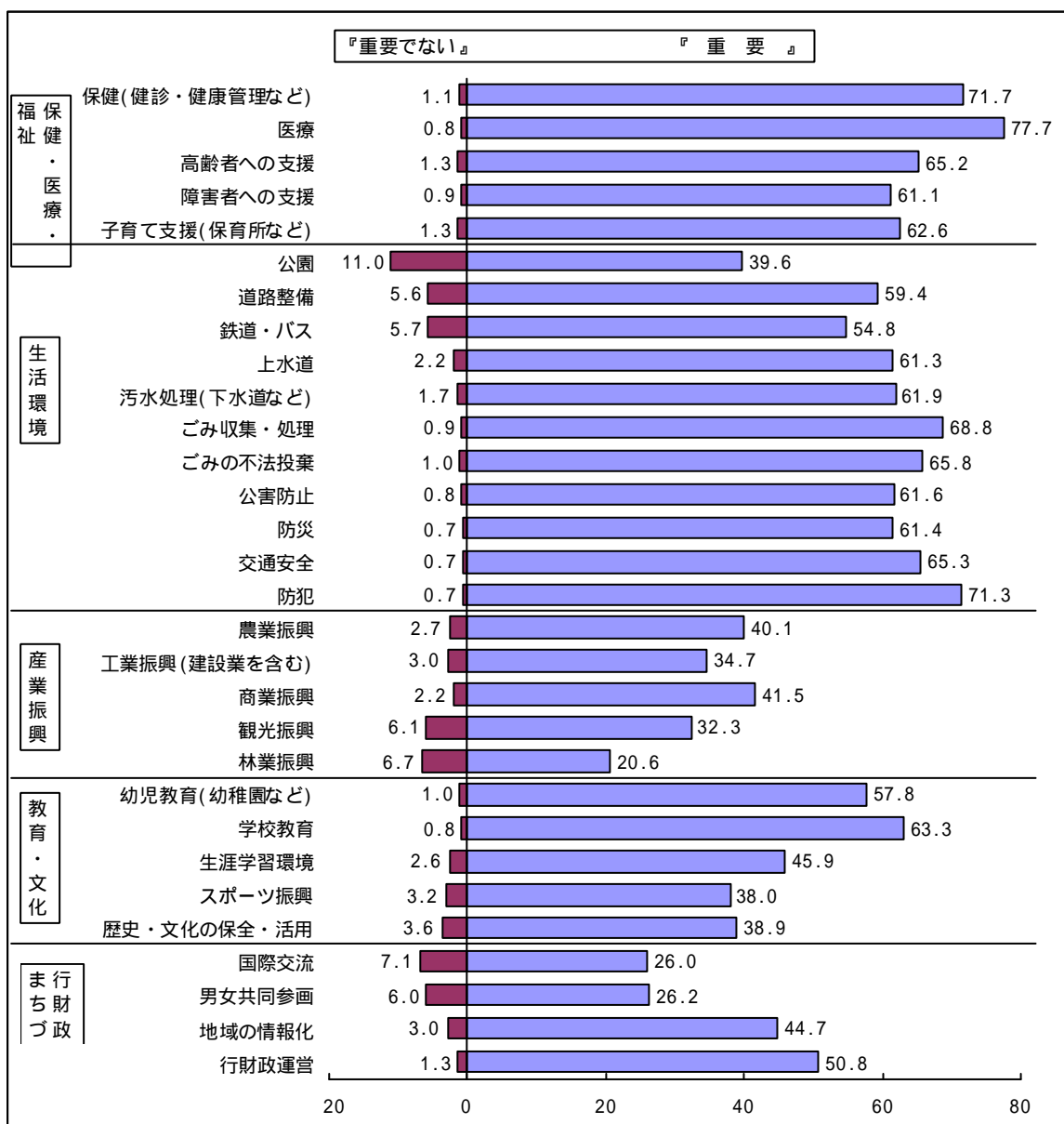
産業振興の分野では、「商業振興」41.5%、「農業振興」40.1%などですが、「農業振興」は『不満』は少ないものの『重要』としています。

教育・文化の分野では、「学校教育」63.3%、「幼児教育」57.8%などとなっています。

行財政・まちづくりの分野では、「行財政運営」50.8%、「地域の情報化」44.7%となっています。

分野ごとの『重要』の上位

分野	『重要』 (「重要である」+「やや重要である」)	
	保健・医療・福祉	医療
保健(健康・健康管理など)		71.7%
高齢者への支援		65.2%
生活環境	防犯	71.3%
	ごみの収集・処理	68.8%
	ごみの不法投棄	65.8%
産業振興	商業振興	41.5%
	農業振興	40.1%
教育・文化	学校教育	63.3%
	幼児教育(幼稚園など)	57.8%
行財政・まちづくり	行財政運営	50.8%
	地域の情報化	44.7%



(3) 満足度と重要度の分析

満足度と重要度の集計結果を点数化し、ヨコ方向が満足度、タテ方向が重要度としたグラフの中に、点数結果を落としてみると、次のように解釈することができます。

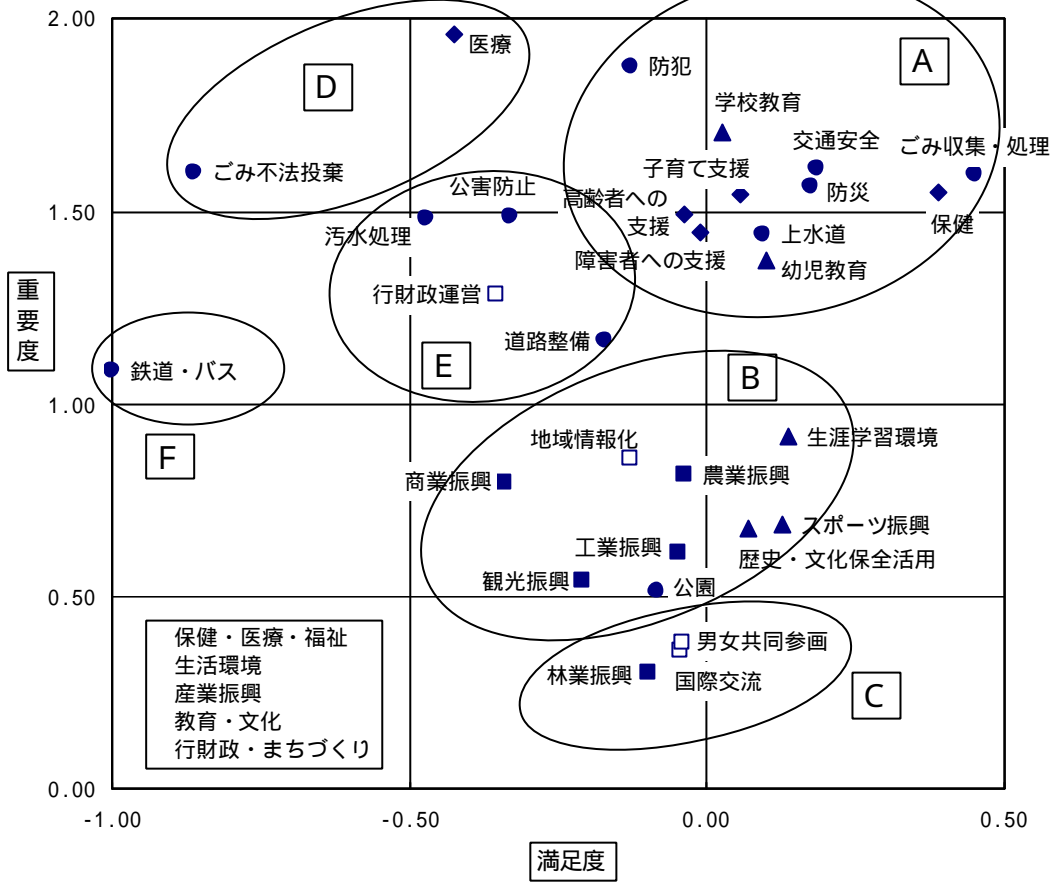
点数化のルール

満足度	重要度	点数化
満足している	重要である	3点
やや満足している	やや重要である	1点
どちらともいえない	どちらともいえない	0点
やや不満である	あまり重要でない	-1点
不満である	重要でない	-3点
無回答	無回答	除外

重要度、満足度それぞれについて、
合計点数を対象サンプル数で除して平均値を算出

- A・・・満足度が高いと同時に重要度も高く、現状維持を図るべき施策です。
保健・医療・福祉及び生活環境の分野中心です。
- B・・・満足度は平均点に近く、重要度もそれほど高くなく、現状維持で十分な施策です。
産業振興及び教育文化の分野が中心です。
- C・・・満足度は平均点に近く、重要度は低いことから、投資効果をあまり望むことができない施策です。
「林業振興」「国際交流」「男女共同参画」の3施策です。
- D・・・「ごみ不法投棄」と「医療」の2施策です。「ごみ不法投棄」については満足度が低く、重要度が高いことから重点化が望まれる施策です。また、「医療」は満足度はそれほど低くはありませんが、重要度が最も高いことから、やはり重点化が望まれる施策です。
- E・・・満足度は、平均点よりやや低いものの重要度は高く、重点化により比較的高い投資効果が期待される施策です。
「道路整備」「汚水処理(下水道合併処理浄化槽)」「公害防止」の3施策です。
- F・・・「鉄道・バス」ですが、満足度は最も低いものの重要度はそれほどでもない、投資効果のむずかしい施策です。

満足度と重要度



満足度と重要度の分析結果

施策		A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉	(1)保健(健診・健康管理など)						
	(2)医療						
	(3)高齢者への支援						
	(4)障害者への支援						
	(5)子育て支援(保育園・児童館など)						
生活環境	(6)公園						
	(7)道路整備						
	(8)鉄道・バス						
	(9)上水道						
	(10)汚水処理(下水道、合併処理浄化槽)						
	(11)ごみ収集・処理						
	(12)ごみの不法投棄						
	(13)公害防止						
	(14)防災						
	(15)交通安全						
	(16)防犯						
産業振興	(17)農業振興						
	(18)工業振興(建設業を含む)						
	(19)商業振興						
	(20)観光振興						
	(21)林業振興						
教育・文化	(22)幼児教育(幼稚園など)						
	(23)学校教育						
	(24)生涯学習環境						
	(25)スポーツ振興						
	(26)歴史・文化の保全・活用						
まちづくり・行政	(27)国際交流						
	(28)男女共同参画						
	(29)地域の情報化						
	(30)行政運営						

(4) 地区別にみる満足度と重要度

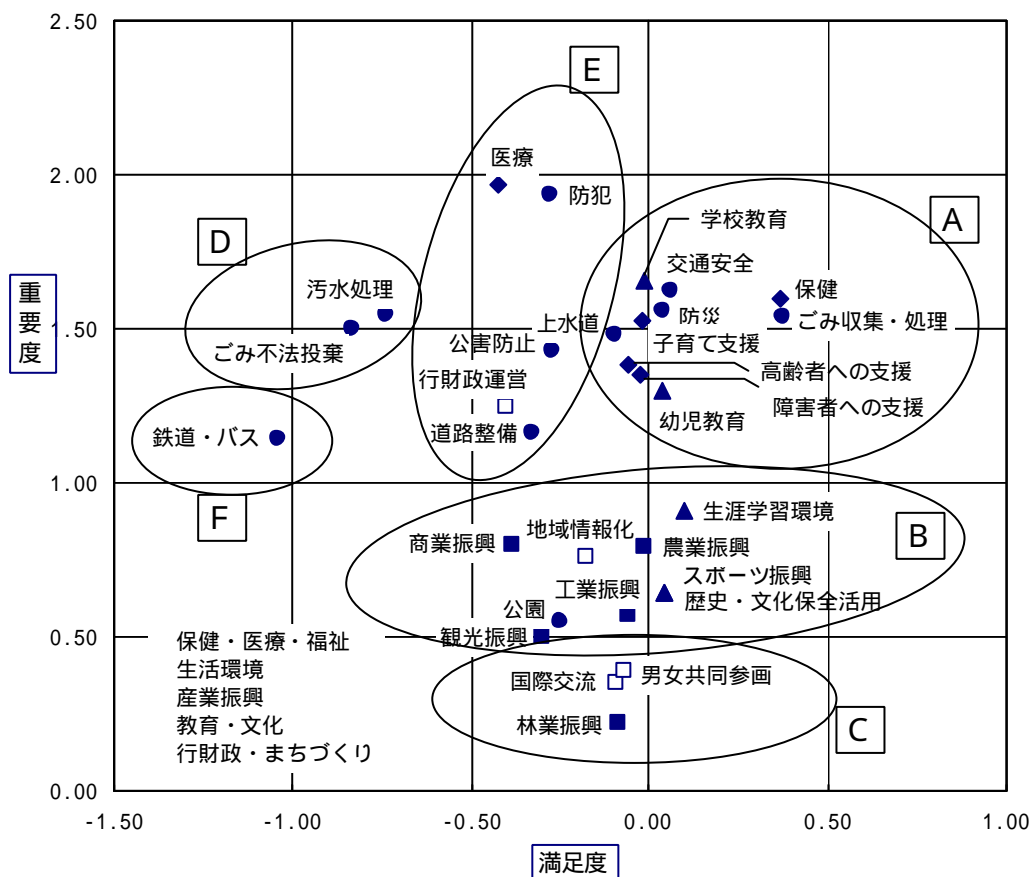
満足度と重要度の分析結果について、全体と地区の比較表を整理しました。

これによると丹荘小学校区と青柳小学校区、渡瀬小学校区と神泉小学校区に分けることができます。前者は後者と比べ、重点化を望む施策が比較的多いのに対し、後者は重点化よりも現状維持に比重があるようです。

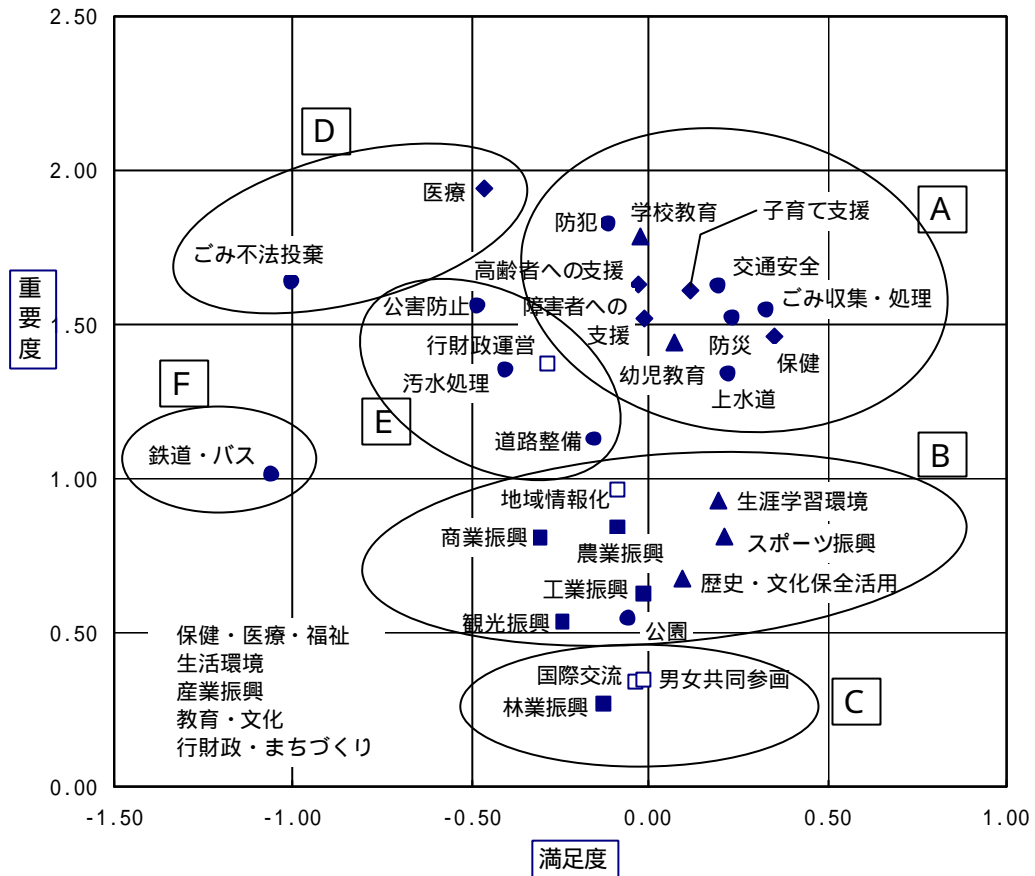
地区別の満足度と重要度の分析結果

	全体	丹荘小学校区	青柳小学校区	渡瀬小学校区	神泉小学校区
A	11	10	11	13	15
B	9	9	9	10	8
C	3	3	3	2	2
D	2	2	2	1	1
E	4	5	4	3	3
F	1	1	1	1	1

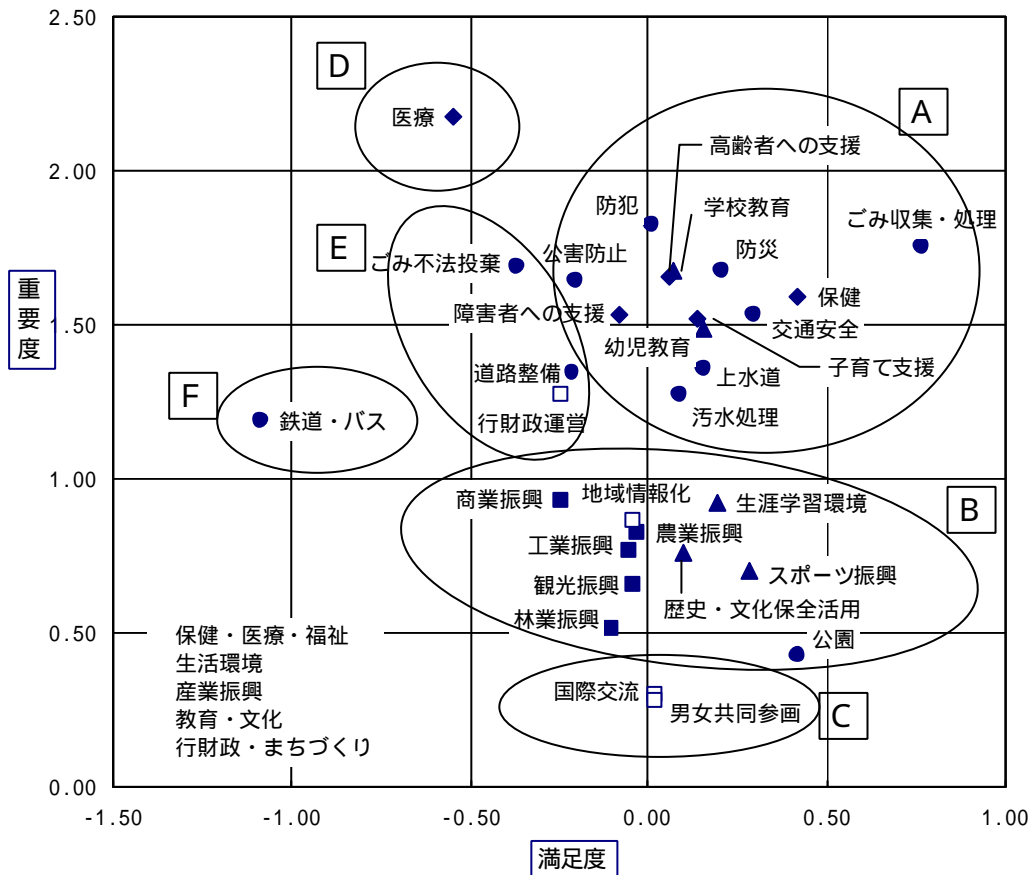
満足度と重要度 丹荘小学校区



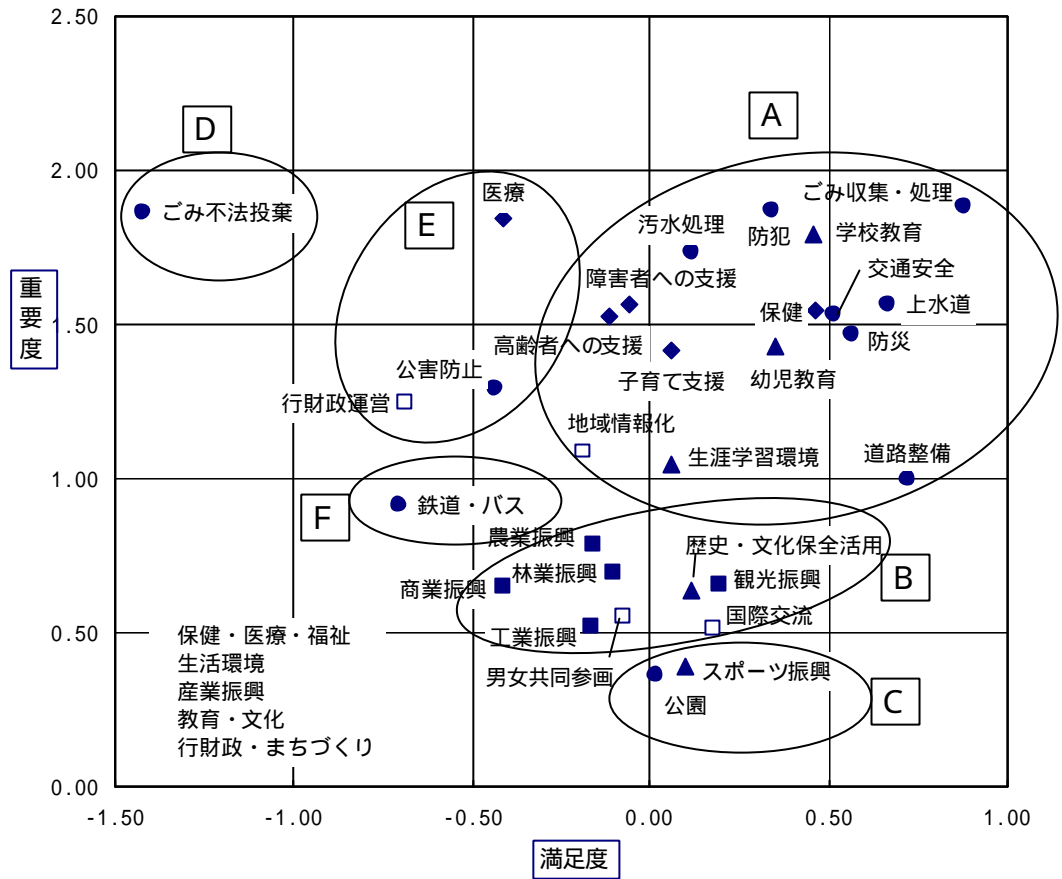
満足度と重要度 青柳小学校区



満足度と重要度 渡瀬小学校区



満足度と重要度 神泉小学校区



満足度と重要度の分析結果（丹荘小学校区）

施策		A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉	(1)保健(健診・健康管理など)						
	(2)医療						
	(3)高齢者への支援						
	(4)障害者への支援						
	(5)子育て支援(保育園・児童館など)						
生活環境	(6)公園						
	(7)道路整備						
	(8)鉄道・バス						
	(9)上水道						
	(10)汚水処理(下水道、合併処理浄化槽)						
	(11)ごみ収集・処理						
	(12)ごみの不法投棄						
	(13)公害防止						
	(14)防災						
	(15)交通安全						
	(16)防犯						
産業振興	(17)農業振興						
	(18)工業振興(建設業を含む)						
	(19)商業振興						
	(20)観光振興						
	(21)林業振興						
教育・文化	(22)幼児教育(幼稚園など)						
	(23)学校教育						
	(24)生涯学習環境						
	(25)スポーツ振興						
	(26)歴史・文化の保全・活用						
まちづくり・行政	(27)国際交流						
	(28)男女共同参画						
	(29)地域の情報化						
	(30)行政運営						

満足度と重要度の分析結果（青柳小学校区）

施策		A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉	(1)保健(健診・健康管理など)						
	(2)医療						
	(3)高齢者への支援						
	(4)障害者への支援						
	(5)子育て支援(保育園・児童館など)						
生活環境	(6)公園						
	(7)道路整備						
	(8)鉄道・バス						
	(9)上水道						
	(10)汚水処理(下水道、合併処理浄化槽)						
	(11)ごみ収集・処理						
	(12)ごみの不法投棄						
	(13)公害防止						
	(14)防災						
	(15)交通安全						
	(16)防犯						
産業振興	(17)農業振興						
	(18)工業振興(建設業を含む)						
	(19)商業振興						
	(20)観光振興						
	(21)林業振興						
教育・文化	(22)幼児教育(幼稚園など)						
	(23)学校教育						
	(24)生涯学習環境						
	(25)スポーツ振興						
	(26)歴史・文化の保全・活用						
まちづくり 行財政・	(27)国際交流						
	(28)男女共同参画						
	(29)地域の情報化						
	(30)行財政運営						

満足度と重要度の分析結果（渡瀬小学校区）

施策		A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉	(1)保健(健診・健康管理など)						
	(2)医療						
	(3)高齢者への支援						
	(4)障害者への支援						
	(5)子育て支援(保育園・児童館など)						
生活環境	(6)公園						
	(7)道路整備						
	(8)鉄道・バス						
	(9)上水道						
	(10)汚水処理(下水道、合併処理浄化槽)						
	(11)ごみ収集・処理						
	(12)ごみの不法投棄						
	(13)公害防止						
	(14)防災						
	(15)交通安全						
	(16)防犯						
産業振興	(17)農業振興						
	(18)工業振興(建設業を含む)						
	(19)商業振興						
	(20)観光振興						
	(21)林業振興						
教育・文化	(22)幼児教育(幼稚園など)						
	(23)学校教育						
	(24)生涯学習環境						
	(25)スポーツ振興						
	(26)歴史・文化の保全・活用						
まちづくり・行政	(27)国際交流						
	(28)男女共同参画						
	(29)地域の情報化						
	(30)行政運営						

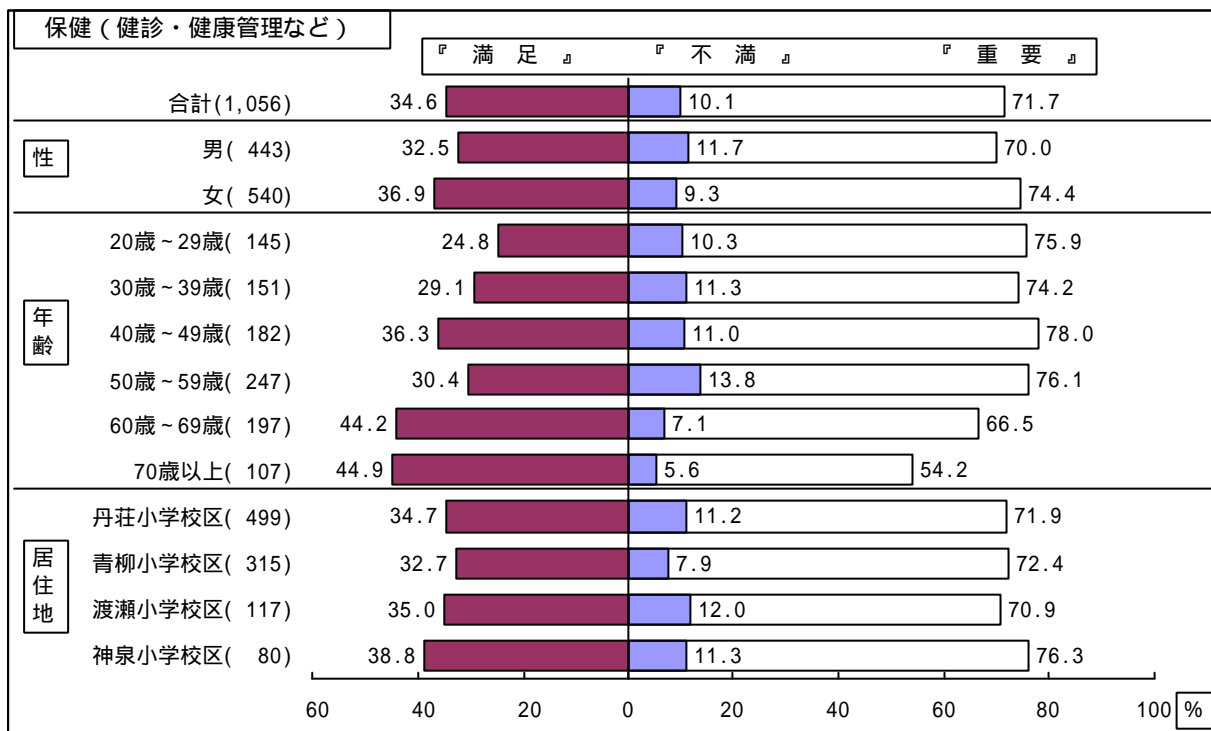
満足度と重要度の分析結果（神泉小学校区）

施策		A	B	C	D	E	F
保健・医療・福祉	(1)保健(健診・健康管理など)						
	(2)医療						
	(3)高齢者への支援						
	(4)障害者への支援						
	(5)子育て支援(保育園・児童館など)						
生活環境	(6)公園						
	(7)道路整備						
	(8)鉄道・バス						
	(9)上水道						
	(10)汚水処理(下水道、合併処理浄化槽)						
	(11)ごみ収集・処理						
	(12)ごみの不法投棄						
	(13)公害防止						
	(14)防災						
	(15)交通安全						
	(16)防犯						
産業振興	(17)農業振興						
	(18)工業振興(建設業を含む)						
	(19)商業振興						
	(20)観光振興						
	(21)林業振興						
教育・文化	(22)幼児教育(幼稚園など)						
	(23)学校教育						
	(24)生涯学習環境						
	(25)スポーツ振興						
	(26)歴史・文化の保全・活用						
まちづくり・行政	(27)国際交流						
	(28)男女共同参画						
	(29)地域の情報化						
	(30)行財政運営						

3. 属性にみる満足度と重要度

保健・医療・福祉

(1) 保健（健診・健康管理など）



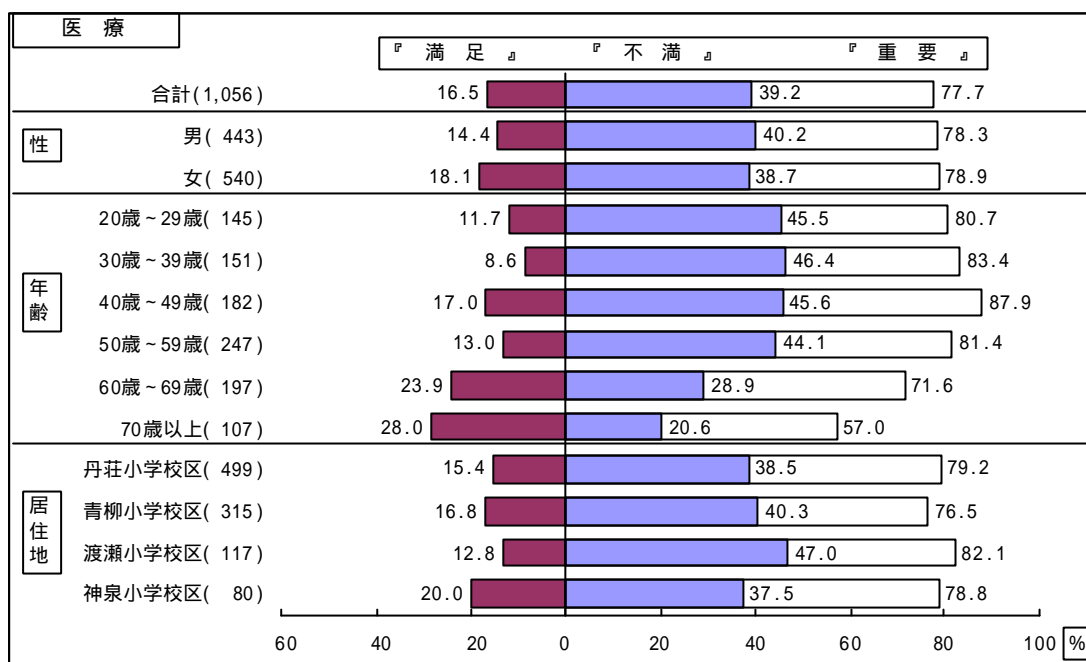
『満足』が34.6%とごみ収集・処理に次ぐ満足の多い項目となっていますが、同時に『重要』も医療に次いで多いものとなっています。

性別では、『満足』は女性36.9%が男性32.5%をやや上回り、『重要』でも女性74.4%が男性70.0%を上回ります。

年齢では、『満足』は60歳以上に多く、『重要』はそれに反比例して少なくなる傾向にあります。

地区では、神泉小学校区の『満足』38.8%、『重要』も76.3%と多いものとなっています。

(2) 医療

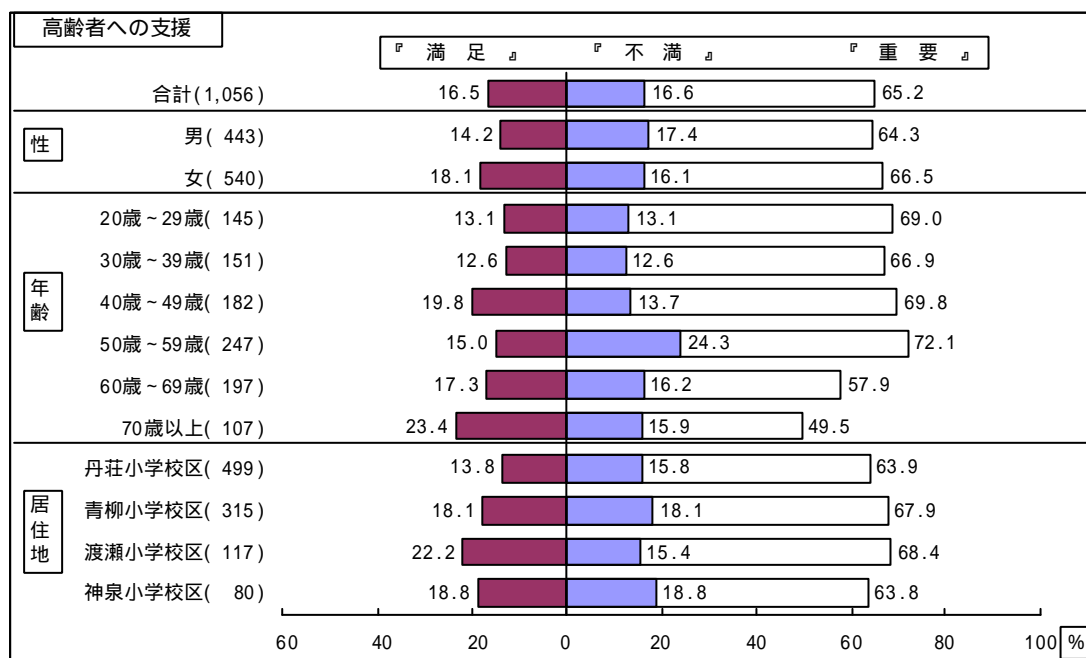


『不満』が39.2%と3番目、『重要』は77.7%と最も多い項目です。

『不満』は男女差はほとんどありませんが、年齢では20歳代から50歳代いずれも45%前後となっています。『重要』も最も多い年齢は40歳代87.9%です。

地区では、『不満』『重要』とも最も多いのは渡瀬小学校区であり、各47.0%、82.1%となっています。

(3) 高齢者への支援

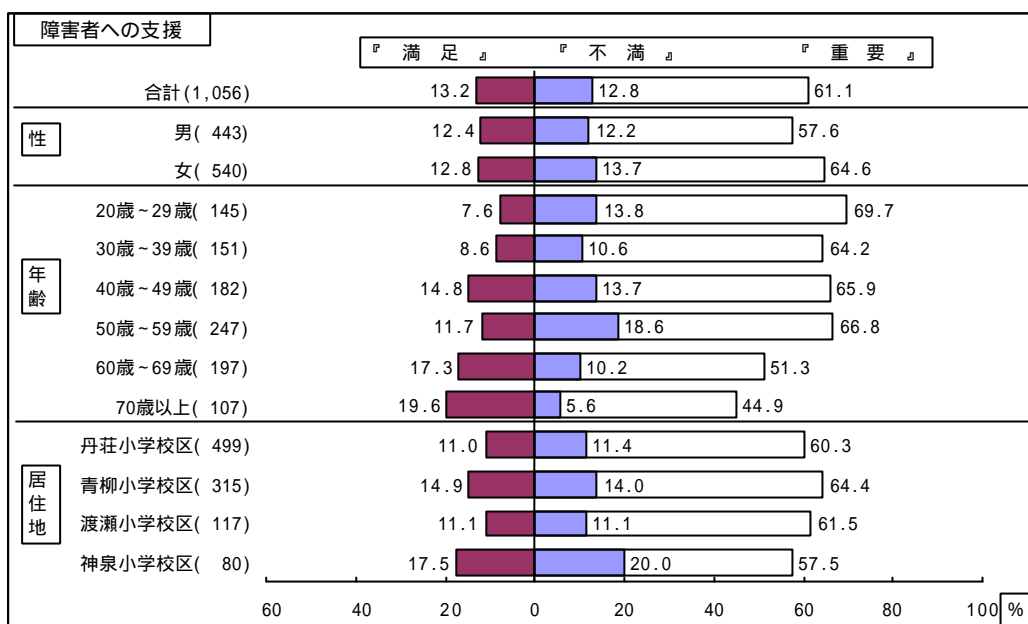


『満足』16.5%、『不満』16.6%と拮抗しています。

『不満』が『満足』を上回るのは、性別では男性、年齢では50歳代です。

『重要』は50歳代72.1%が最も多くあげており、当事者である60歳代は57.9%、70歳以上は49.5%とやや少なくなっています。

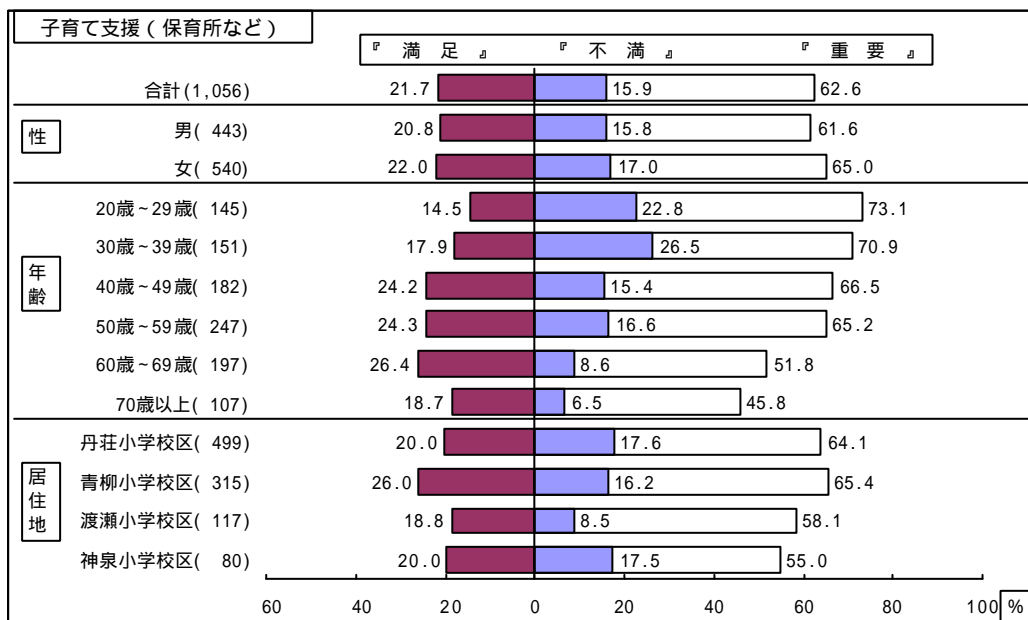
(4) 障害者への支援



『満足』13.2%が『不満』12.8%をやや上回ります。

『不満』は年齢別では50歳代18.6%、地区別では神泉小学校区20.0%とやや多くなっていますが、『重要』となると50歳代66.8%よりも20歳代69.7%が上回り、地区では神泉小学校区が57.5%と最も少ないものとなっています。

(5) 子育て支援(保育所など)



『満足』21.7%が『不満』15.9%を上回り、『満足』は高齢者や障害者への支援を上回ります。

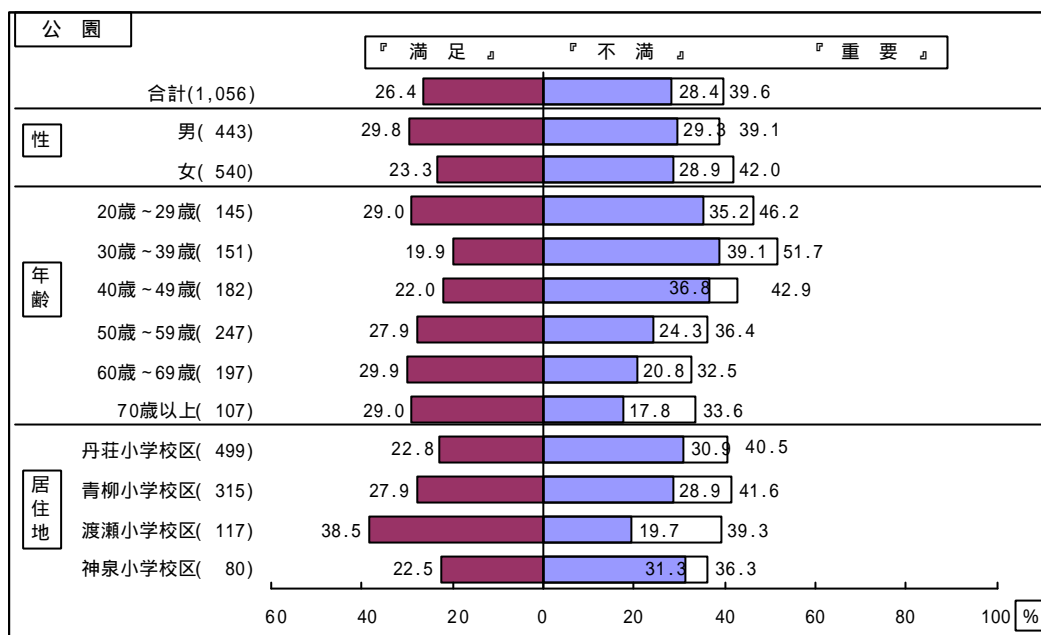
年齢別にみると、子育ての当事者が多いと考えられる20歳代及び30歳代では『不満』が『満足』を上回り、『不満』は20歳代22.8%、30歳代26.5%となっています。

『重要』についても20歳代73.1%、30歳代70.9%が他の属性を上回ります。

地区別では、『重要』は丹荘小学校区64.1%と青柳小学校区65.4%が比較的多いものとなっています。

生活環境

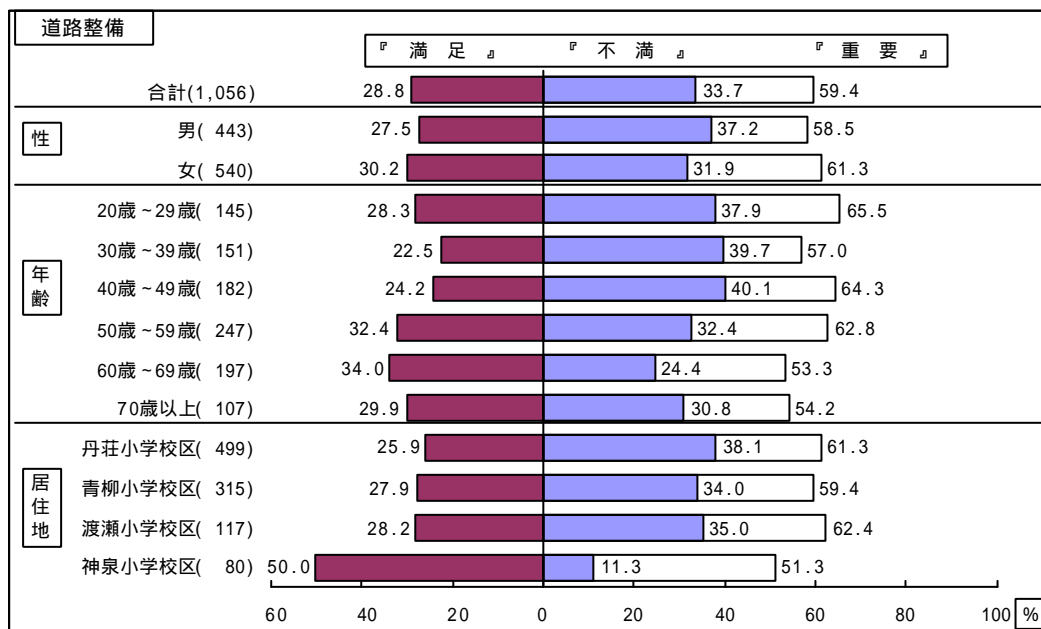
(6) 公園



『不満』28.4%が『満足』26.4%をやや上回りますが、『重要』は39.6%と少ないものとなっています。

『不満』は年齢別では30歳代39.1%、40歳代36.0%、20歳代35.2%の順であり、『重要』は30歳代51.7%、20歳代46.2%、40歳代42.9%の順となっています。

(7) 道路整備

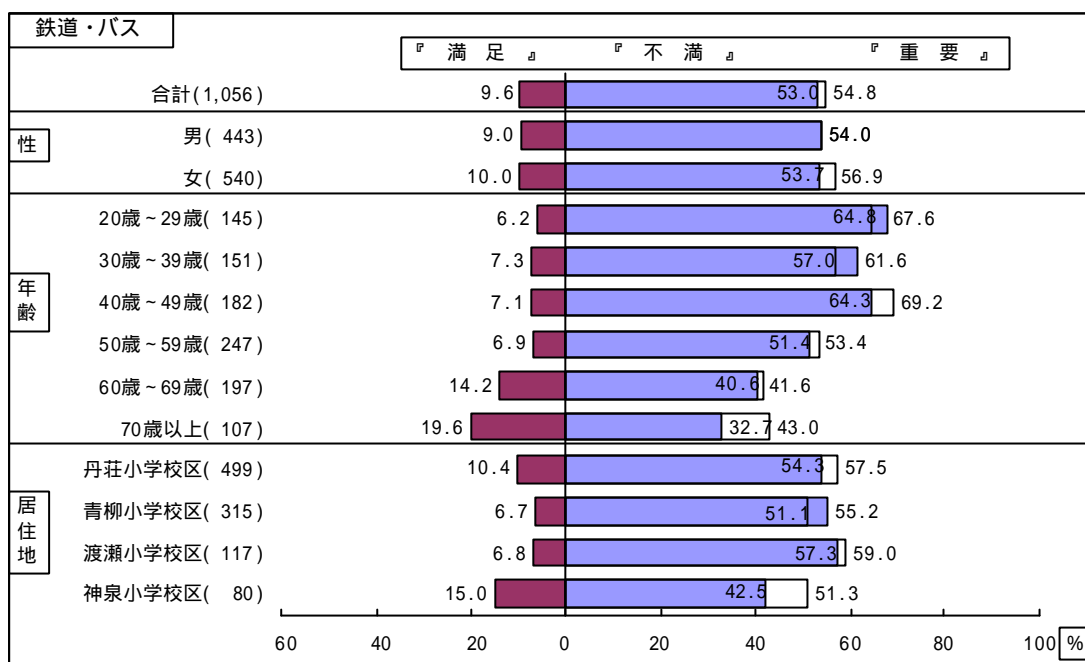


『不満』33.7%が『満足』28.8%をやや上回りますが、『重要』は59.4%にとどまります。

『不満』は、性別では男性37.2%が女性31.9%をやや上回り、年齢別では40歳代40.1%、30歳代39.7%、20歳代37.9%にやや多くなっています。

地区では、神泉小学校区の『不満』はわずか11.3%となっています。

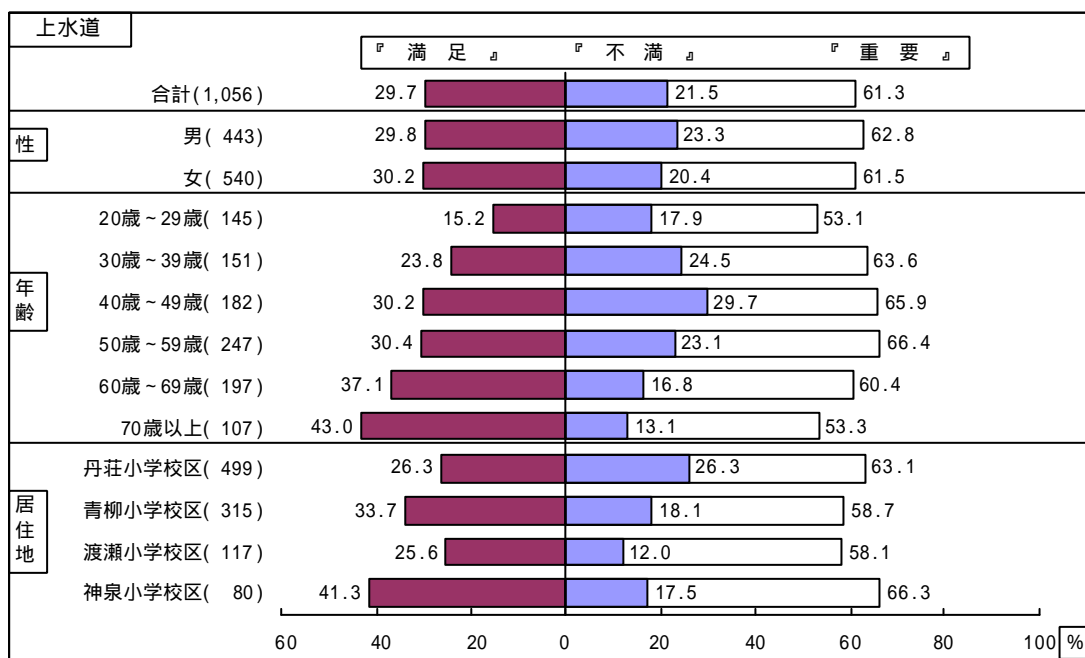
(8) 鉄道・バス



『不満』53.0%は30施策の中でトップです。しかし『重要』は54.8%にとどまっています。

『不満』は年齢別では20歳代67.6%、40歳代64.3%、30歳代61.6%の順となっています。地区では神泉小学校区の『不満』42.5%が最も少ないものとなっています。

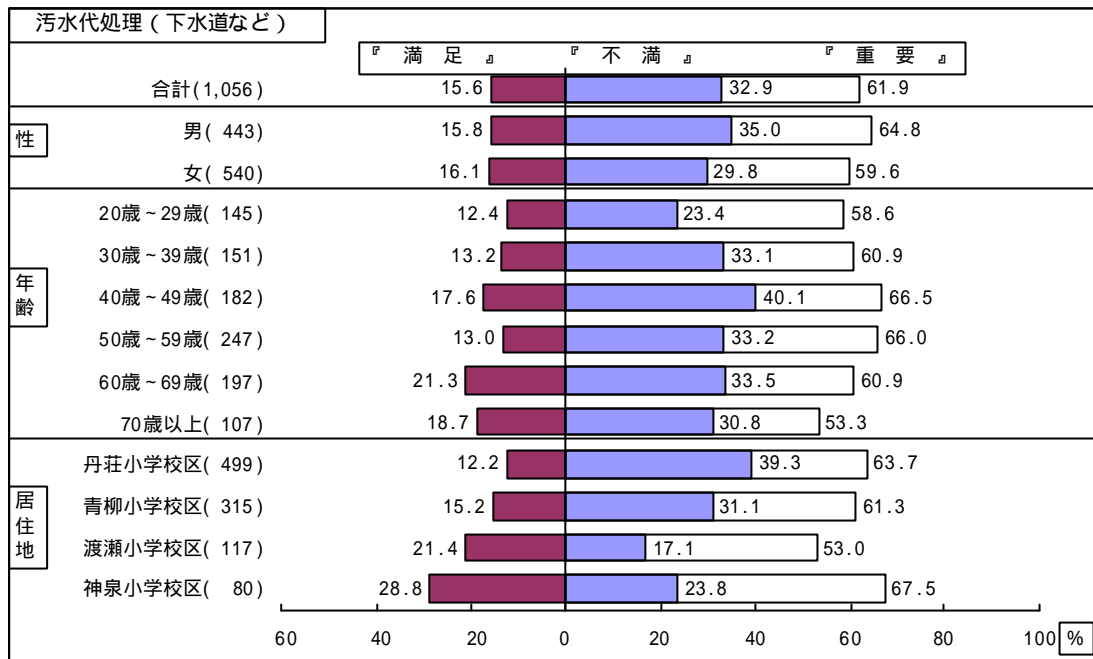
(9) 上水道



『満足』29.7%が『不満』21.5%を上回ります。

『満足』は年齢別には年齢が高くなるほど多くなり、神泉小学校区の『満足』は41.3%と際立っています。

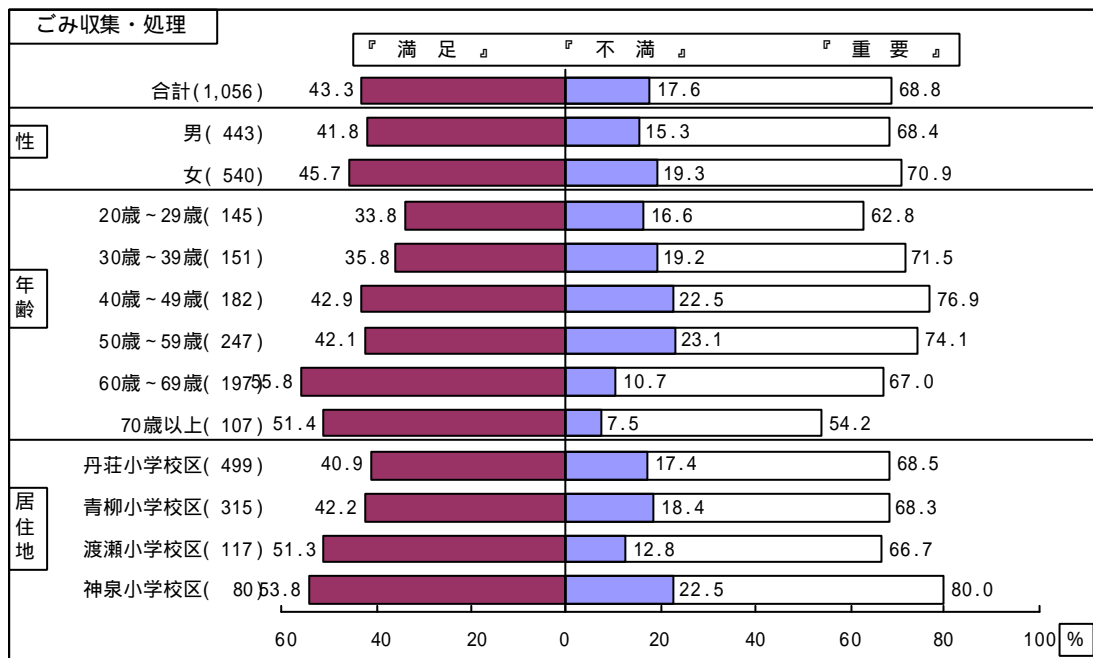
(10) 汚水処理（下水道、合併処理浄化槽）



『不満』32.9%が『満足』15.6%の倍となっています。

『不満』は年齢別では20歳代の23.4%、地区別の渡瀬小学校区の17.1%を除いてはほぼ同程度であり、『重要』についても同様のことが言えます。

(11) ごみ処理・収集

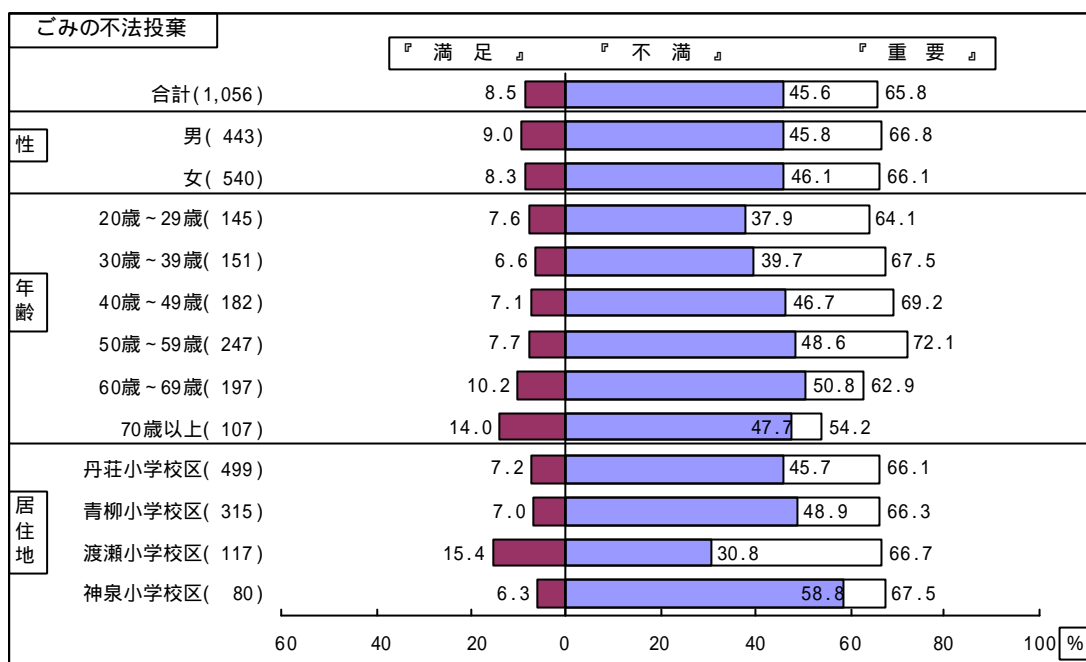


『満足』43.3%、『不満』17.6%であり、『満足』が最も多い施策ですが、同時に『重要』も68.8%と4位にあげられています。

『満足』は年齢別では60歳代55.8%や70歳以上51.4%に多く、地区別では渡瀬小学校区51.3%や神泉小学校区53.8%をあげることができます。

神泉小学校区では『重要』が80.0%と目立って多いものとなっています。

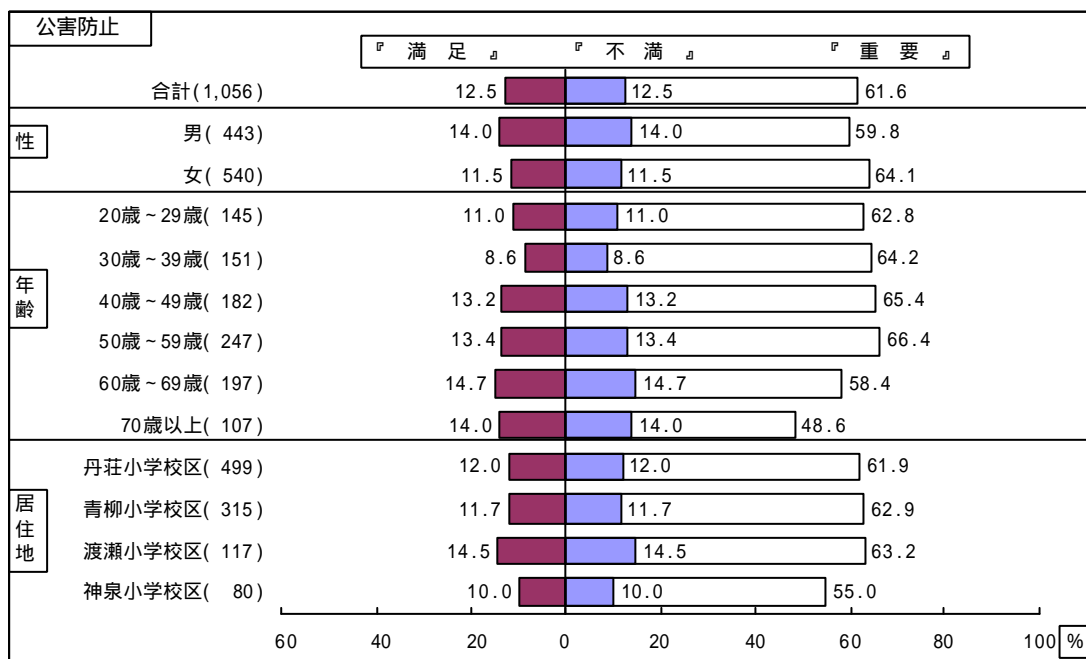
(12) ごみの不法投棄



『不満』45.6%、『満足』8.5%と不満が満足を大きく上回り、『不満』は「鉄道・バス」に次いでいます。『重要』は65.8%と「ごみの収集・処理」に次ぐ5位となっています。

『不満』は年齢別では20歳代37.9%や30歳代39.7%、地区別では渡瀬小学校区30.8%でやや少ない他は、ほぼ同程度にあげられ、なかでも神泉小学校区58.8%が目立ちます。

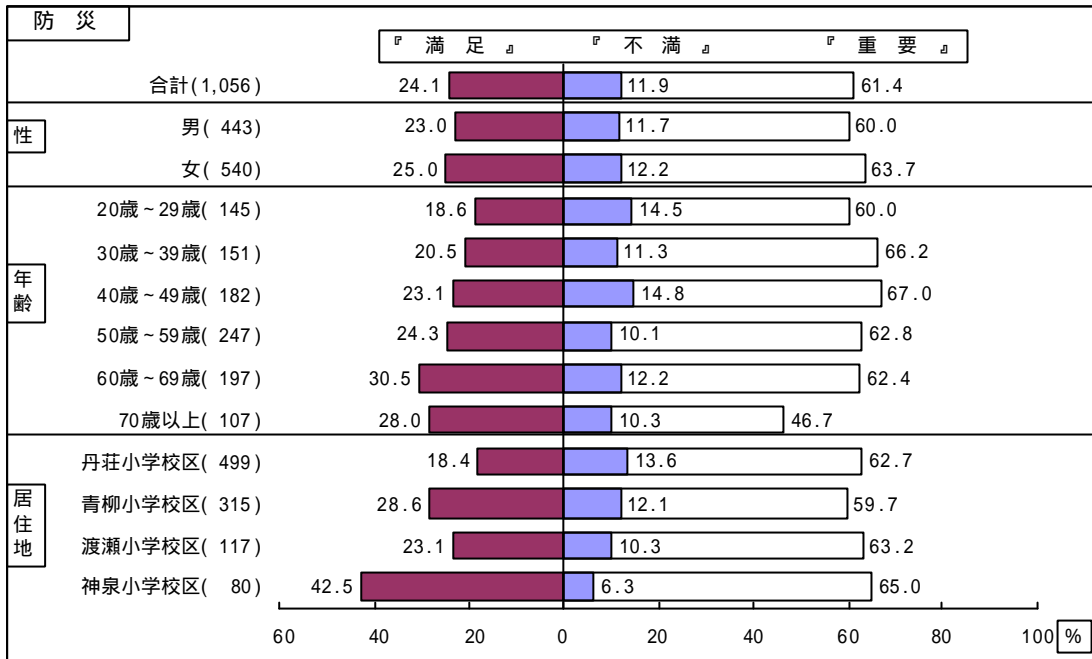
(13) 公害防止



『満足』『不満』とも12.5%となっています。

『重要』は61.6%ですが、年齢別では60歳代58.4%や70歳以上48.6%、地区別で神泉小学校区55.0%でやや少ないものとなっています。

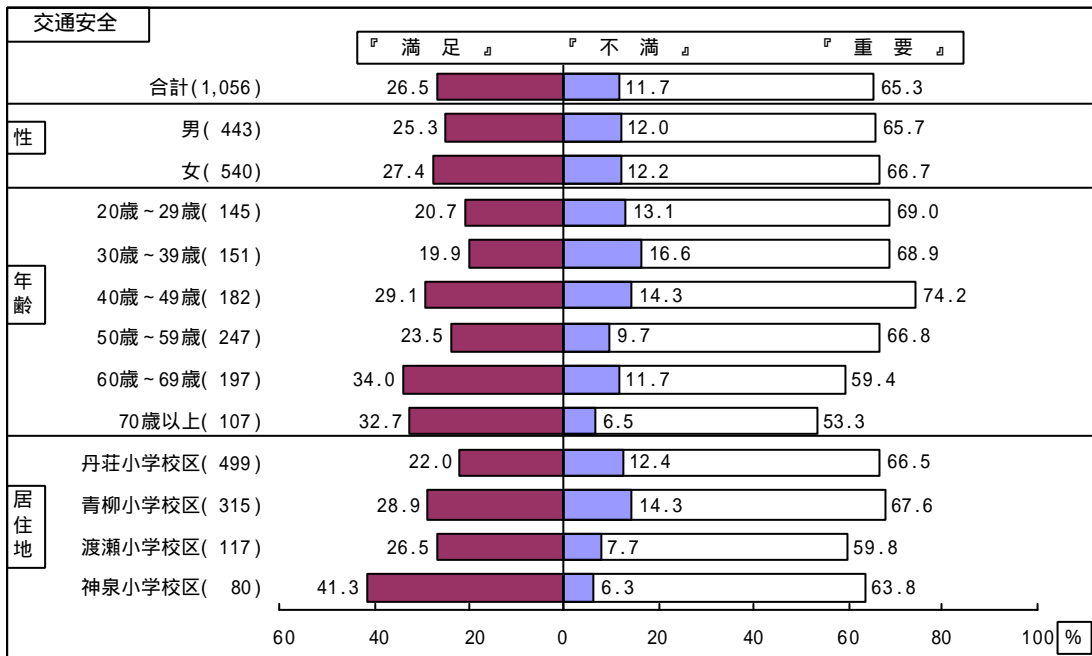
(14) 防災



『満足』24.1%が『不満』11.9%を上回ります。

『重要』は61.4%ですが、70歳以上の46.7%を除いてはいずれも同じ程度にあげられています。

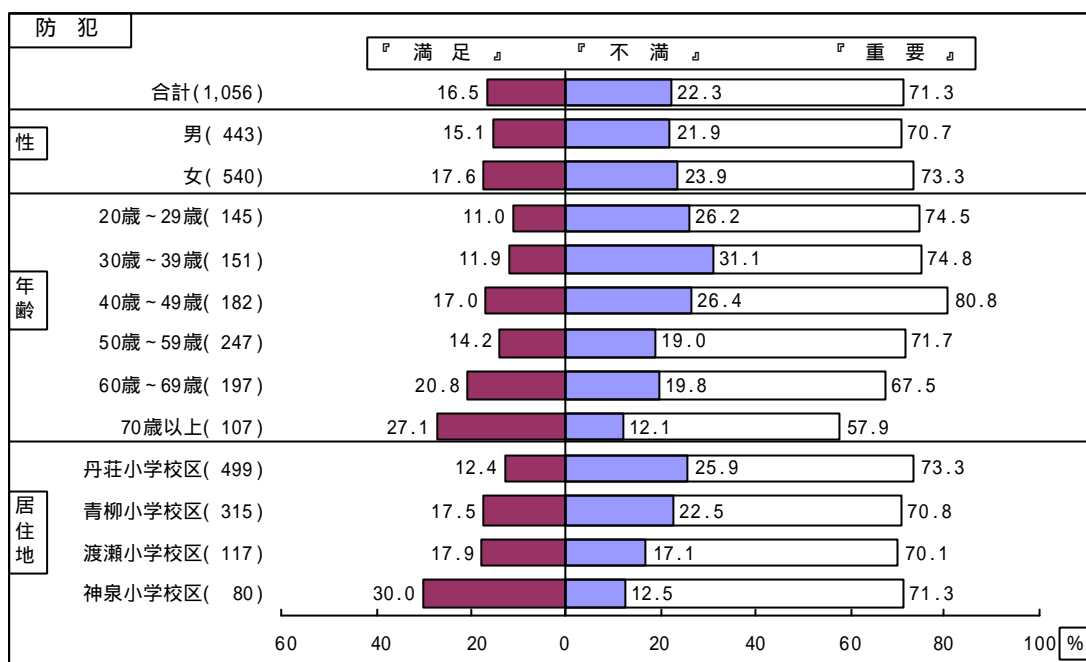
(15) 交通安全



『満足』26.5%、『不満』11.7%となっています。

『重要』は65.3%ですが、年齢別では40歳代74.2%のみ7割を超えています。

(16) 防犯

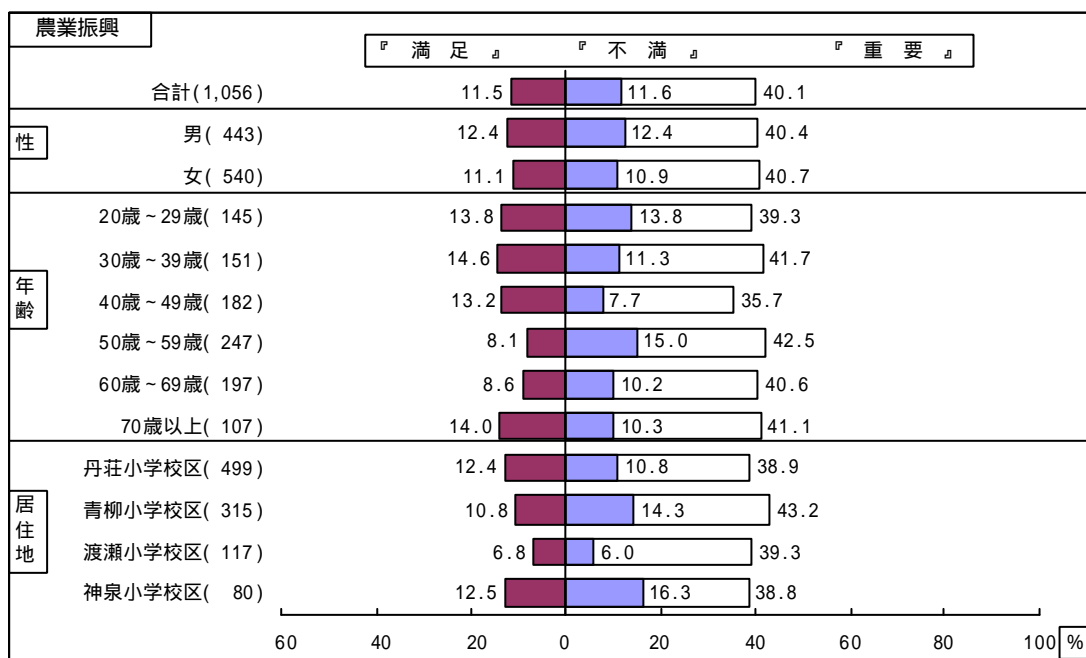


『不満』22.3%が『満足』16.5%を上回ります。

年齢別では30歳代31.1%のみ『不満』が3割を超えます。

産業振興

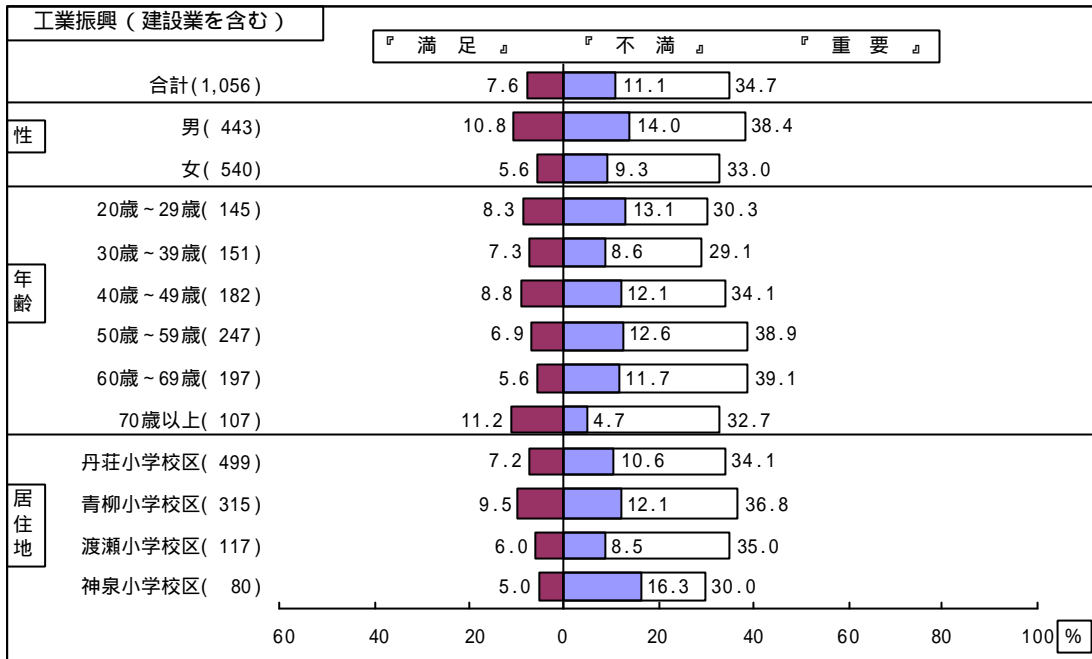
(17) 農業振興



『満足』11.5%、『不満』11.6%と「工業振興」に次いでいずれも少ないものとなっています。
『重要』は40.1%です。

『不満』が平均を上回るのは、地区別では青柳小学校区の14.3%、神泉小学校区の16.3%であり、『重要』では青柳小学校区の43.2%をあげることができます。

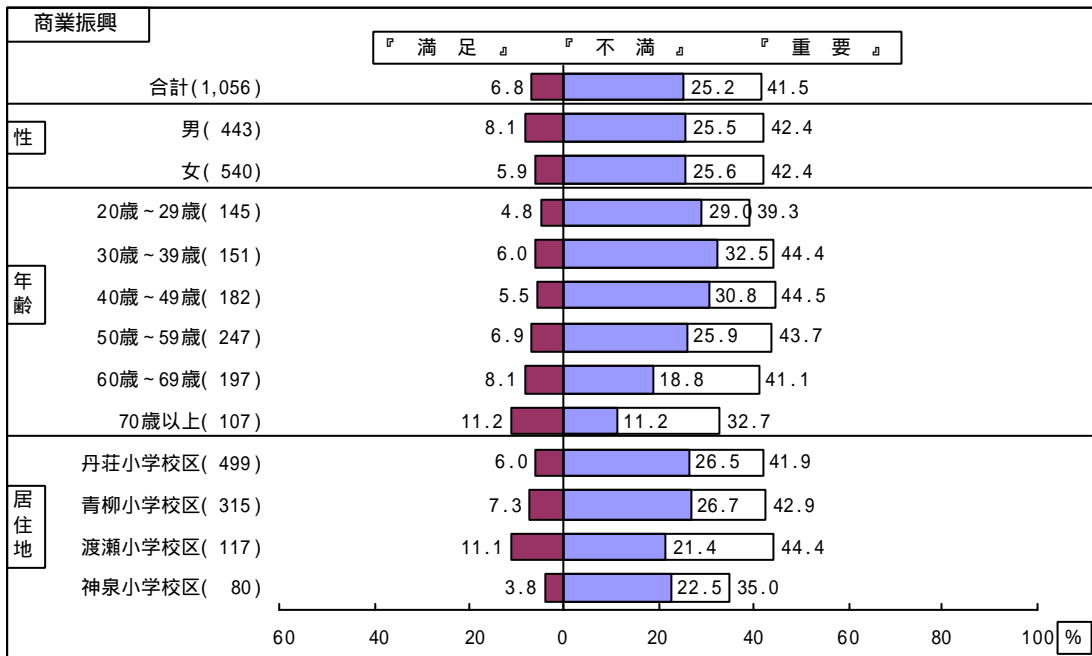
(18) 工業振興（建設業を含む）



『不満』11.1%、『満足』7.6%といずれも少ないものとなっています。

『不満』が平均を上回るのは、性別では男性14.0%、年齢別では20歳代13.1%、50歳代12.6%などをあげることができ、地区別では神泉小学校区の16.3%です。

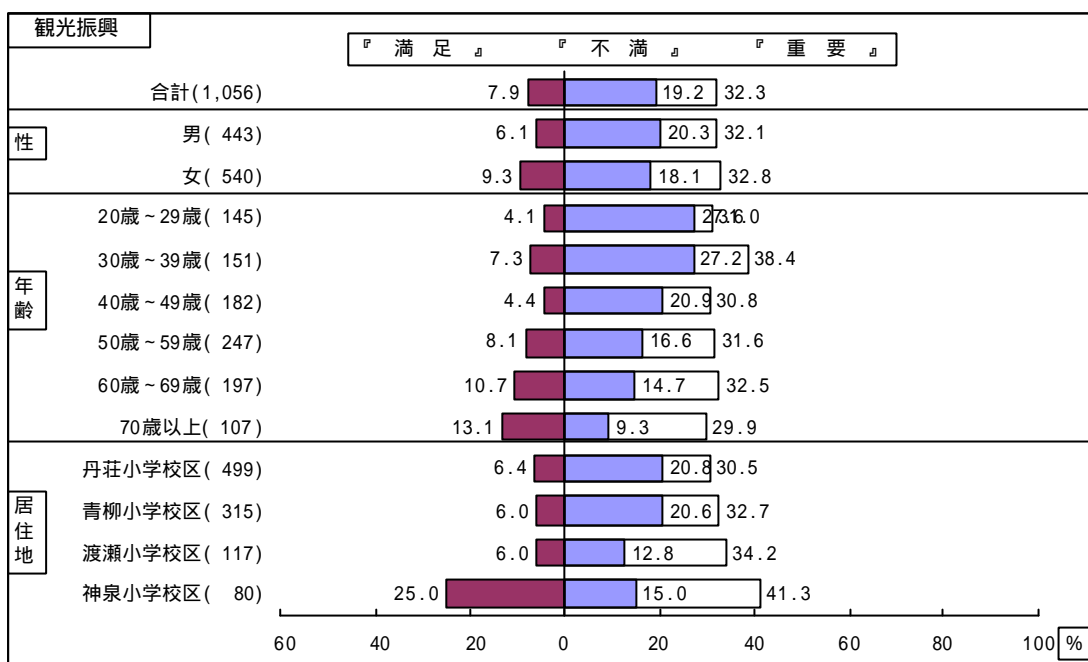
(19) 商業振興



『不満』25.2%が『満足』6.8%を大きく上回ります。

『不満』は年齢別では30歳代32.5%、40歳代30.8%、20歳代29.0%の順となっています。

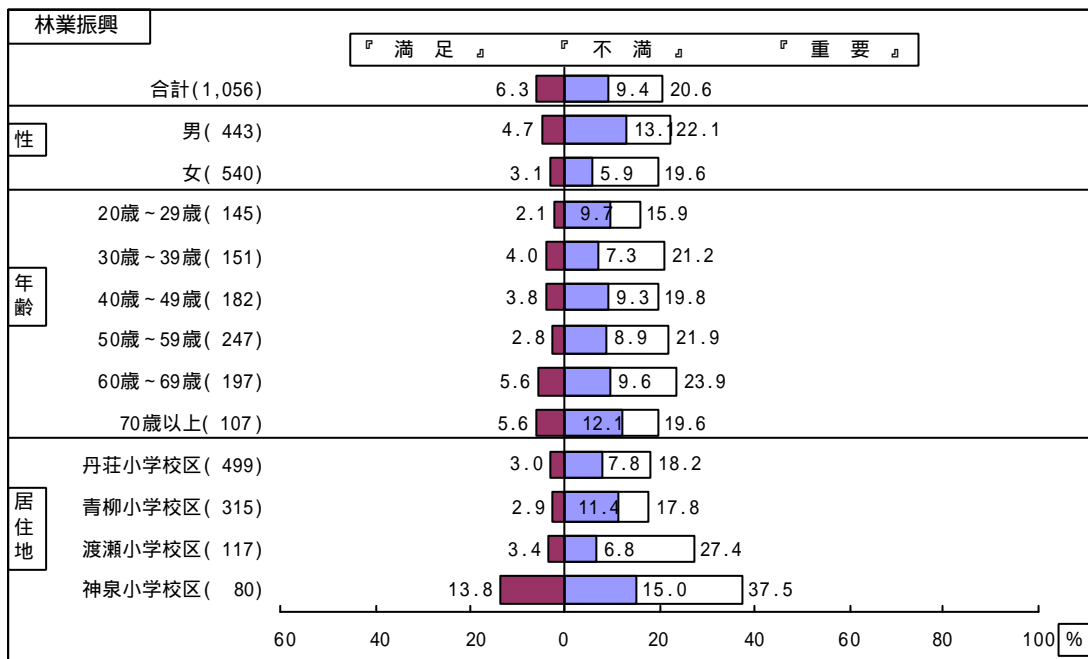
(20) 観光振興



『不満』19.2%、『満足』7.9%となっています。

『不満』は年齢別では20歳代27.3%、30歳代27.2%の順となっています。

(21) 林業振興

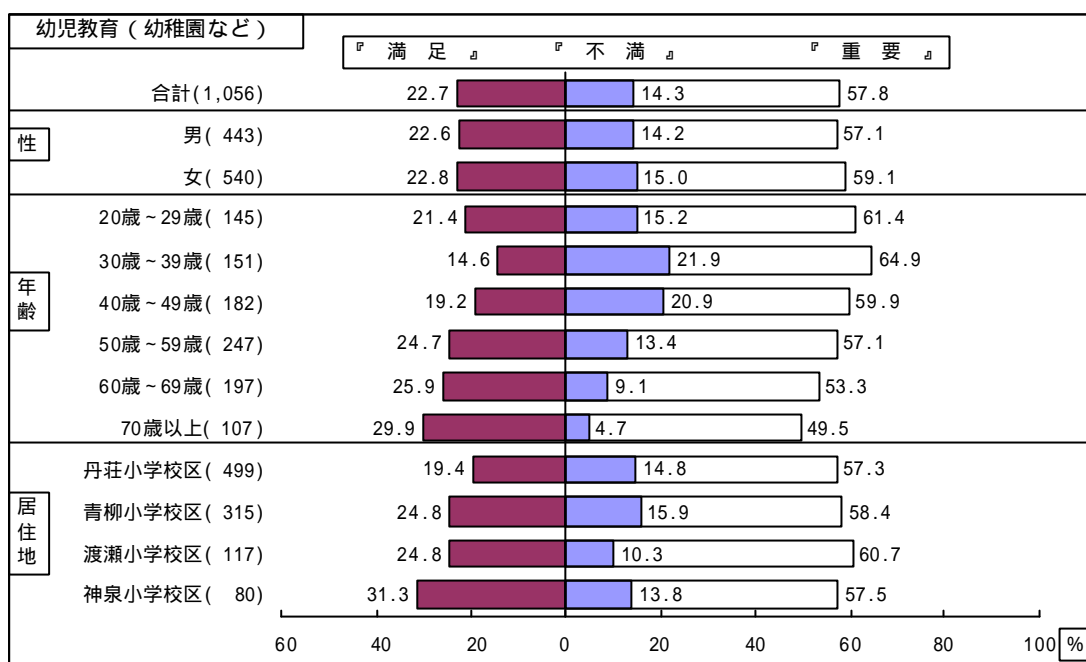


『不満』9.4%、『満足』6.3%といずれも少なく、関心の低さを反映しています。

そうしたなかで『重要』20.6%を上回る地区は渡瀬小学校区27.4%であり、神泉小学校区37.5%です。

教育・文化

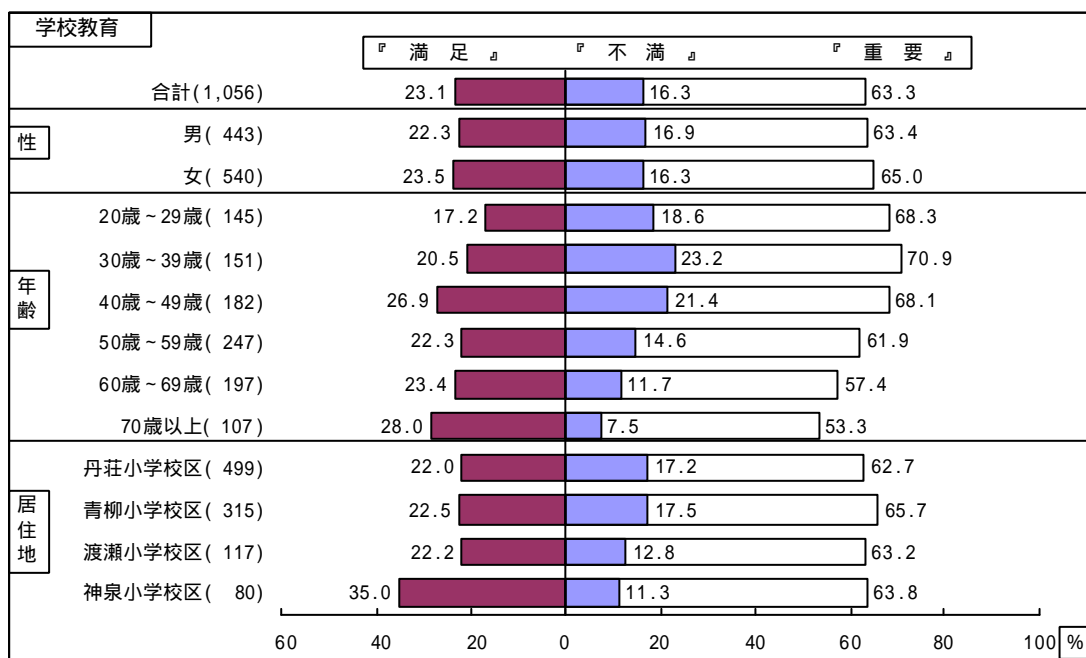
(22) 幼児教育（幼稚園など）



『満足』22.7%、『不満』14.3%です。

当事者の多い30歳代及び40歳代での『不満』が各21.9%、20.9%とやや多くなっています。

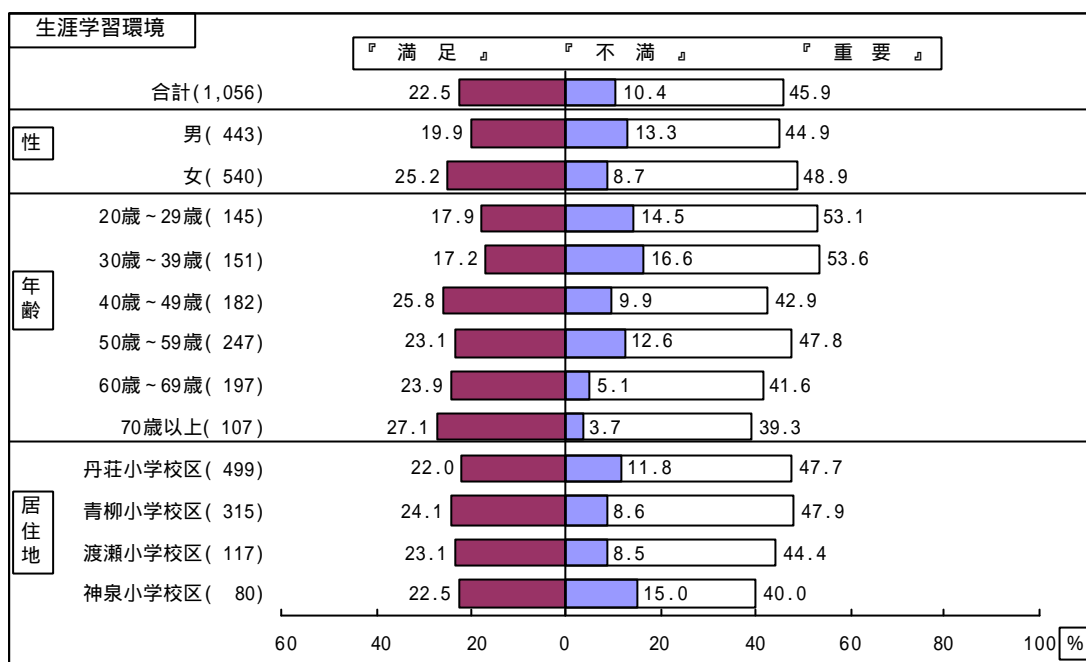
(23) 学校教育



『満足』23.1%が『不満』16.3%を上回り、『重要』は63.3%となっています。

当事者である30歳代では、『不満』23.2%が『満足』20.5%を上回り、逆に40歳代では『満足』26.9%が『不満』21.4%を上回っています。

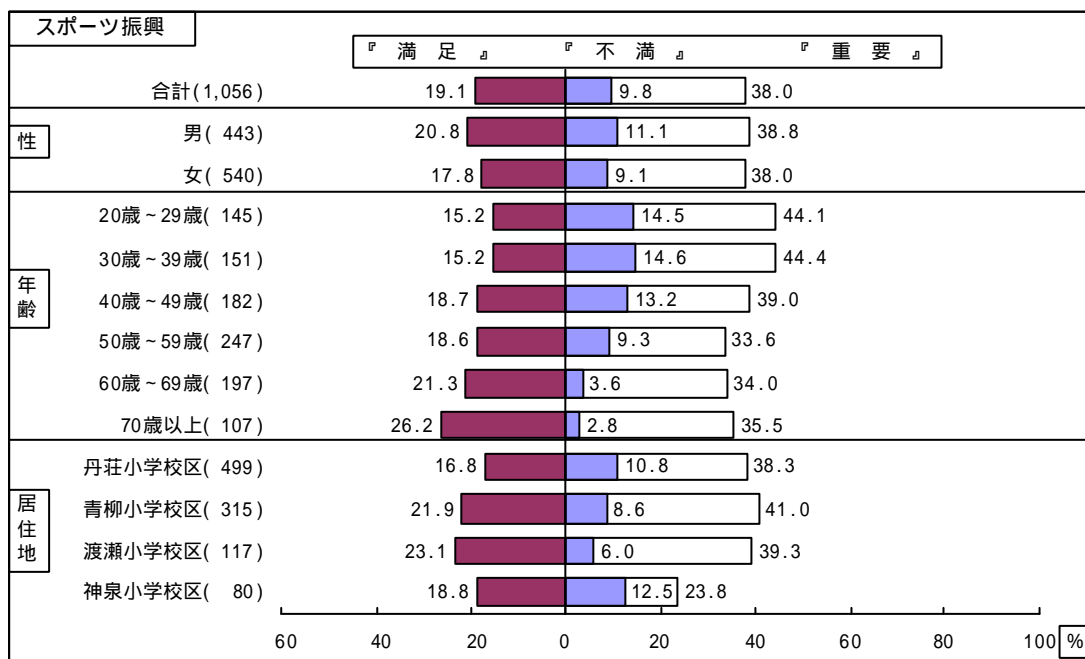
(24) 生涯学習環境



『満足』22.5%が『不満』10.4%を上回り、『重要』は45.9%と学校教育と比べ少なくなります。

性別、年齢別、地区別のいずれの属性も『満足』が『不満』を上回り、『重要』は年齢別では20歳代53.1%、30歳代53.6%にやや多くなっています。

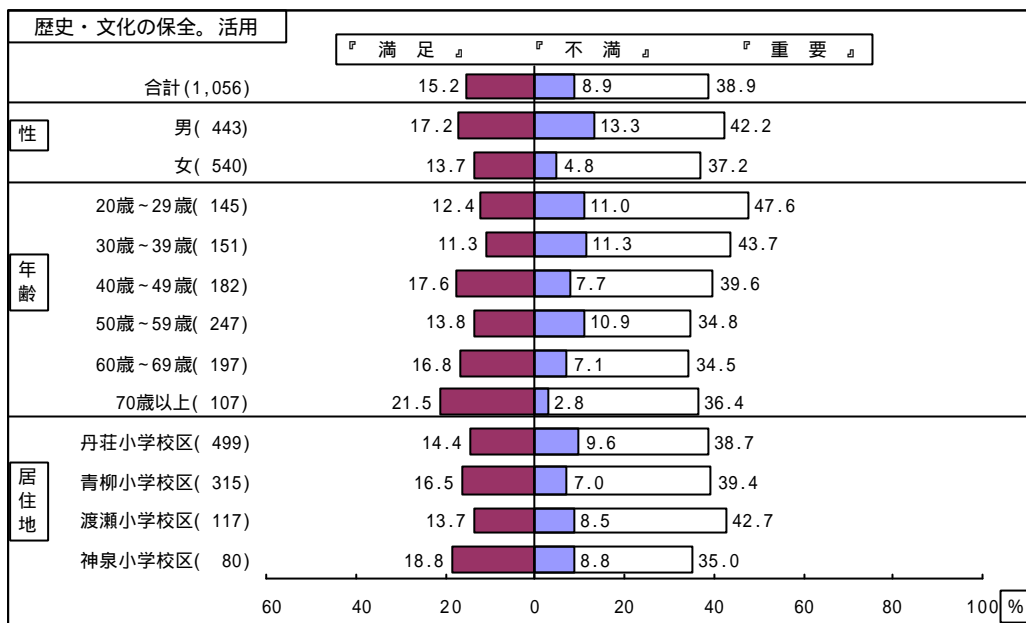
(25) スポーツ振興



『満足』19.1%、『不満』9.8%となっており、『重要』は38.0%と生涯学習環境を下回ります。

年齢別は『不満』は20歳代14.5%、30歳代14.6%にやや多く、『重要』も20歳代44.1%、30歳代44.4%に多くなっています。

(26) 歴史・文化の保全・活用

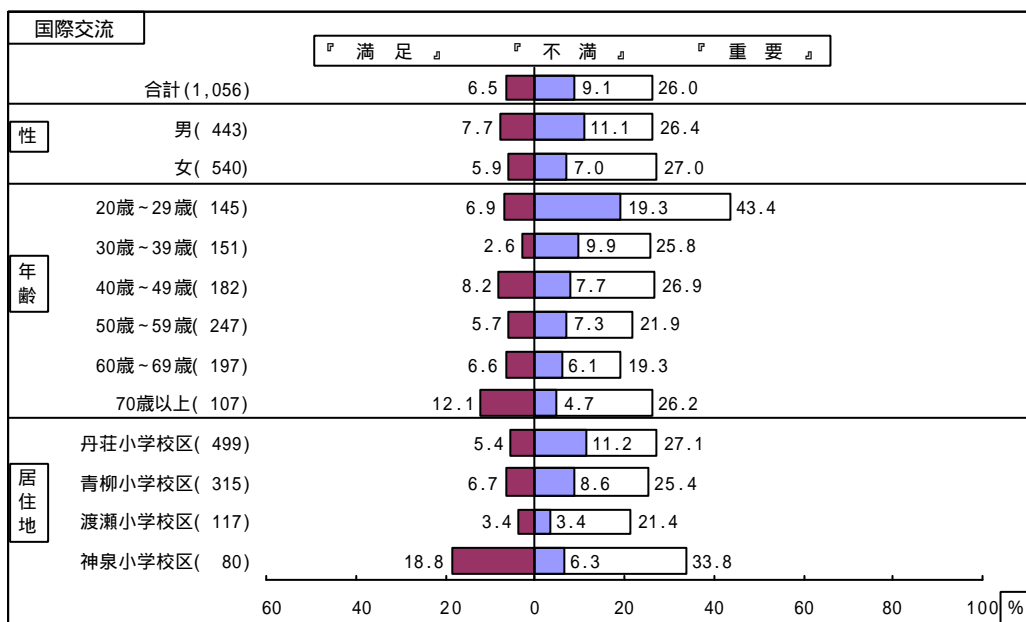


『満足』15.2%、『不満』8.9%と「スポーツ振興」よりも『満足』がやや少ない程度となっています。ただし『重要』38.9%は「スポーツ振興」を上回ります。

『重要』は性別では男性42.2%、年齢別では20歳代47.6%、30歳代43.7%、地区別では渡瀬小学校区42.7%でやや多くなっています。

行財政・まちづくり

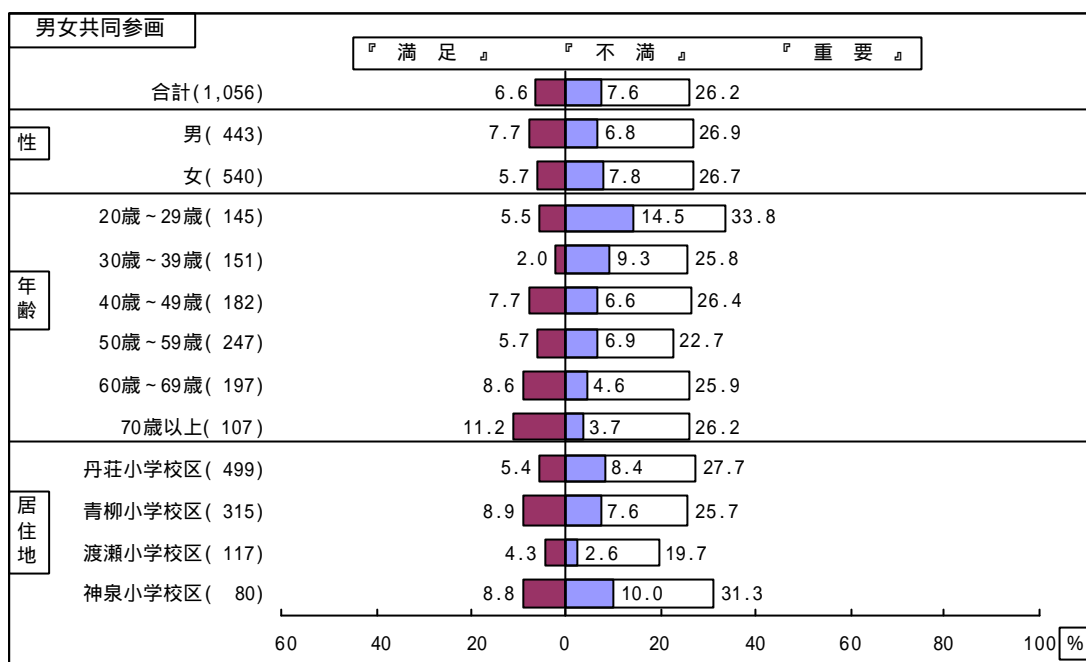
(27) 国際交流



『不満』9.1%が『満足』6.5%をやや上回ります。『重要』は26.0%と「男女共同参画」と同程度です。

『重要』は年齢別では20歳代43.4%、地区別では神泉小学校区33.8%で多くあげられています。

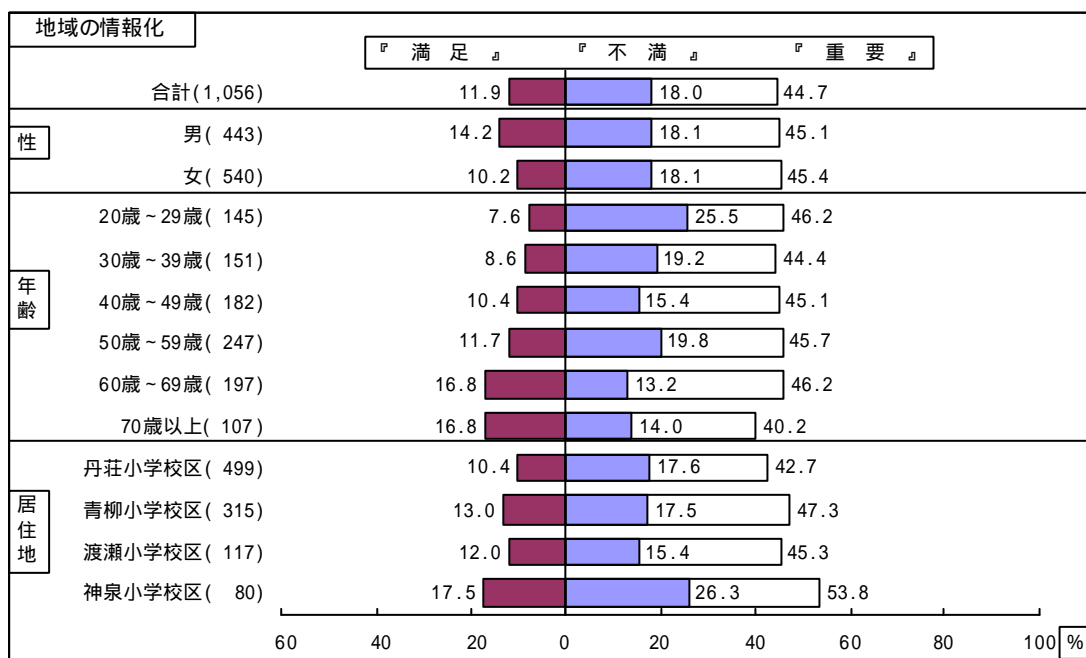
(28) 男女共同参画



『不満』7.6%が『満足』6.6%をやや上回り、『重要』は26.2%と「国際交流」と同程度です。

ここでも『重要』は年齢別では20歳代の33.8%、地区別では神泉小学校区31.3%でやや多くなっています。

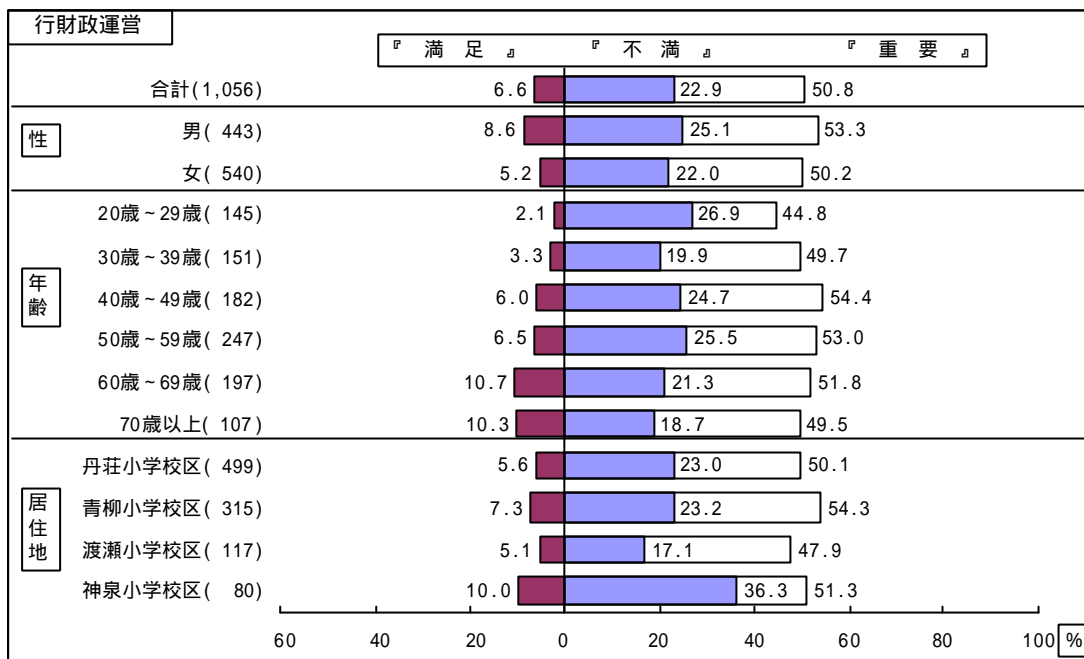
(29) 地域の情報化



『不満』18.0%が『満足』11.9%を上回ります。『重要』は44.7%です。

『重要』がやや多い地区は神泉小学校区の53.8%、反対にやや少ないのは丹荘小学校区42.7%となっています。

(30) 行財政運営

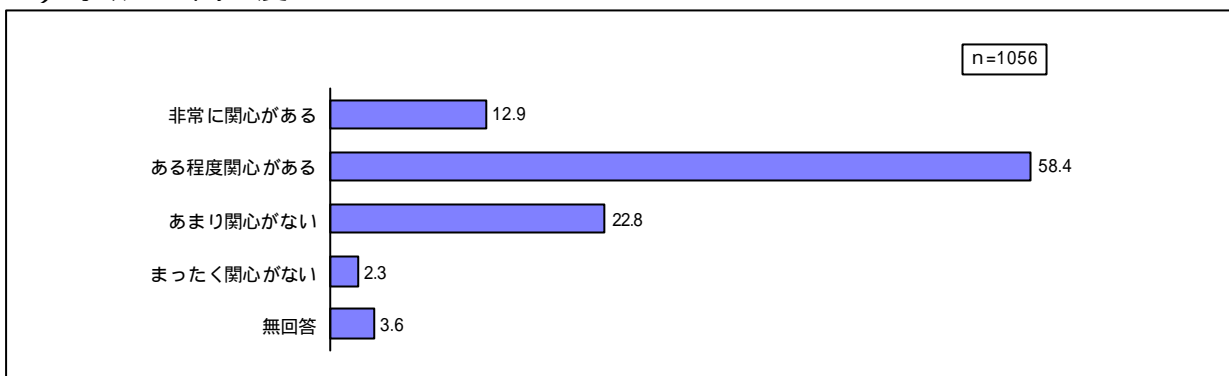


『不満』22.9%が、『満足』6.6%を大きく上回り、『重要』50.8%となっています。

『不満』は性別では男性25.1%、年齢別では20歳代26.9%、40歳代24.7%、50歳代25.5%、地区別では神泉小学校区36.3%でやや多いものとなっています。

4. 町政について

(1) 町政への関心度

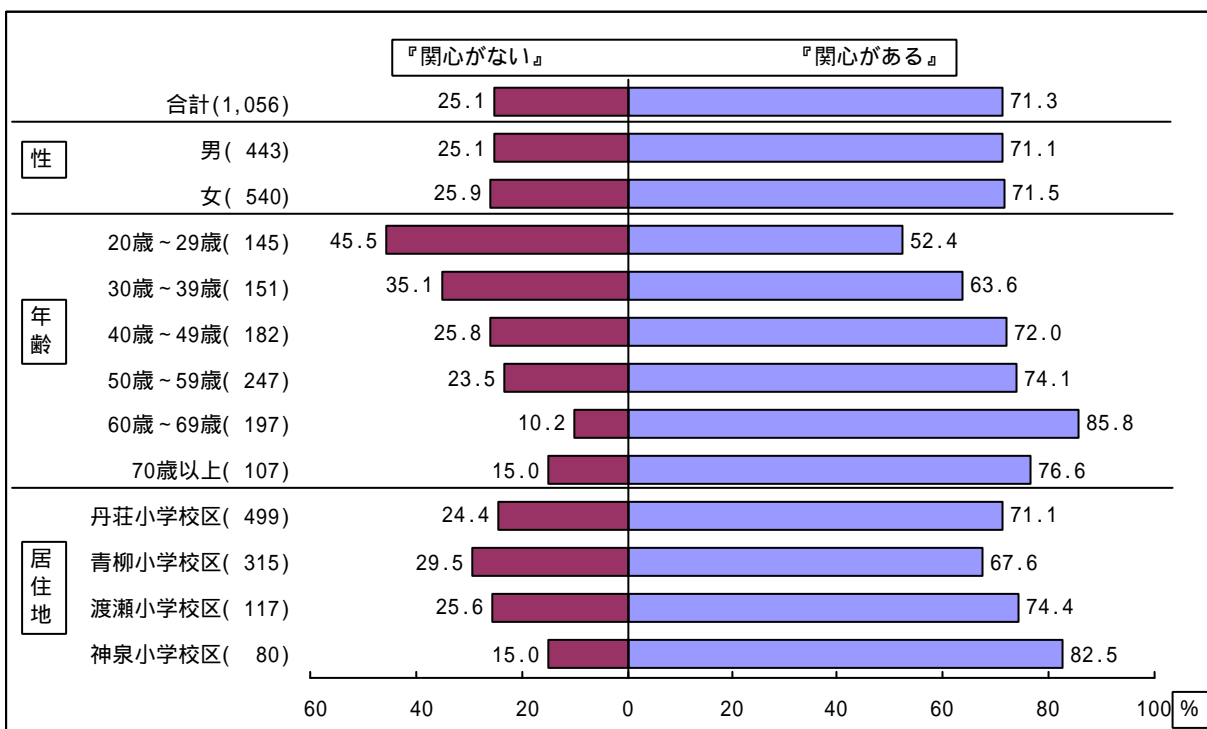


町政への関心度は、「非常に興味がある」12.9%、「ある程度興味がある」58.4%、「あまり興味がない」22.8%、「まったく興味がない」2.3%であり、「非常に興味がある」と「ある程度興味がある」を合わせた『関心がある』は71.3%と7割以上の人が町政に関心をもっています。

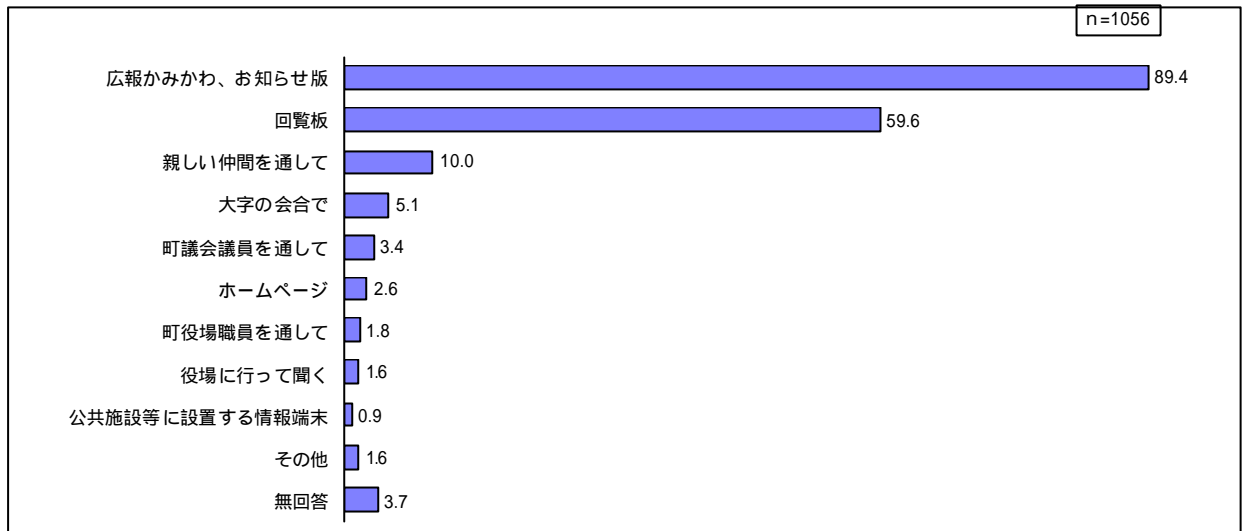
性別では「非常に興味がある」は男性16.9%が女性9.3%を上回りますが、『関心がある』は各71.1%、71.5%と差はありません。

年齢別では『関心がある』は60歳代85.8%、70歳以上76.6%、50歳以上74.1%などとなっています。

地区別の『関心がある』は神泉小学校区82.5%、渡瀬小学校区74.4%、丹荘小学校区71.1%、青柳小学校区67.6%となっています。



(2) 町政に関する情報を得る手段



町政に関する情報を得る手段は、「広報かみかわ、お知らせ版」の 89.4%と「回覧板」の 59.6%が他を圧倒しています。

地区では、「広報かみかわ、お知らせ版」は神泉小学校区 93.8%、渡瀬小学校区 93.2%といずれの地区も 9 割を越え、次いで青柳小学校区 89.2%、丹荘小学校区 88.8%となっています。また、神泉小学校区では、「町役場職員を通して」が 7.5%と全体平均の 1.8%を大きく上回ります。

問7 町政に関する情報を得る手段

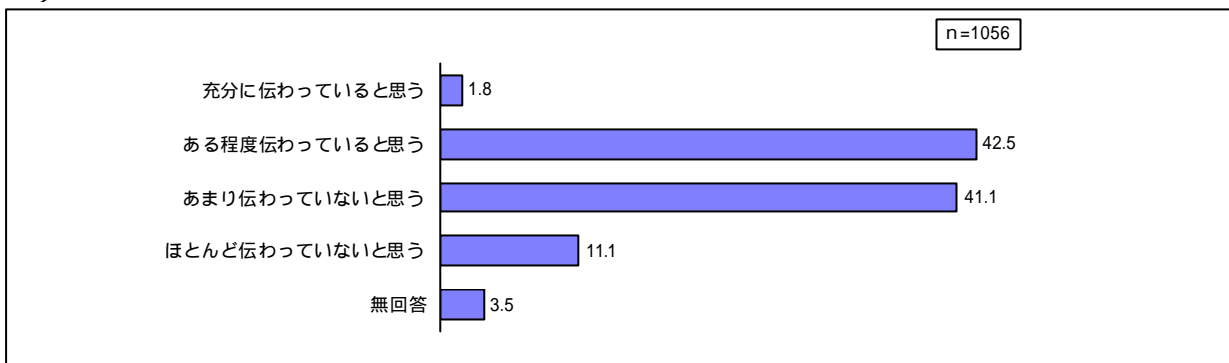
属性	全体	単位：%											
		広報かみかわ、お知らせ版	回覧板	親しい仲間を通して	町議会議員を通して	町役場職員を通して	大字の会合で	公共施設等に設置する情報端末	ホームページ	役場に行って聞く	その他	無回答	
全体	1,056	89.4	59.6	10.0	3.4	1.8	5.1	0.9	2.6	1.6	1.6	3.7	
性別	男	443	86.0	55.5	11.5	3.6	1.1	7.2	0.7	3.4	1.6	3.2	3.8
	女	540	93.1	63.7	9.1	3.0	2.6	3.3	1.1	1.9	1.5	0.4	2.8
年齢	20歳～29歳	145	87.6	49.0	8.3	0.0	0.0	0.7	6.2	0.7	3.4	4.8	
	30歳～39歳	151	93.4	64.9	5.3	0.7	2.0	2.0	3.3	0.7	2.0	1.3	
	40歳～49歳	182	91.8	65.4	9.9	1.6	2.2	7.7	1.1	2.2	1.6	0.5	2.2
	50歳～59歳	247	89.9	64.4	10.9	4.5	2.8	4.9	1.2	0.8	2.0	1.6	1.6
	60歳～69歳	197	91.4	55.3	13.2	7.1	2.0	6.6	1.0	1.5	2.0	0.5	4.1
	70歳以上	107	82.2	56.1	12.1	6.5	0.9	9.3	0.9	0.9	1.9	2.8	7.5
居住地	丹荘小学校区	499	88.8	58.7	10.4	3.0	1.4	5.4	1.2	2.2	2.0	0.8	4.4
	青柳小学校区	315	89.2	60.6	9.5	2.5	1.0	5.1	0.0	2.9	1.6	3.8	2.9
	渡瀬小学校区	117	93.2	57.3	13.7	6.0	2.6	6.8	0.0	1.7	0.0	0.9	0.9
	神泉小学校区	80	93.8	65.0	7.5	5.0	7.5	1.3	3.8	2.5	1.3	0.0	2.5

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・ 町外から
- ・ 家族から
- ・ テレビ

(3) 町政に関する情報は十分か

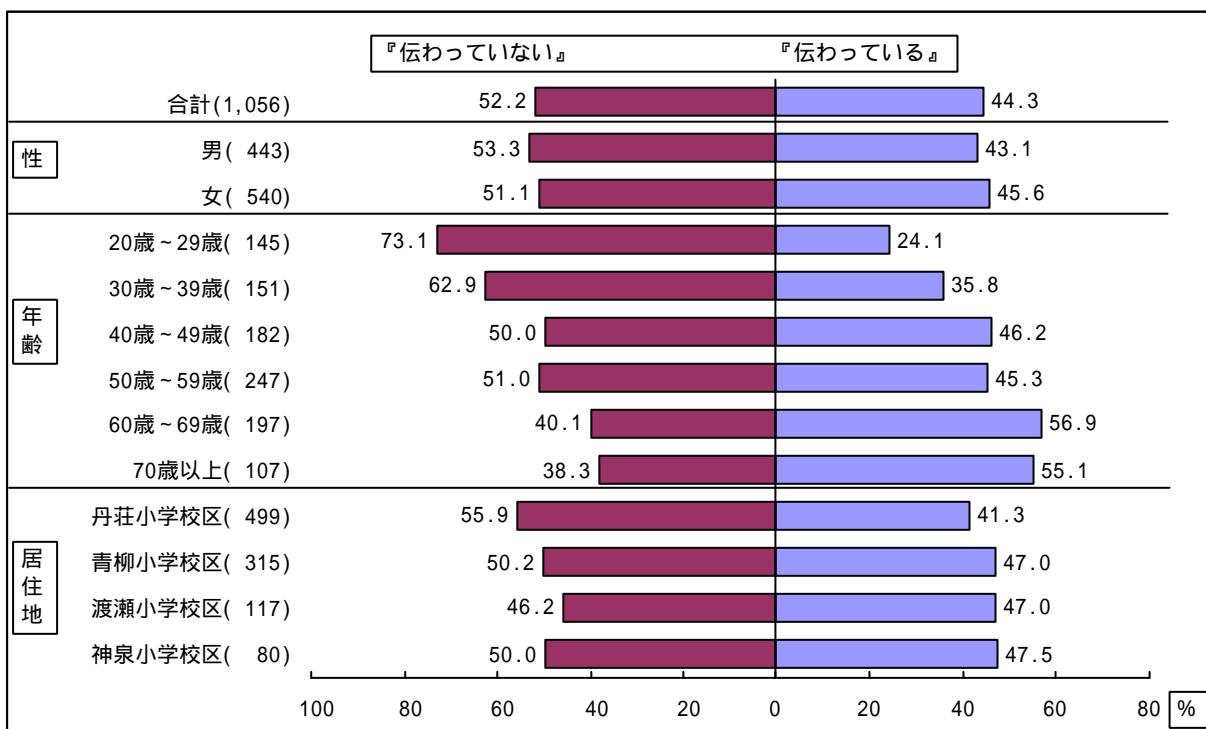


町政に関する情報は「十分に伝わっていると思う」1.8%、「ある程度伝わっていると思う」42.5%、「あまり伝わっていないと思う」41.1%、「ほとんど伝わっていないと思う」11.1%です。「あまり伝わっていないと思う」及び「ほとんど伝わっていないと思う」を合わせた『伝わっていない』は52.2%と半数を超えています。

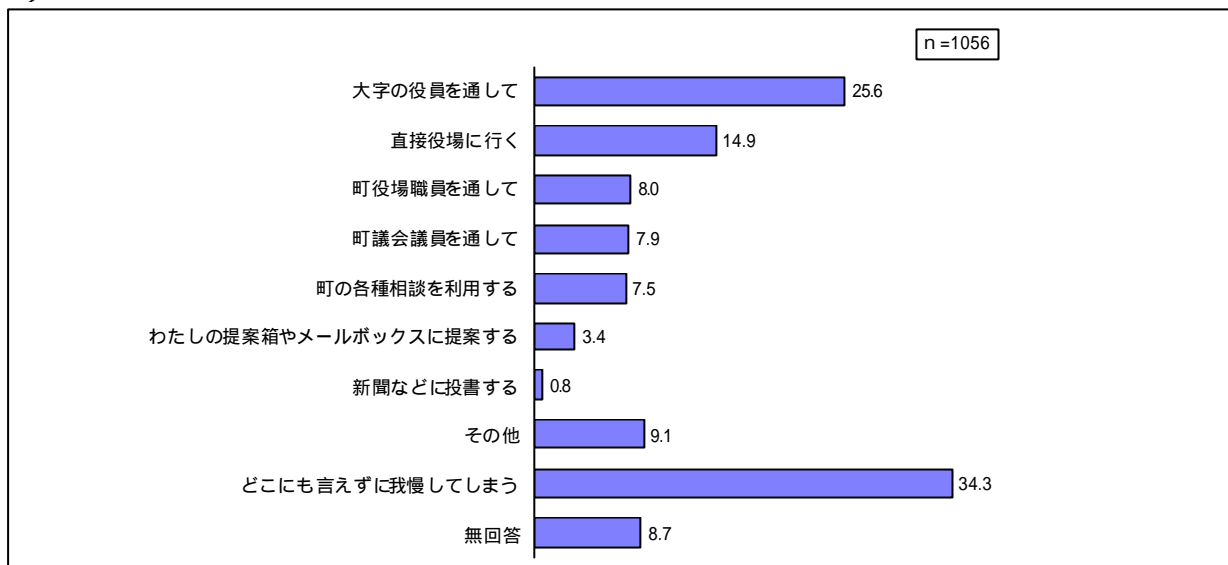
性別では、男女の差はあまりなく、『伝わっていない』はいずれも半数を超えています。

年齢では、『伝わっていない』は20歳代の73.1%が最も多く、以下30歳代62.9%、50歳代51.0%、40歳代50.0%の順となっています。

地区別では『伝わっていない』は丹荘小学校区55.9%、青柳小学校区50.2%、神泉小学校区50.0%、渡瀬小学校区46.2%となっています。



(4) 町への意見・要望を伝える手段



町に対する意見・要望は、「どこにも言えずに我慢してしまう」34.3%が最も多く、これ以外では「大字の役員を通して」25.6%、「直接役場に行く」14.9%、「町役場職員を通して」8.0%、「町議会議員を通して」7.9%などとなっています。

「大字の役員を通して」は、男性 29.6%が女性 21.1%を上回り、年齢では 60 歳代 39.6%、70 歳代 39.3%、50 歳代 30.0%の順となっています。また、地区では神泉小学校区の 15.0%を除いては、いずれも同程度となっています。神泉小学校区は「直接役場に行く」及び「町役場職員を通して」が他地区を大きく上回ります。

「直接役場に行く」は、年齢別では「大字の職員を通して」と同じく 60 歳以上 21.3%、70 歳以上 20.6%に多くなっています。地区では神泉小学校区の 27.5%です。

「どこにも言えずに我慢してしまう」は女性 37.2%、年齢では 20 歳代 55.9%、30 歳代 49.0%、40 歳代 40.1%の順であり、若年層の意見・要望の伝達手段が見当たらない現状を示しています。

問9 町への意見等を伝える手段

単位：％

属性	全体	直接役場に行く	町の各種相談を利用する	大字の役員を通して	町議会議員を通して	町役場職員を通して	わたしの提案箱やメールボックスに提案する	新聞などに投書する	どこにも言えずに我慢してしまう	その他	無回答
全体	1,056	14.9	7.5	25.6	7.9	8.0	3.4	0.8	34.3	9.1	8.7
性別											
男	443	14.9	7.9	29.6	9.5	7.9	2.7	0.5	31.8	7.9	8.4
女	540	14.8	7.2	21.1	6.3	7.8	3.9	0.9	37.2	10.9	8.5
年齢											
20歳～29歳	145	4.8	1.4	5.5	2.1	3.4	3.4	1.4	55.9	15.2	11.0
30歳～39歳	151	7.9	7.3	12.6	2.6	2.6	6.6	0.0	49.0	12.6	6.0
40歳～49歳	182	17.6	4.4	22.5	4.4	8.8	3.8	1.1	40.1	7.1	6.6
50歳～59歳	247	14.6	10.9	30.0	8.1	8.1	2.0	0.0	30.0	10.1	8.9
60歳～69歳	197	21.3	10.2	39.6	19.3	13.2	3.0	1.0	15.2	5.1	9.1
70歳以上	107	20.6	8.4	39.3	8.4	8.4	2.8	1.9	21.5	5.6	10.3
居住地											
丹荘小学校区	499	15.4	8.2	25.9	6.8	5.8	3.6	0.4	36.7	7.8	8.0
青柳小学校区	315	11.1	6.3	26.7	5.7	7.6	2.5	1.9	38.1	10.8	7.3
渡瀬小学校区	117	12.0	6.8	28.2	13.7	4.3	3.4	0.0	25.6	14.5	12.0
神泉小学校区	80	27.5	7.5	15.0	15.0	26.3	5.0	0.0	23.8	5.0	8.8

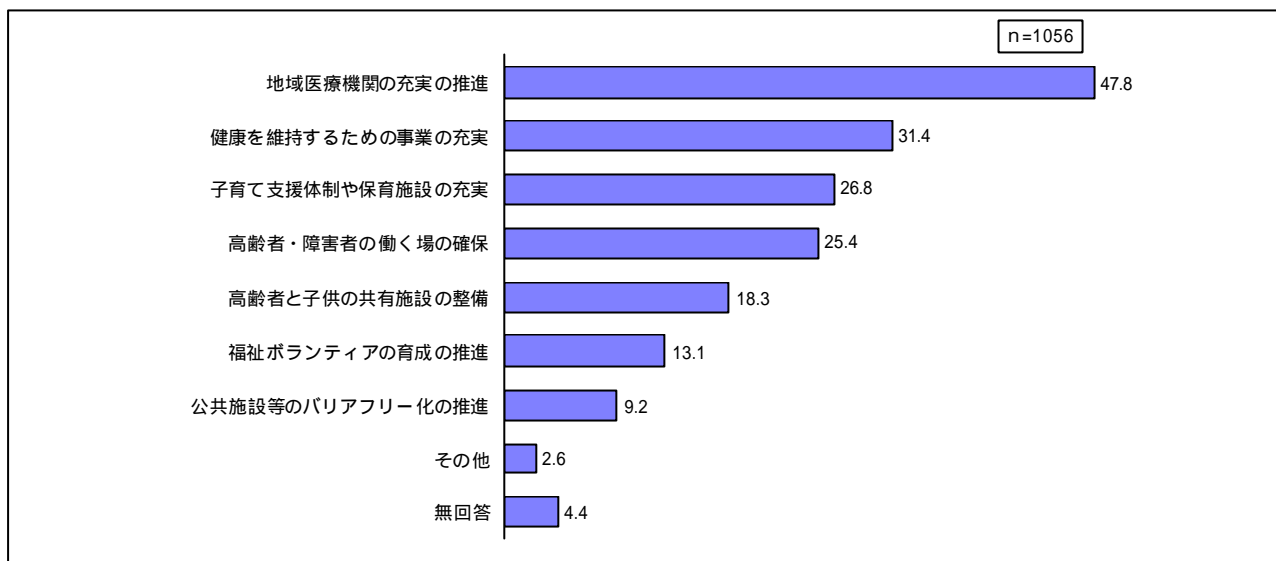
注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・ 伝えていない（15件）
- ・ 意見が無い（13件）
- ・ 期待していない、あきらめている（12件）
- ・ 家族内で話して終わる（2件）
- ・ この場（アンケート）
- ・ 仕事に追われ時間がない
- ・ 仲間同士で不満を言うだけ
- ・ 見守っているだけ

5 . 分野ごとの力を入れるべき事業

(1) 保健福祉



保健・福祉の分野では、「地域医療機関の充実の推進」47.8%、「健康を維持するための事業の充実」31.4%、「子育て支援体制や保育施設の充実」26.8%、「高齢者・障害者の働く場の確保」25.4%などとなっています。

「地域医療機関の充実の推進」は男女差はなく、年齢では40歳代53.3%、30歳代52.3%が多く、また、ひとり暮らし世帯では59.1%とすべての属性で最も多いものとなっています。子どもを持つ親、ひとり暮らしの高齢者の要望が高いものと考えられます。地区では、青柳小学校区41.0%を除いてはいずれの地区も50.0%を超えています。

「健康を維持するための事業の充実」についても男女差はなく、年齢では70歳以上43.9%、60歳以上39.6%といった高齢者に多く、それと関連してひとり暮らしの40.9%、夫婦の40.5%で多くなっています。地区では渡瀬小学校区24.8%で少ない以外は、他地区はいずれも同程度となっています。

子育て支援体制や保育施設の充実は、年齢では子どもを持つ世代である20歳代43.4%、30歳代43.0%に多くなっています。

「高齢者・障害者の働く場の確保」は、年齢では50歳代34.0%に多いものとなっています。

「高齢者と子どもの共有施設の整備」は、地区では神泉小学校区27.5%が他地区を大きく上回ります。

問10保健福祉で力を入れるべき事業

単位：%

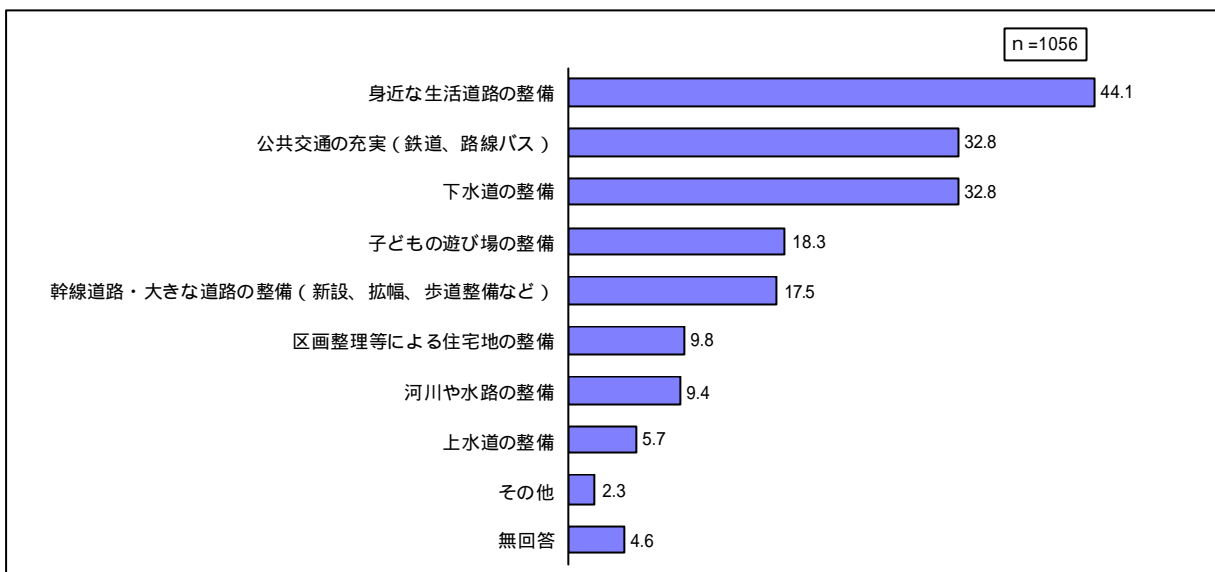
属性	全体	の健康を維持するため	充実の医療機関の	働く高齢者・障害者の確保	保育施設支援の充実や	共有施設の子供の整備	高年齢者の推進	福祉ボランティアの推進	公共施設等のバリア	その他	無回答
全体	1,056	31.4	47.8	25.4	26.8	18.3	13.1	9.2	2.6	4.4	
性別											
男	443	31.8	48.3	26.2	28.2	16.7	11.5	9.3	2.9	3.6	
女	540	31.3	48.7	23.5	27.4	20.2	13.7	9.4	1.7	4.3	
年齢											
20歳～29歳	145	24.8	46.2	22.8	43.4	15.9	11.0	11.0	2.8	3.4	
30歳～39歳	151	19.9	52.3	23.8	43.0	18.5	11.3	6.6	4.0	2.0	
40歳～49歳	182	28.0	53.3	22.0	26.9	15.9	11.5	11.0	1.1	3.8	
50歳～59歳	247	31.6	46.2	34.0	20.2	19.8	15.4	7.3	2.4	4.0	
60歳～69歳	197	39.6	45.2	22.3	22.3	20.8	11.7	9.6	2.0	5.6	
70歳以上	107	43.9	43.9	22.4	4.7	16.8	19.6	13.1	3.7	7.5	
世帯											
ひとり暮らし	44	40.9	59.1	13.6	13.6	13.6	11.4	13.6	0.0	6.8	
夫婦	195	40.5	49.2	24.6	18.5	17.9	9.7	9.7	3.1	7.7	
二世帯（親・子）	526	28.3	48.9	27.4	30.4	16.3	14.1	9.1	1.9	3.0	
三世帯（親・子・孫）	186	30.6	45.2	19.4	31.7	25.8	11.8	9.1	3.8	2.7	
その他	64	29.7	42.2	26.6	20.3	17.2	18.8	7.8	3.1	4.7	
居住地											
丹荘小学校区	499	32.7	50.5	23.2	28.9	17.6	13.2	9.4	2.6	3.0	
青柳小学校区	315	31.7	41.0	28.6	27.0	18.4	13.3	9.5	2.5	3.8	
渡瀬小学校区	117	24.8	52.1	23.9	23.1	14.5	12.0	10.3	3.4	9.4	
神泉小学校区	80	32.5	53.8	22.5	21.3	27.5	11.3	8.8	1.3	3.8	

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・慢性医療への保健所の対応と処置、義務的健康診断の廃止（予防は保険）
- ・不妊治療の助成金を出して欲しい
- ・保健センターのさらなる充実
- ・役場職員の教育
- ・ムダな予算の削減
- ・福祉の援助、知識が足りない
- ・高齢者用施設の利用支援
- ・小学校校舎の利用
- ・福祉施設職員の改善
- ・高齢者の筋力作り
- ・ひとり親家庭の人が話をできる場所があるとよい

(2) 都市基盤



都市基盤の分野では、「身近な生活道路の整備」44.1%、「公共交通の充実(鉄道・路線バス)」及び「下水道の整備」ともに32.8%、「子どもの遊び場の整備」18.3%などとなっています。

「身近な生活道路の整備」は、年齢では50歳代51.0%、地区では神泉小学校区の31.3%を除いてはいずれも同程度となっています。

「公共交通の充実」は、女性36.7%が男性29.6%を上回り、年齢では20歳代44.8%、40歳代43.4%といった若壮年層に多く、同時に高齢者を主としたひとり暮らし47.7%に多いものとなっています。地区では、神泉小学校区41.3%と渡瀬小学校区41.0%は、他の2地区を大きく上回っています。

「下水道の整備」は、年齢では70歳以上43.9%、60歳代41.1%、50歳代38.5%と中高年層に多いものとなっています。地区では渡瀬小学校区11.1%、神泉小学校区18.8%は他の2地区を大きく下回っています。

「子どもの遊び場の整備」は、30歳代38.4%、20歳代24.8%といった子どもを持つ年代が高くなっており、地区では神泉小学校区22.5%が他地域を上回っています。

問11都市基盤で力を入れるべき事業

単位：%

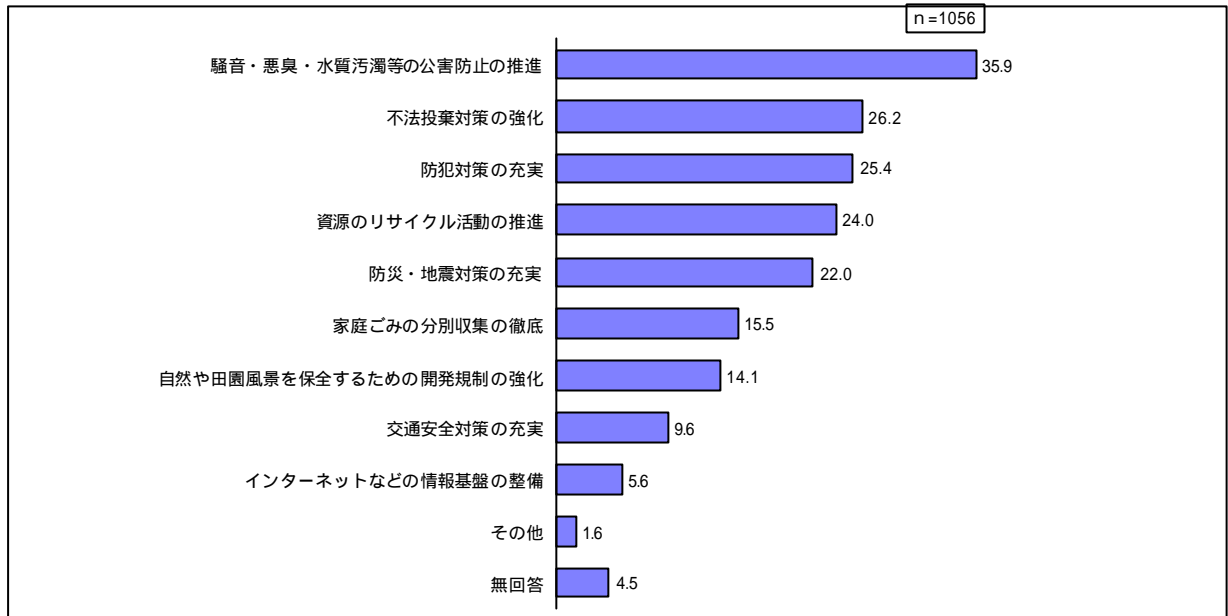
属性	全体	大幹線道路・大きな道路の整備	整身近な生活道路の整備	(公共交通の充実(鉄道、路線バス)	河川や水路の整備	下水道の整備	上水道の整備	整備子どもの遊び場の整備	住宅地の整備	区画整理等による	その他	無回答
全体	1,056	17.5	44.1	32.8	9.4	32.8	5.7	18.3	9.8	2.3	4.6	
性別												
男	443	19.9	44.0	29.6	9.0	32.3	6.1	17.6	13.3	2.9	4.7	
女	540	16.7	43.1	36.7	10.0	32.2	5.4	19.3	6.5	1.9	4.3	
年齢												
20歳～29歳	145	21.4	40.0	44.8	7.6	19.3	4.1	24.8	11.7	3.4	3.4	
30歳～39歳	151	18.5	41.7	35.1	3.3	23.2	5.3	38.4	9.9	2.6	2.6	
40歳～49歳	182	21.4	39.6	43.4	4.9	28.0	7.1	13.7	8.8	2.2	4.4	
50歳～59歳	247	18.6	51.0	25.1	10.1	38.5	4.9	13.4	10.5	2.4	3.6	
60歳～69歳	197	11.7	43.7	25.9	17.3	41.1	5.1	13.7	10.7	1.0	6.1	
70歳以上	107	12.1	45.8	28.0	12.1	43.9	7.5	10.3	5.6	2.8	7.5	
世帯												
ひとり暮らし	44	15.9	31.8	47.7	11.4	27.3	4.5	9.1	9.1	0.0	6.8	
夫婦	195	12.8	46.2	31.3	6.7	40.5	6.7	12.8	9.7	1.5	7.7	
二世帯(親・子)	526	18.8	44.9	32.7	8.4	31.0	6.1	20.3	10.8	2.7	3.4	
三世帯(親・子・孫)	186	18.8	40.9	33.3	15.1	30.6	5.4	21.0	7.5	2.7	3.8	
その他	64	21.9	46.9	32.8	9.4	29.7	3.1	20.3	4.7	3.1	4.7	
居住地												
丹荘小学校区	499	16.8	45.1	32.3	8.2	38.1	5.4	19.2	9.2	3.0	2.6	
青柳小学校区	315	16.5	47.3	28.9	9.2	36.5	6.3	16.8	11.7	1.3	4.4	
渡瀬小学校区	117	20.5	41.9	41.0	11.1	11.1	5.1	16.2	8.5	0.9	10.3	
神泉小学校区	80	23.8	31.3	41.3	16.3	18.8	3.8	22.5	6.3	5.0	5.0	

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・近代的な場所にするのではなく、昔ながらの風景が広がる場所にしていくための条例を作る。100年後の神川を見据えた明確なビジョンが必要。それがないので魅力や愛着を感じる人が少ないのでは。
- ・経費削減、道より人が大切
- ・浄化槽の設置
- ・照明が不備
- ・ムダな公共事業はやめて欲しい
- ・街灯の整備
- ・牛糞公害・雑草放置・ハ工大発生への対応
- ・公園をつかってほしい
- ・自然を残す方が大切だと思う
- ・景観整備
- ・まだガタガタ道がある

(3) 生活環境



生活環境の分野では、「騒音・悪臭・水質汚濁等の公害防止の推進」35.9%、「不法投棄対策の強化」26.2%、「防犯対策の充実」25.4%、「資源のリサイクル活動の推進」24.0%などとなっています。

「騒音・悪臭・水質汚濁等の公害防止の推進」は、50歳代 43.3%で特に多いものとなっています。

「不法投棄対策の強化」は、地区による違いが大きく現れています。神泉小学校区 38.8%、青柳小学校区 30.8%に対し、丹荘小学校区は 23.4%、渡瀬小学校区 18.8%となっています。

「防犯対策の充実」は、子どもを持つ世代である 30歳代 41.7%が特に多いものとなっています。

「資源のリサイクル活動の推進」は、20歳代 31.0%に多くなっています。

問12生活環境で力を入れるべき事業

単位：％

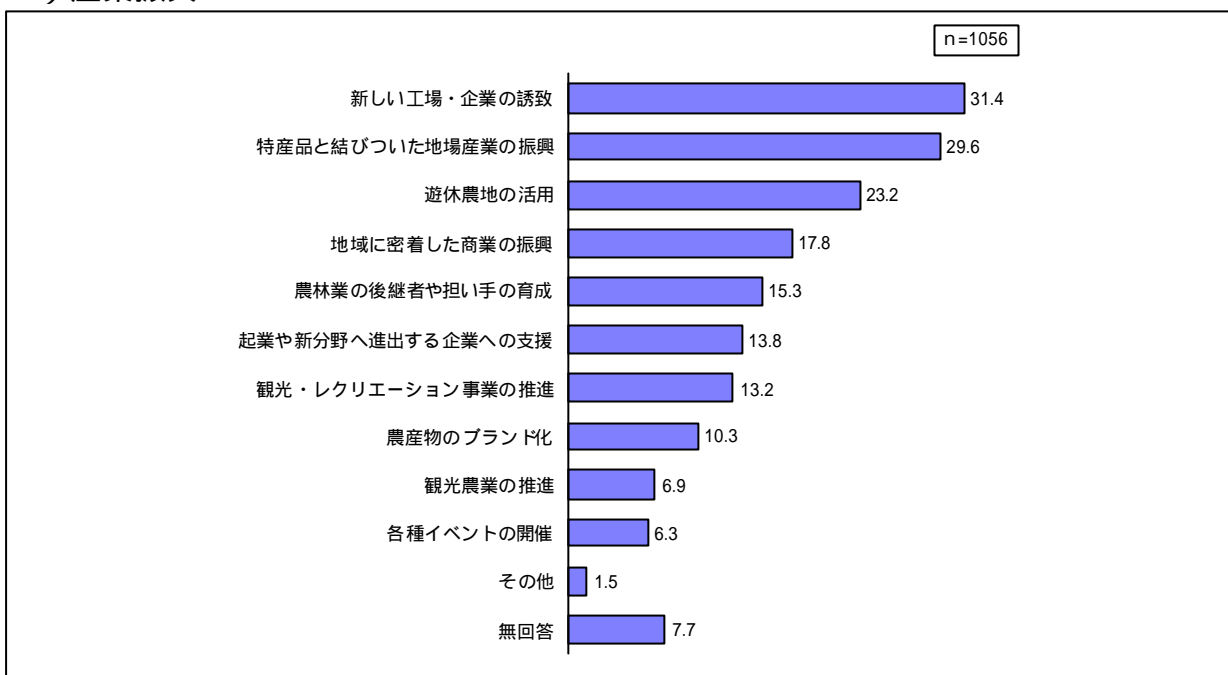
属性	全体	徹底家庭ごみの分別収集の	資源のリサイクル活動の推進	不法投棄対策の強化	騒音・悪臭・水質汚濁等の公害防止の推進	自然や田園風景を保全するための開発規制の強化	情報基盤の整備	防災・地震対策の充実	交通安全対策の充実	防犯対策の充実	その他	無回答
全体	1,056	15.5	24.0	26.2	35.9	14.1	5.6	22.0	9.6	25.4	1.6	4.5
性別												
男	443	14.2	21.9	30.5	35.0	17.8	7.2	18.3	9.5	27.8	1.4	3.8
女	540	16.3	24.3	23.3	36.1	11.7	4.1	25.9	10.0	24.3	1.7	4.6
年齢												
20歳～29歳	145	14.5	31.0	20.7	28.3	15.2	11.0	26.9	9.0	26.9	2.1	2.8
30歳～39歳	151	10.6	19.9	25.2	35.1	10.6	6.6	23.8	9.9	41.7	2.0	2.0
40歳～49歳	182	12.6	17.6	25.8	35.2	17.6	7.7	19.8	11.0	24.7	2.2	4.9
50歳～59歳	247	16.2	24.3	27.9	43.3	16.2	3.6	22.7	9.3	17.8	2.0	4.0
60歳～69歳	197	15.7	26.9	29.9	37.1	13.2	3.6	19.8	10.2	23.4	0.5	5.1
70歳以上	107	29.0	22.4	27.1	28.0	9.3	0.9	20.6	8.4	23.4	0.9	7.5
世帯												
ひとり暮らし	44	15.9	31.8	31.8	15.9	11.4	9.1	29.5	11.4	15.9	0.0	6.8
夫婦	195	20.0	23.1	25.1	34.9	11.8	4.1	22.6	12.3	23.1	0.5	7.2
二世帯（親・子）	526	13.3	23.2	25.5	38.8	17.1	5.5	23.2	8.6	27.6	2.1	2.9
三世帯（親・子・孫）	186	18.3	25.8	24.7	32.3	12.9	6.5	17.2	11.3	26.3	0.5	4.8
その他	64	18.8	17.2	37.5	40.6	6.3	3.1	18.8	3.1	21.9	3.1	4.7
居住地												
丹荘小学校区	499	16.8	25.9	23.4	36.1	14.8	5.6	21.2	10.4	27.9	1.8	2.8
青柳小学校区	315	14.9	20.0	30.8	37.1	14.6	6.0	22.2	8.9	22.9	1.6	4.8
渡瀬小学校区	117	13.7	24.8	18.8	34.2	14.5	1.7	23.9	9.4	23.9	1.7	10.3
神泉小学校区	80	11.3	23.8	38.8	35.0	11.3	8.8	25.0	8.8	21.3	0.0	2.5

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・ 犬のフン対策（2件）
- ・ 道路に立木の枝が出ている
- ・ ごみを自宅で焼却するのをやめてほしい
- ・ 農家の家畜の糞尿の垂れ流し防止
- ・ 下水道の整備
- ・ 暴走族をなくす
- ・ 道路景観の整備や電話電線の整理

(4) 産業振興



産業振興の分野では、「新しい工場・企業の誘致」31.4%、「特産品と結びついた地場産業の振興」29.6%、「遊休農地の活用」23.2%、「地域に密着した商業の振興」17.8%などとなっています。

「新しい工場・企業の誘致」は、男性 35.0%が女性 28.1%をやや上回ります。年齢では 20 歳代の 25.5%がやや少なく、他はいずれも同程度となっています。地区では渡瀬小学校区 35.9%、青柳小学校区 33.7%にやや多くなっています。

「特産品と結びついた地場産業の振興」は、女性 32.2%が男性 26.2%を上回り、年齢では 60 歳代 36.5%が多くなっています。

「遊休農地の活用」は、年齢では 70 歳以上 34.6%、地区では神泉小学校区 30.0%と多く、農業者自身も他の事業を上回る 34.4%となっています。

問13産業振興で力を入れるべき事業

単位：%

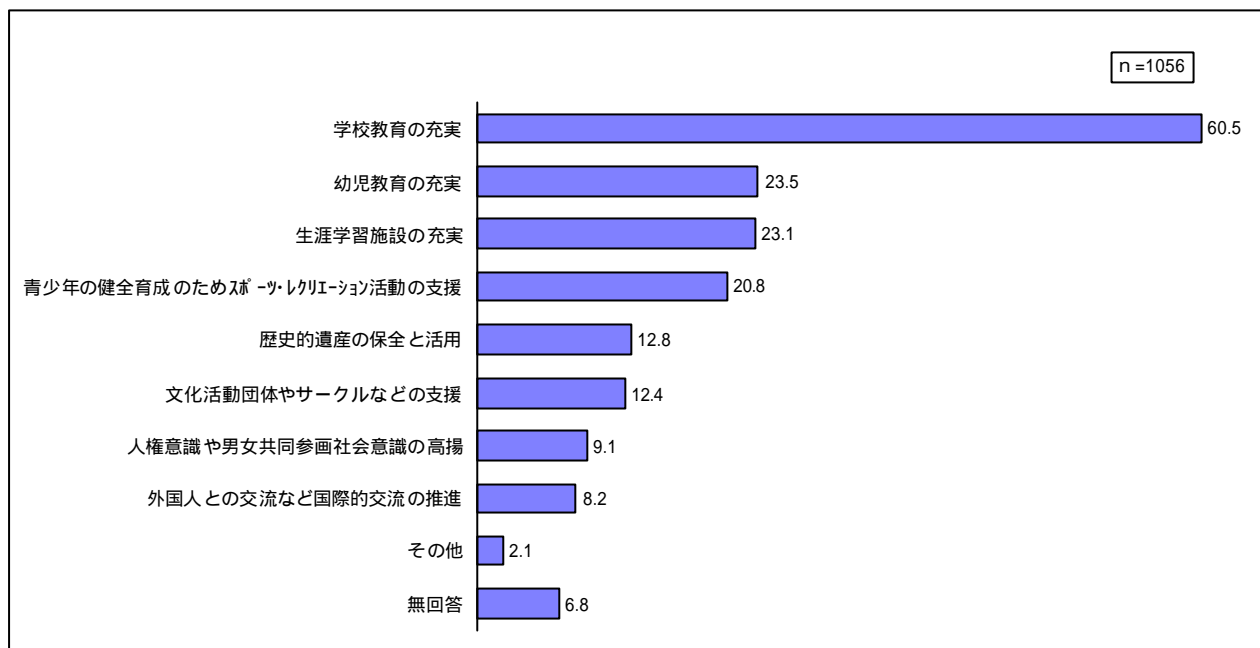
属性	全体	誘致 新しい工場・企業	新 起業 や新 分野 への 支援 進出	地 場 産 品 と 結 び つ い た 振 興	特 産 品 の ブ ラ ン ド 化	農 産 物 の ブ ラ ン ド 化	観 光 農 業 の 推 進	農 林 業 の 後 継 者 や 担 い 手 の 育 成	遊 休 農 地 の 活 用	地 域 に 密 着 し た 商 業 の 振 興	観 光 ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン 事 業 の 推 進	各 種 イ ベ ン ト の 開 催	そ の 他	無 回 答
全体	1,056	31.4	13.8	29.6	10.3	6.9	15.3	23.2	17.8	13.2	6.3	1.5	7.7	
性別														
男	443	35.0	14.4	26.2	8.8	7.4	15.6	27.1	17.8	14.4	6.5	1.6	6.1	
女	540	28.1	12.8	32.2	11.5	6.5	15.0	20.7	18.5	11.9	6.5	1.7	8.7	
年齢														
20歳～29歳	145	25.5	16.6	27.6	11.0	10.3	12.4	16.6	17.9	20.7	14.5	1.4	4.8	
30歳～39歳	151	33.1	13.2	23.2	11.9	6.6	20.5	13.9	20.5	16.6	11.3	3.3	3.3	
40歳～49歳	182	30.8	14.3	31.3	11.5	6.6	11.0	19.8	18.7	15.4	4.4	2.2	8.2	
50歳～59歳	247	33.2	12.1	31.2	8.5	5.7	15.4	28.3	19.4	13.0	5.3	1.2	7.3	
60歳～69歳	197	33.0	14.2	36.5	7.6	7.6	15.2	26.4	15.7	5.6	2.5	0.0	10.7	
70歳以上	107	29.0	11.2	24.3	13.1	6.5	20.6	34.6	13.1	7.5	1.9	1.9	10.3	
居住地														
丹荘小学校区	499	29.3	14.2	31.9	10.0	7.4	16.8	23.0	17.6	14.2	5.6	2.4	6.0	
青柳小学校区	315	33.7	11.4	27.9	10.2	6.3	15.9	23.5	17.5	12.7	7.9	0.6	7.6	
渡瀬小学校区	117	35.9	12.0	29.1	12.0	4.3	12.8	19.7	20.5	12.8	6.0	0.0	9.4	
神泉小学校区	80	28.8	18.8	31.3	10.0	13.8	11.3	30.0	16.3	8.8	5.0	2.5	6.3	
職業等														
農業	96	24.0	4.2	29.2	20.8	11.5	24.0	34.4	8.3	5.2	4.2	0.0	12.5	
商工自営業	70	37.1	22.9	27.1	0.0	5.7	17.1	20.0	15.7	10.0	2.9	2.9	12.9	
会社員	283	31.1	15.2	29.3	9.2	7.8	12.4	20.8	18.7	16.6	8.5	1.8	6.0	
公務員・団体職員	69	37.7	7.2	36.2	11.6	10.1	17.4	24.6	23.2	11.6	1.4	1.4	4.3	
自由業（開業医など）	30	46.7	10.0	33.3	6.7	0.0	16.7	20.0	16.7	20.0	6.7	3.3	3.3	
パートアルバイト・内職	166	33.1	13.3	28.3	12.7	6.0	18.1	19.3	21.1	9.6	8.4	2.4	5.4	
学生	20	25.0	15.0	20.0	10.0	15.0	5.0	0.0	20.0	30.0	15.0	5.0	10.0	
家事専念	135	25.2	9.6	34.1	10.4	3.7	17.0	23.7	20.7	17.8	8.9	0.0	5.2	
無職	152	30.3	20.4	26.3	9.2	7.2	11.2	28.9	14.5	9.9	2.6	1.3	10.5	

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・大型ショッピングセンター誘致
- ・ゴミのない美しい街並み
- ・自治体が行っても予算の無駄になるものが多い
- ・産官学連携
- ・周辺の町と協力した企業誘致、そのベッドタウン化

(5) 教育文化



教育文化の分野では、「学校教育の充実」60.5%が他を大きく引き離しています。以下「幼児教育の充実」23.5%、「生涯学習施設の充実」23.1%、「青少年の健全育成のためスポーツ・レクリエーション活動の支援」20.8%などとなっています。

「学校教育の充実」は、20歳代の46.9%以外は、属性による偏りはあまりありません。

「幼児教育の充実」は、家族に小学生未満の子どもがいる当事者は46.2%と他の属性よりも多くなっています。

「生涯学習施設の充実」は、20歳代の17.9%を除いては、属性による偏りは少ないものとなっています。

「青少年健全育成のためのスポーツ・レクリエーション活動」は、年齢別では当事者である20歳代25.5%に多いものとなっています。

問14教育文化で力を入れるべき事業

単位：%

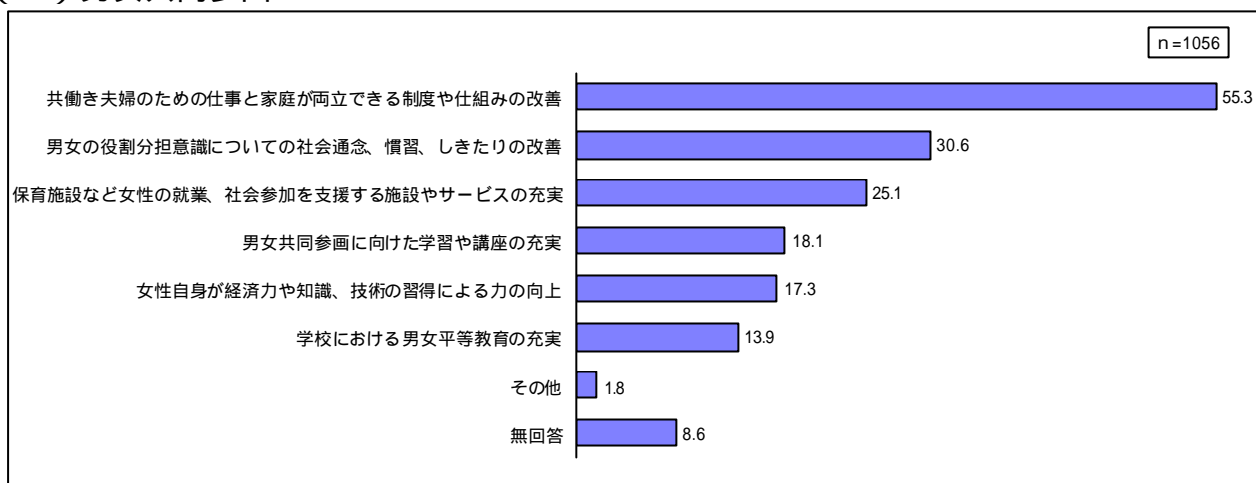
属性	全体	学校教育の充実	幼児教育の充実	歴史的遺産の保全と活用	生涯学習施設の充実	青少年の健全育成のためスポーツ・レクリエーション活動の支援	文化活動団体やサークルなどの支援	画人権意識や男女共同参画社会意識の高揚	外国人との交流の推進	その他	無回答
全体	1,056	60.5	23.5	12.8	23.1	20.8	12.4	9.1	8.2	2.1	6.8
性別											
男	443	60.5	21.0	16.0	21.9	22.1	11.3	9.7	7.7	2.5	7.2
女	540	60.2	26.3	10.2	23.0	20.0	13.9	8.3	8.7	2.0	6.3
年齢											
20歳～29歳	145	46.9	29.0	15.9	17.9	25.5	15.2	11.0	19.3	2.1	2.1
30歳～39歳	151	68.2	27.2	11.3	22.5	21.9	10.6	5.3	7.3	2.6	5.3
40歳～49歳	182	59.9	16.5	13.7	24.7	17.0	15.9	6.6	11.0	2.7	5.5
50歳～59歳	247	61.1	24.7	11.7	27.1	19.4	13.8	10.1	4.5	2.8	5.3
60歳～69歳	197	67.0	23.9	11.2	20.8	21.3	10.2	8.1	4.6	0.5	11.7
70歳以上	107	53.3	19.6	15.0	22.4	20.6	9.3	15.9	3.7	1.9	12.1
居住地											
丹荘小学校区	499	61.3	25.1	13.4	23.6	23.0	11.8	8.4	7.8	2.8	4.6
青柳小学校区	315	60.6	23.8	12.7	21.6	19.0	14.0	9.5	9.5	1.9	6.3
渡瀬小学校区	117	61.5	20.5	9.4	19.7	23.9	12.0	9.4	4.3	0.9	10.3
神泉小学校区	80	57.5	21.3	13.8	26.3	7.5	16.3	11.3	10.0	1.3	12.5
家族について											
小学生未満の子どもがいる	119	68.1	46.2	7.6	19.3	22.7	7.6	5.9	6.7	1.7	3.4
小中学生の子どもがいる	189	70.4	16.4	9.5	25.9	24.3	11.6	7.4	8.5	2.1	3.2
高校・専門学校・大学・大学院生の子どもがいる	139	54.7	17.3	12.9	24.5	19.4	17.3	7.9	9.4	3.6	7.9
1, 2, 3以外	566	61.1	23.5	14.3	21.9	20.7	14.7	9.2	8.3	1.9	5.8

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・家庭教育（2件）
- ・働く親の支援、乳児保育
- ・非行防止のための地域住民の協力
- ・図書館の設置
- ・過去にスポーツ振興は充実してきたので、文化面を中心に
- ・親の意識に働きかける（2件）
- ・学校外での教育の機会をつくる
- ・教員の徹底教育
- ・児童館などの設置

(6) 男女共同参画



男女共同参画の分野では、「共働き夫婦のための仕事と家庭が両立できる制度や仕組みの改善」55.3%が他を大きく離しています。以下「男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりの改善」30.6%、「保育施設などの女性の就業・社会参加を支援する施設やサービスの充実」25.1%などとなっています。

「共働き夫婦のための仕事と家庭が両立できる制度や仕組みの改善」は、女性 58.3%が男性 52.4%を上回り、年齢では 20 歳代 63.4%、30 歳代 61.6%に多くなっています。また、地区では丹荘小学校区 58.5%及び渡瀬小学校区 57.3%にやや多くなっています。

「男女の役割分担意識についての社会通念、慣習、しきたりの改善」は、年齢では 50 歳代 34.4%、地区では神泉小学校区 38.8%が多くなっています。

問17男女共同参画社会実現のために

単位：%

属性	全体	男女平等教育の充実	男女共同参画に向けた学習や講座の充実	女性の向上	女性自身が経済力や知識、技術の習得による	慣習、しきたりなどの改善	ついでに社会通念、意識に	男女の役割分担意識に	施設やサービスの充実	業、社会参加を支援する	保育施設など女性の就業	制度や仕組みの改善	仕事と家庭の両立	共働き夫婦のため	その他	無回答
全体	1,056	13.9	18.1	17.3	30.6	25.1	55.3	1.8	8.6							
性別	男	443	16.7	20.3	13.5	32.5	20.5	52.4	1.8	10.2						
	女	540	12.2	14.4	20.0	29.1	30.6	58.3	1.9	6.5						
年齢	20歳～29歳	145	16.6	13.1	16.6	29.0	32.4	63.4	2.8	2.1						
	30歳～39歳	151	7.3	11.9	20.5	29.8	35.1	61.6	2.6	5.3						
	40歳～49歳	182	15.9	15.9	12.6	31.9	26.4	56.0	2.2	6.6						
	50歳～59歳	247	11.7	20.2	20.2	34.4	23.1	50.6	1.6	8.5						
	60歳～69歳	197	13.7	24.9	16.2	28.9	18.8	50.8	0.0	15.2						
	70歳以上	107	22.4	17.8	17.8	29.0	16.8	51.4	1.9	12.1						
	居住地	丹荘小学校区	499	14.4	17.4	17.0	30.1	26.5	58.5	2.0	6.2					
青柳小学校区	315	15.2	20.3	17.5	32.1	26.7	51.7	1.3	8.3							
渡瀬小学校区	117	12.0	11.1	17.1	26.5	23.9	57.3	2.6	9.4							
神泉小学校区	80	8.8	21.3	17.5	38.8	17.5	50.0	0.0	16.3							

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

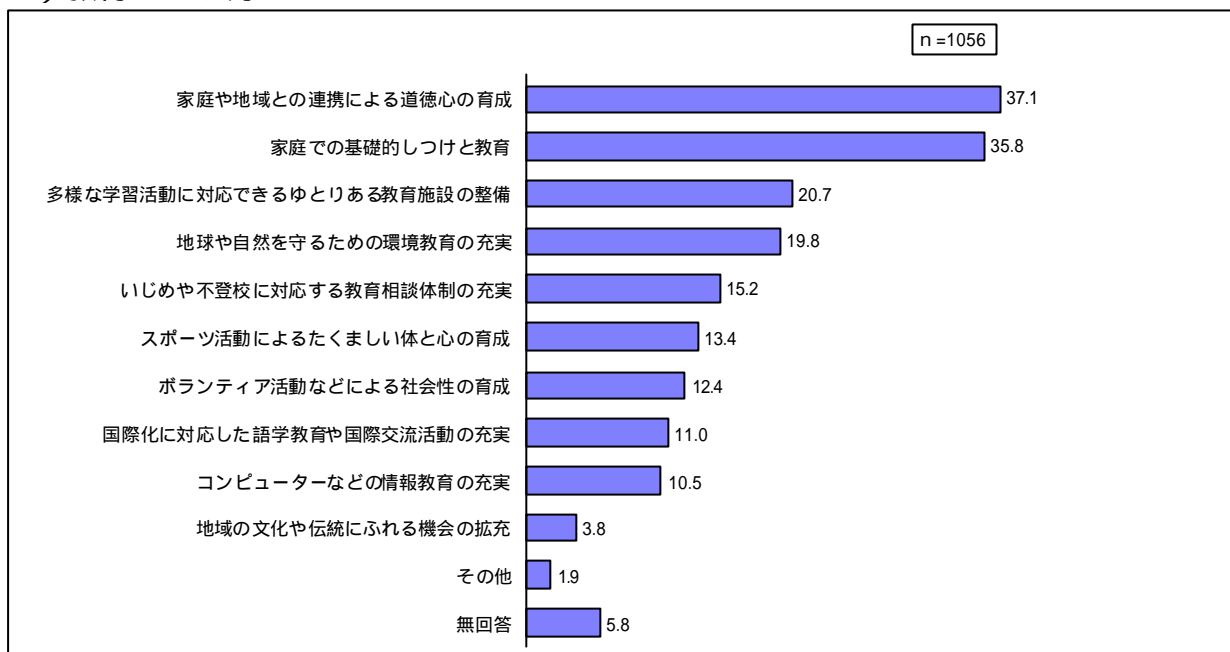
【その他回答】

- ・親子の問題で解決すべきであろう
- ・特に必要性を感じない
- ・男と女の役割の明確化
- ・男性が育児をできる環境づくり
- ・今の大人の教育
- ・トイレ・風呂などの男女共同利用
- ・男性の考え方を改めるべき
- ・男女共同参画の思想自体まちがい
- ・男女平等以前に、性や能力の違いを認識できる判断力の育成

6. 重要なこと・優先すべきこと・大切なこと

いくつかのテーマについて重要なこと、優先すべきこと、大切なことをあげてもらいました。

(1) 教育のあり方



教育のあり方で重要なことは、「家庭や地域との連携による道徳心の育成」37.1%、「家庭での基礎的しつけと教育」35.8%、「多様な学習活動に対応できるゆとりある教育施設の整備」20.7%、「地球や自然を守るための環境教育の充実」19.8%などであり、家庭教育をあげる人が多いものとなっています。

地区別の上位3位

	丹荘小学校区	青柳小学校区	渡瀬小学校区	神泉小学校区
1位	家庭や地域との連携 37.1%	家庭や地域との連携 40.0%	家庭でのしつけ 37.6%	家庭や地域との連携 40.0%
2位	家庭でのしつけ 36.1%	家庭でのしつけ 35.9%	家庭や地域との連携 31.6%	家庭でのしつけ 32.5%
3位	教育施設の整備 21.0%	環境教育の充実 23.2%	教育施設の整備 23.1%	教育施設の整備 22.5%

地区別では、渡瀬小学校区のみ「家庭でのしつけ」37.6%を1位としています。また青柳小学校区は、3位に他の地区とは違って、「環境教育の充実」23.2%をあげています。

問15教育のありかたで重要なこと

単位：%

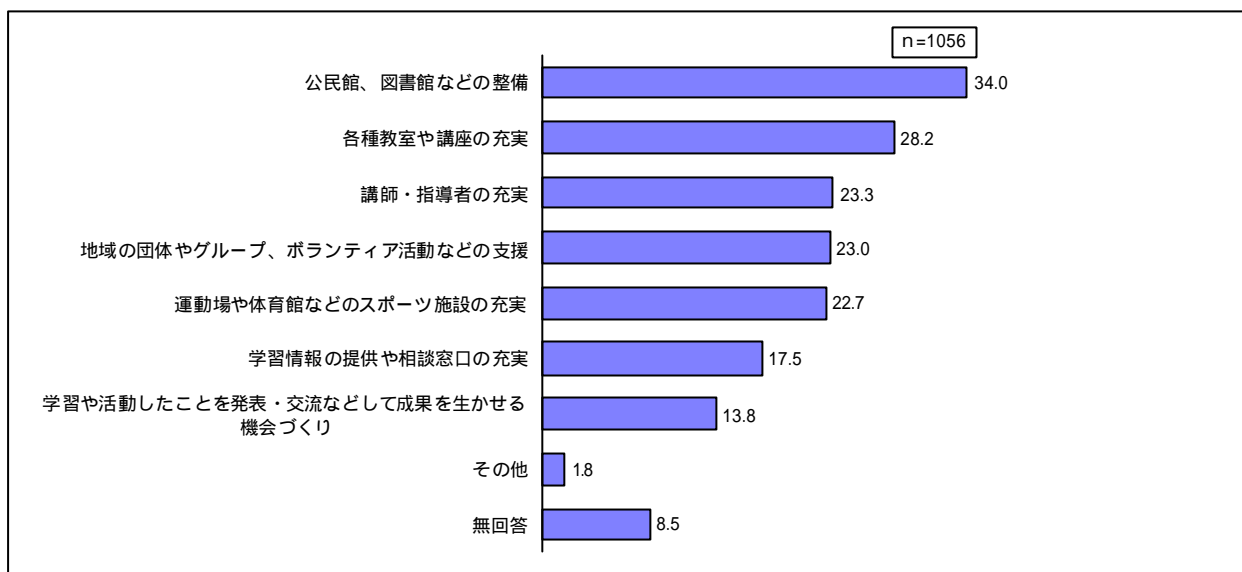
属性	全体	多様な学習活動に対応できる ゆとりある教育施設の整備	情報教育の充実 コンピューターなどの	地球や自然を守るための 環境教育の充実	社会性や自然の育成 ボランティア活動などによる	スポーツ活動による たくましい体と心の育成	よる道徳心の育成 家庭や地域との連携に	ふれる機会や伝統に 地域の文化や伝統に	国際交流活動の充実 国際化に対応した語学教育や	家庭での基礎的しつけと教育	いじめや不登校に対応する 教育相談体制の充実	その他	無回答
全体	1,056	20.7	10.5	19.8	12.4	13.4	37.1	3.8	11.0	35.8	15.2	1.9	5.8
性別													
男	443	18.3	12.6	23.0	12.6	13.8	35.9	3.2	11.1	34.3	14.4	2.0	6.3
女	540	23.5	9.1	16.7	12.2	13.3	38.7	4.4	11.3	35.9	15.4	1.9	4.8
年齢													
20歳～29歳	145	9.7	11.7	28.3	11.7	22.8	33.8	9.7	14.5	26.9	15.2	4.1	1.4
30歳～39歳	151	23.2	12.6	21.9	10.6	15.2	31.1	4.0	16.6	31.1	15.2	3.3	4.6
40歳～49歳	182	22.5	13.7	15.9	15.4	14.3	35.7	2.7	12.6	31.9	18.1	1.6	3.8
50歳～59歳	247	21.5	11.3	20.6	12.6	8.5	38.9	3.2	10.9	38.5	15.0	1.6	4.5
60歳～69歳	197	25.4	6.1	15.7	11.7	16.2	37.6	1.5	4.1	44.7	12.2	0.5	10.7
70歳以上	107	19.6	6.5	17.8	11.2	5.6	49.5	2.8	7.5	37.4	12.1	0.9	10.3
居住地													
丹荘小学校区	499	21.0	10.8	18.6	13.4	15.0	37.1	3.6	12.0	36.1	14.6	2.4	4.2
青柳小学校区	315	19.0	11.1	23.2	11.4	13.7	40.0	3.5	10.8	35.9	12.7	2.2	5.1
渡瀬小学校区	117	23.1	6.8	18.8	8.5	14.5	31.6	3.4	6.8	37.6	22.2	0.0	8.5
神泉小学校区	80	22.5	11.3	12.5	13.8	7.5	40.0	6.3	11.3	32.5	13.8	1.3	10.0

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・命や物、一人ひとりの存在を大切にすることを伝える（3件）
- ・ゆとり教育をやめる（3件）
- ・親の意識に働きかける（3件）
- ・子ども心をわかる教師の教育
- ・基礎学力の徹底的な詰め込み教育
- ・教職員の資質を向上させる（3件）
- ・個人の努力
- ・全てにおいてバランスのとれた教育
- ・文化や歴史（戦時中など）を学べる施設の充実

(2) 生涯学習



生涯学習支援で優先すべきこととして、「公民館、図書館などの整備」34.0%、「各種教室や講座の充実」28.2%、「講師・指導者の充実」23.3%、「地域の団体やグループ、ボランティア活動などの支援」23.0%、「運動場や体育館などのスポーツ施設の充実」22.7%などがあげられています。

地区別の上位3位

	丹荘小学校区	青柳小学校区	渡瀬小学校区	神泉小学校区
1位	公民館・図書館などの整備 37.3%	公民館・図書館などの整備 31.7%	公民館・図書館などの整備 28.2%	地域の団体等の活動支援 31.3%
2位	各種教室や講座の充実 31.3%	各種教室や講座の充実 27.9%	地域の団体等の活動支援 24.8%	公民館・図書館などの整備 / 各種教室や講座の充実 28.8%
3位	スポーツ施設の充実 26.1%	講師・指導者の充実 25.4%	講師・指導者の充実 23.9%	

「公民館・図書館などの整備」は、神泉小学校区を除いては1位としています。ちなみに、神泉小学校区の1位は「地域の団体等の活動支援」であり、渡瀬小学校区も2位にあげています。また、青柳小学校区及び渡瀬小学校区では、3位に「講師・指導者の充実」をあげています。

問16生涯学習支援で優先すべきこと

単位：%

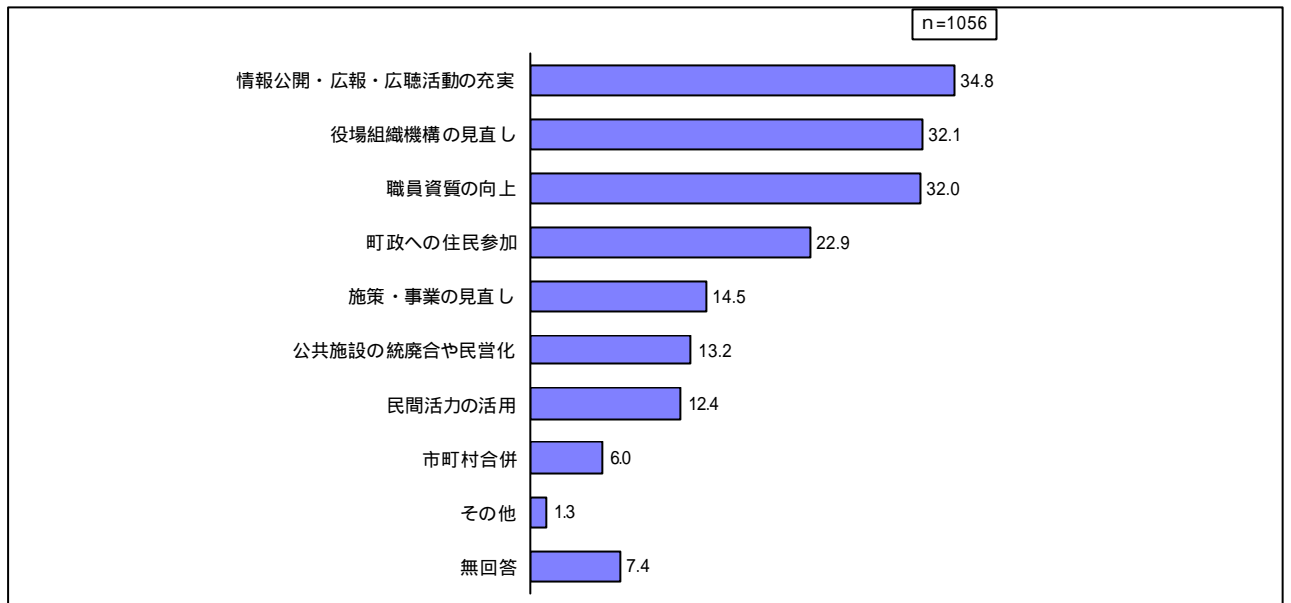
属性		全体	整備 公民館、 図書館などの	運動場や スポーツ施設 の充実	各種教室や 講座の充実	講師・ 指導者の 充実	地域の団体 やグループ、 ボランティア 活動などの 支援	生かせる 機会づくり の充実	学習や活動 したことを 発表する 機会を 提供する	学習情報の 提供や 相談窓口の 充実	その他	無 回答
全体		1,056	34.0	22.7	28.2	23.3	23.0	13.8	17.5	1.8	8.5	
性別	男	443	28.7	24.2	28.2	24.8	24.2	14.9	16.7	2.0	9.3	
	女	540	39.1	22.6	29.8	20.7	21.1	12.4	17.8	1.5	7.6	
年齢	20歳～29歳	145	37.2	36.6	24.1	17.9	29.0	15.2	15.2	1.4	2.8	
	30歳～39歳	151	41.7	27.8	39.7	16.6	14.6	11.9	13.2	3.3	6.6	
	40歳～49歳	182	39.0	26.9	30.8	22.5	17.0	12.1	16.5	1.6	4.9	
	50歳～59歳	247	34.0	15.4	29.6	24.3	28.3	15.4	19.8	1.6	6.9	
	60歳～69歳	197	25.4	23.4	20.3	29.4	23.4	13.7	18.8	1.0	14.2	
	70歳以上	107	29.0	7.5	29.0	23.4	22.4	14.0	15.9	2.8	17.8	
居住地	丹荘小学校区	499	37.3	26.1	31.3	20.8	20.2	12.4	16.8	2.2	7.0	
	青柳小学校区	315	31.7	21.6	27.9	25.4	24.4	15.9	16.5	1.6	8.3	
	渡瀬小学校区	117	28.2	21.4	22.2	23.9	24.8	12.0	21.4	2.6	11.1	
	神泉小学校区	80	28.8	10.0	28.8	26.3	31.3	20.0	13.8	0.0	11.3	

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・図書館などをつくる
- ・学習は個人でするものであり、自治体に要求するものではない
- ・町のバスを遠い地域の子どものためにもっと利用すべき、今は議員のためだけに使用されている
- ・無駄遣いをしない
- ・何でも生涯学習に結びつけることには疑問を感じる
- ・行政が押しつけないこと
- ・目標を持って生きられるような人を育てる土壌づくり、家庭づくり
- ・活動しているところに力を注ぐ方がよい
- ・集会所での高齢者の語り合う学習（公民館や役場以外の場所が良い）。エプロン教室。
- ・選択肢の他に優先すべき物があれば。
- ・ゆうゆうランド運動場に健康器具を設置して欲しい

(3) 行財政



行財政で力を入れるべきこととしては、「情報公開・広報・広聴活動の充実」34.8%、「役場組織・機構の見直し」32.1%、「職員資質の向上」32.0%とあまり差がなく続き、以下「町政への住民参加」22.9%、「施策・事業の見直し」14.5%などとなっています。

地区別の上位3位

	丹荘小学校区	青柳小学校区	渡瀬小学校区	神泉小学校区
1位	情報公開・広報・広聴の充実 34.1%	情報公開・広報・広聴の充実 36.2%	役場組織機構の見直し 41.9%	職員の資質向上 33.8%
2位	職員の資質向上 33.1%	役場組織機構の見直し 35.9%	職員の資質向上 29.9%	情報公開・広報・広聴の充実 32.5%
3位	役場組織機構の見直し 30.1%	職員の資質向上 32.4%	情報公開・広報・広聴の充実 27.4%	町政への住民参加 31.3%

地区別では、「情報公開・広報・広聴活動の充実」は丹荘小学校区及び青柳小学校区で1位ですが、渡瀬小学校区では「役場組織機構の見直し」、神泉小学校区では「職員の資質向上」をそれぞれ1位としています。また、神泉小学校区のみ「町政への住民参加」を上位にあげています。

問18行財政で力を入れるべきこと

単位：%

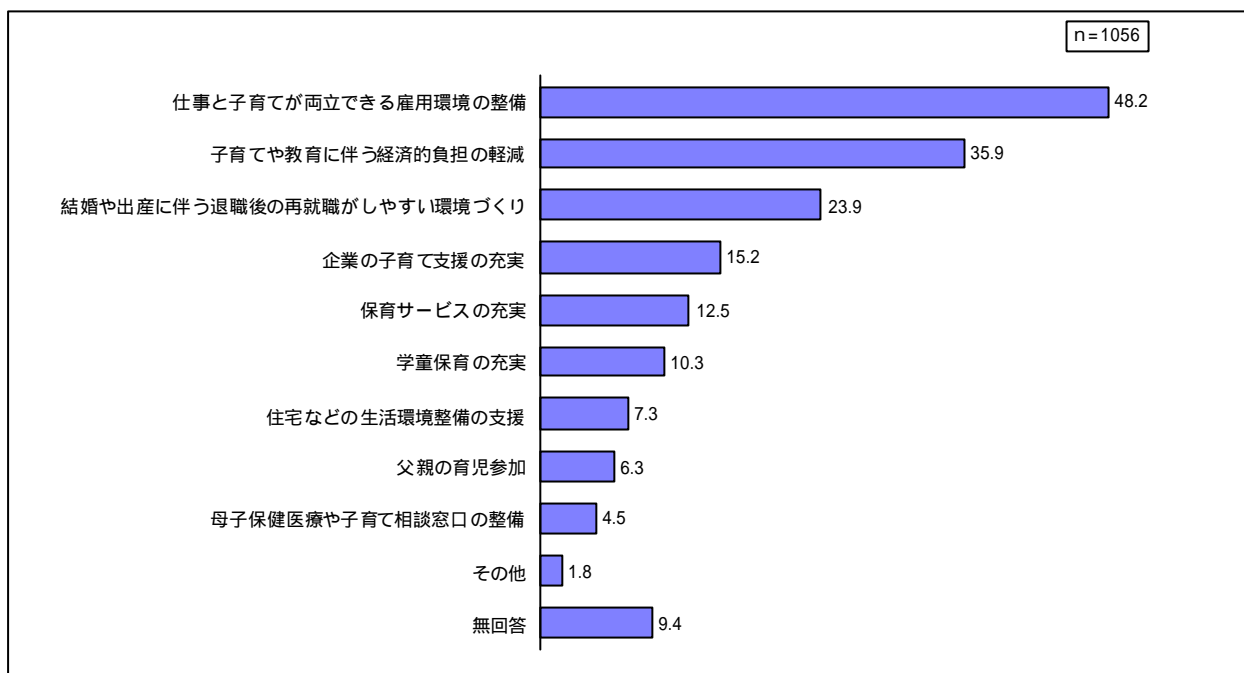
属性	全体	情報公開の充実・広報活動	町政への住民参加	役場組織機構の見直し	施策・事業の見直し	公共施設の統廃合や民営化	民間活力の活用	職員資質の向上	市町村合併	その他	無回答	
全体	1,056	34.8	22.9	32.1	14.5	13.2	12.4	32.0	6.0	1.3	7.4	
性別	男	443	34.8	22.1	29.6	15.1	13.8	14.0	32.5	8.1	2.5	7.0
	女	540	34.1	23.7	35.4	14.6	12.8	11.3	32.0	4.3	0.2	7.0
年齢	20歳～29歳	145	31.0	28.3	29.0	19.3	11.0	12.4	33.8	5.5	4.1	2.1
	30歳～39歳	151	33.8	25.8	28.5	15.2	13.2	18.5	28.5	4.6	2.0	5.3
	40歳～49歳	182	38.5	17.6	34.1	17.0	13.7	13.7	31.9	4.9	0.0	3.8
	50歳～59歳	247	36.0	22.3	33.6	17.4	13.4	10.5	33.2	4.0	0.8	7.3
	60歳～69歳	197	34.5	21.8	31.5	9.1	12.7	9.6	34.5	9.1	1.0	13.2
	70歳以上	107	29.0	27.1	39.3	7.5	13.1	11.2	29.0	8.4	0.9	11.2
居住地	丹荘小学校区	499	34.1	22.4	30.1	14.4	13.0	13.6	33.1	7.6	2.4	6.0
	青柳小学校区	315	36.2	21.3	35.9	16.2	12.4	12.1	32.4	3.8	0.6	7.0
	渡瀬小学校区	117	27.4	21.4	41.9	11.1	16.2	10.3	29.9	3.4	0.0	10.3
	神泉小学校区	80	32.5	31.3	25.0	17.5	11.3	10.0	33.8	7.5	0.0	10.0

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・町会議員の削減、清掃等の出費見直し、
- ・倹約して住民税を安くしてほしい
- ・無駄遣いをなくす
- ・人員が多すぎる、大規模なリストラを
- ・町長をはじめリーダーの指導力・人間性のよるところが大きい
- ・町議員・町民の資質向上
- ・議員は10分の1に
- ・すべての充実を望む
- ・町議会議員の意識改革

(4) 少子化対策、子育て支援



少子化対策、子育て支援で最も大切なこととして、「仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」48.2%、「子育てや教育に伴う経済的負担の軽減」35.9%、「結婚や出産に伴う退職後の再就職がしやすい環境づくり」23.9%などがあげられています。

地区別の上位3位

	丹荘小学校区	青柳小学校区	渡瀬小学校区	神泉小学校区
1位	雇用環境の整備 49.7%	雇用環境の整備 45.1%	雇用環境の整備 47.9%	雇用環境の整備 52.5%
2位	経済的負担の軽減 37.5%	経済的負担の軽減 34.9%	経済的負担の軽減 41.9%	経済的負担の軽減 30.0%
3位	再就職しやすい環境 23.6%	再就職しやすい環境 27.6%	再就職しやすい環境 23.1%	再就職 / 企業の子育て / 学童保育 17.5%

地区別の上位は、神泉小学校区の3位で企業の子育て支援及び学童保育があげられている以外、すべて同じとなっています。

問21少子化、子育てで最も大切な点

単位：%

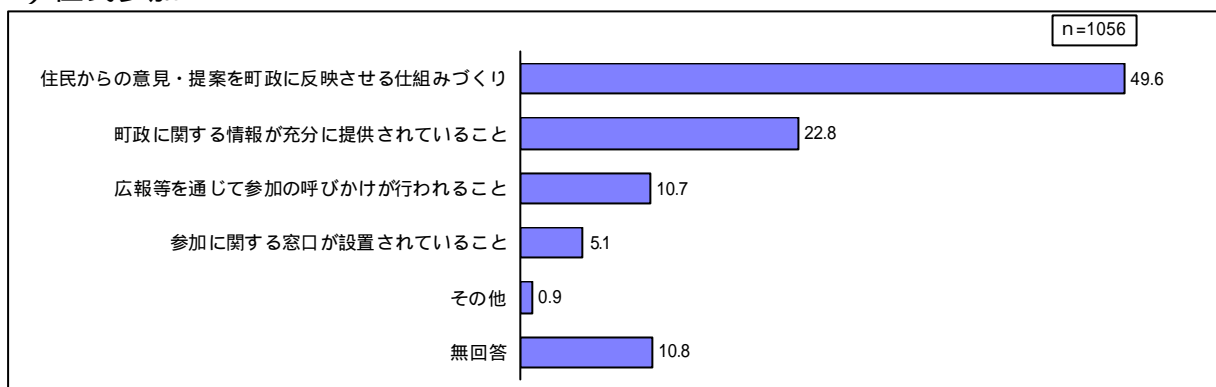
属性	全体	仕事と子育てが両立できる 雇用環境の整備	結婚や出産に伴う退職後の 再就職がしやすい環境づくり	企業の子育て支援の充実	父親の育児参加	母子保健医療や 子育て相談窓口の整備	子育てや教育に伴う 経済的負担の軽減	住宅などの生活環境整備の 支援	保育サービスの充実	学童保育の充実	その他	無回答
全体	1,056	48.2	23.9	15.2	6.3	4.5	35.9	7.3	12.5	10.3	1.8	9.4
性別												
男	443	50.3	24.8	16.5	3.6	3.6	38.1	7.7	11.1	8.6	2.5	7.4
女	540	47.6	24.3	14.3	8.9	4.8	35.6	6.9	13.9	11.1	1.3	9.4
年齢												
20歳～29歳	145	35.9	33.1	12.4	10.3	4.8	46.9	9.7	18.6	5.5	1.4	4.1
30歳～39歳	151	51.0	21.2	13.9	8.6	4.0	44.4	3.3	17.2	11.9	2.6	2.6
40歳～49歳	182	49.5	19.2	20.9	4.9	4.4	34.6	8.8	12.1	14.3	1.6	5.5
50歳～59歳	247	51.8	20.2	15.4	4.9	4.5	32.0	8.9	13.4	10.1	0.8	11.3
60歳～69歳	197	50.8	26.4	15.2	5.1	2.5	37.6	6.1	7.6	11.7	2.0	12.2
70歳以上	107	44.9	29.9	12.1	4.7	8.4	21.5	5.6	6.5	5.6	2.8	19.6
居住地												
丹荘小学校区	499	49.7	23.6	16.2	7.8	4.2	37.5	8.2	14.6	8.0	2.4	7.0
青柳小学校区	315	45.1	27.6	13.7	5.7	4.4	34.9	6.3	13.3	13.7	0.6	8.9
渡瀬小学校区	117	47.9	23.1	13.7	3.4	6.0	41.9	5.1	9.4	6.8	2.6	12.8
神泉小学校区	80	52.5	17.5	17.5	5.0	2.5	30.0	3.8	3.8	17.5	1.3	12.5

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・ 出会いの場をつくる（2件）
- ・ 少子化は国民の総意であり時代の流れである。老父母の介護保険の軽減が重要
- ・ 周辺地域と一体になり考える必要がある
- ・ 不妊治療の医療的負担の軽減
- ・ 行政が介入しないこと
- ・ 企業での雇用環境整備が必要であり、行政が指導するべき
- ・ 家庭の役割、子供の必要性、家庭の重要性の教育が必要
- ・ 意識の改革
- ・ 20代の若者たちが地元で生活できる環境（仕事・住居など）
- ・ 派遣・パート労働者の正規雇用化
- ・ 国・行政に頼りすぎ
- ・ 父親の十分な生活力（給料）
- ・ 世間の、子育ては女性の仕事・母親が全てという意識の改革

(5) 住民参加



住民参加に必要な取り組みとして「住民からの意見・提案を町政に反映させる仕組みづくり」が 49.6%と半数近いものとなっています。以下「町政に関する情報が十分に提供されていること」22.8%、「広報等を通じて参加の呼びかけが行われること」10.7%などがあげられています。

地区別の上位3位

	丹荘小学校区	青柳小学校区	渡瀬小学校区	神泉小学校区
1位	意見・提案を反映させる仕組み 52.3%	意見・提案を反映させる仕組み 47.9%	意見・提案を反映させる仕組み 51.3%	意見・提案を反映させる仕組み 45.0%
2位	十分な情報提供 21.8%	十分な情報提供 24.8%	十分な情報提供 19.7%	十分な情報提供 26.3%
3位	参加の呼びかけがされている 10.6%	参加の呼びかけがされている 10.8%	参加の呼びかけがされている 11.1%	参加の呼びかけがされている 8.8%

地区別の上位はすべて同じとなっています。

問22住民参加に必要な取り組み

単位：％

属性	全体	充 分 に 提 供 さ れ て い る こ と	設 置 さ れ て い る 窓 口 が	参 加 に 関 す る 仕 組 み づ く り	住 民 か ら の 意 見 ・ 提 案 を 町 政 に 反 映 さ せ る	呼 び か け が 行 わ れ る こ と	広 報 等 を 通 じ て 参 加 の こ と	そ の 他	無 回 答
全体	1,056	22.8	5.1	49.6	10.7	0.9	10.8		
性別									
男	443	24.6	4.7	50.6	9.5	1.8	8.8		
女	540	22.2	5.6	49.8	11.1	0.4	10.9		
年齢									
20歳～29歳	145	20.0	5.5	58.6	7.6	1.4	6.9		
30歳～39歳	151	22.5	6.6	53.0	10.6	2.0	5.3		
40歳～49歳	182	23.1	6.0	53.3	12.1	0.5	4.9		
50歳～59歳	247	30.0	4.5	43.7	8.5	0.0	13.4		
60歳～69歳	197	18.3	3.6	50.8	13.2	0.5	13.7		
70歳以上	107	21.5	6.5	39.3	12.1	2.8	17.8		
居住地									
丹荘小学校区	499	21.8	5.4	52.3	10.6	1.4	8.4		
青柳小学校区	315	24.8	4.8	47.9	10.8	0.6	11.1		
渡瀬小学校区	117	19.7	5.1	51.3	11.1	0.0	12.8		
神泉小学校区	80	26.3	7.5	45.0	8.8	0.0	12.5		

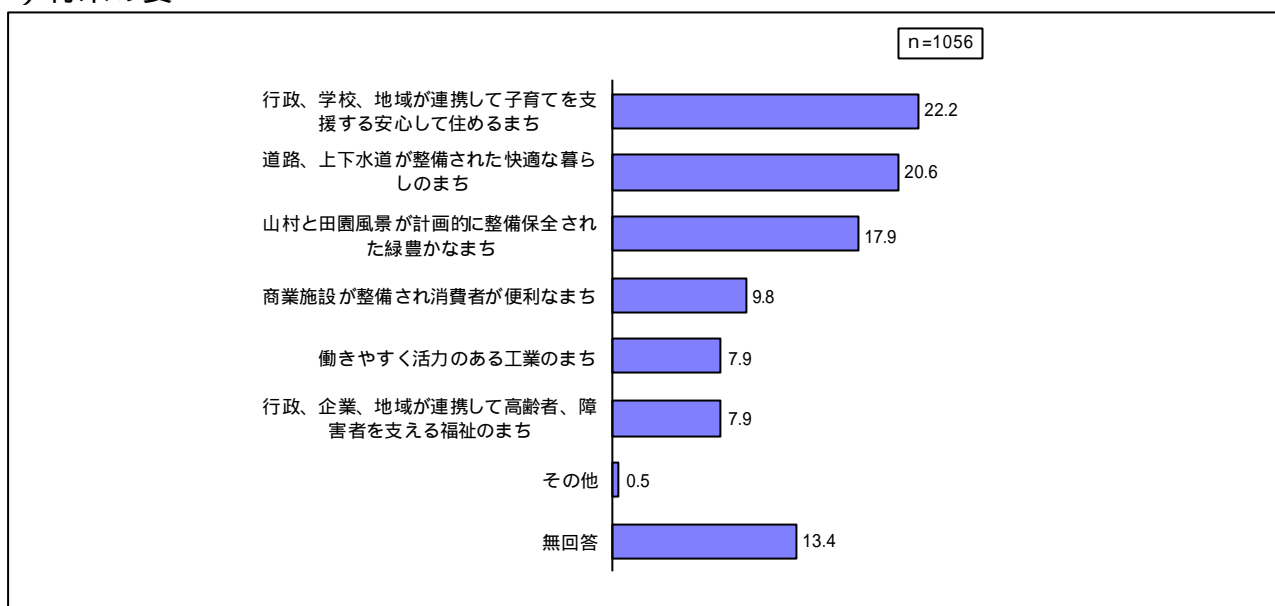
注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・インターネットを通して伝えられるなら意見しやすい
- ・参加者の情報が職員間でペラペラ話されないようにモラル向上
- ・個人の自由
- ・ネット等で若者が意見提案できる環境
- ・土日夜間の議会開催

7. 将来の姿と自慢できるもの

(1) 将来の姿



神川町の将来の姿は「行政、学校、地域が連携して子育てを支援する安心して住めるまち」22.2%、「道路、上下水道が整備された快適な暮らしのまち」20.6%、「山村と田園風景が計画的に整備保全された緑豊かなまち」17.9%、やや差があって「商業施設が整備された消費が便利なまち」9.8%、「働きやすく活力のある工業のまち」及び「行政、企業、地域が連携して高齢者、障害者を支える福祉のまち」ともに7.9%です。「高齢者、障害者を支える福祉のまち」よりも「子育て支援」です。

性別の上位3位

	男性	女性
1位	緑豊かなまち 22.1%	安心して住めるまち 24.8%
2位	安心して住めるまち 20.5%	快適な暮らしのまち 20.4%
3位	快適なくらしのまち 20.1%	緑豊かなまち 15.6%

性別では、男性の1位は「緑豊かなまち」22.1%ですが、女性は「安心して住めるまち」24.8%です。男性は自然や安心、女性は安心や快適が上位となっています。

年齢別の上位3位

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代
1位	安心して住めるまち 22.8%	快適なくらしのまち 25.8%	安心して住めるまち 24.2%	安心して住めるまち 26.3%	快適なくらしのまち 24.4%	快適なくらしのまち 20.6%
2位	緑豊か/快適なくらし 22.1%	安心して住めるまち 21.2%	緑豊か/快適なくらし 20.3%	緑豊かなまち 18.6%	安心して住めるまち 20.8%	緑豊かなまち 15.9%
3位		緑豊かなまち 16.6%		快適なくらしのまち 13.4%	緑豊かなまち 15.7%	安心して住める/工業 14.0%

年齢別では、「安心して暮らせるまち」が1位は20歳代、22.8%、40歳代24.2%、50歳代26.3%であるのに対し、「快適な暮らしのまち」を1位としているのは30歳代25.8%、60歳代24.4%、70歳代20.6%です。

地区別の上位3位

	丹荘小学校区	青柳小学校区	渡瀬小学校区	神泉小学校区
1位	快適なくらしのまち 24.6%	緑豊かなまち 23.2%	安心して住めるまち 29.9%	緑豊か/安心して住めるまち 25.0%
2位	安心して住めるまち 19.8%	安心して住めるまち 22.5%	快適なくらし/便利なまち 13.7%	
3位	緑豊かなまち 16.4%	快適なくらしのまち 18.7%		快適なくらしのまち 13.8%

地区別の1位は、丹荘小学校区は「快適な暮らしのまち」24.6%、青柳小学校区と神泉小学校区は「緑豊かなまち」であり、それぞれ23.2%、25.0%、渡瀬小学校区は「安心して住めるまち」29.9%です。

問19神川町に希望する将来の姿

単位：％

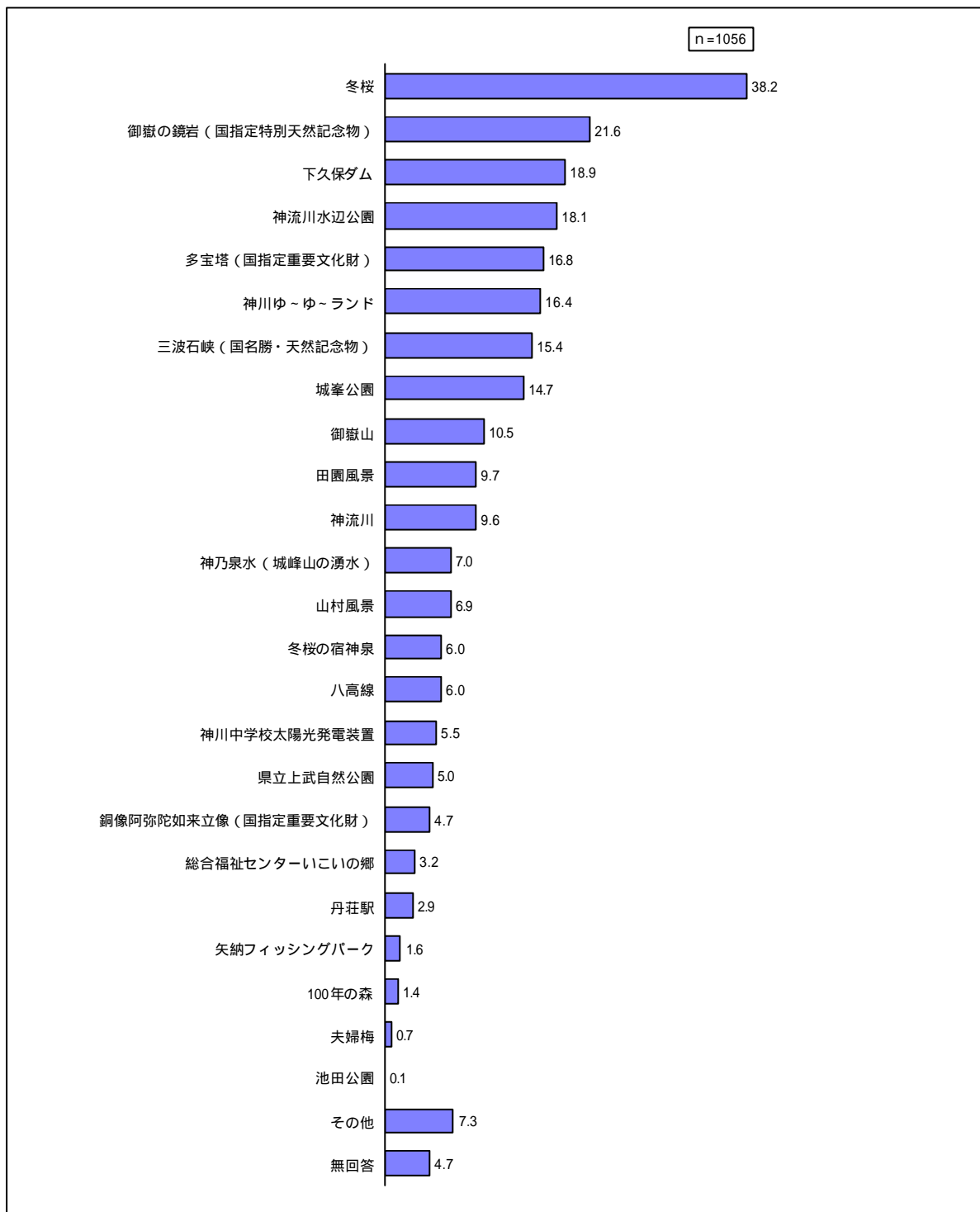
属性		全体	工業のまち 働きやすく 活力のある	豊かなまち に整備され 保全された 緑	山村と田園 風景が計画 された	商業施設が 整備され消 費者が便利 なまち	安全なまち 道路、上下 水道が整備 された	安心して子 育てるまち 行政、学校、 地域が連携 する	行政、企業、 高齢者、地 域が連携し る	その他	無回答
全体		1,056	7.9	17.9	9.8	20.6	22.2	7.9	0.5	13.4	
性別	男	443	8.6	22.1	7.2	20.1	20.5	7.2	0.2	14.0	
	女	540	7.4	15.6	11.5	20.4	24.8	7.6	0.7	12.0	
年齢	20歳～29歳	145	5.5	22.1	12.4	22.1	22.8	4.1	0.0	11.0	
	30歳～39歳	151	5.3	16.6	13.9	25.8	21.2	6.0	1.3	9.9	
	40歳～49歳	182	6.6	20.3	9.3	20.3	24.2	6.6	1.1	11.5	
	50歳～59歳	247	7.3	18.6	8.5	13.4	26.3	8.5	0.4	17.0	
	60歳～69歳	197	9.1	15.7	7.6	24.4	20.8	9.6	0.0	12.7	
	70歳以上	107	14.0	15.9	7.5	20.6	14.0	13.1	0.0	15.0	
居住地	丹荘小学校区	499	7.4	16.4	9.8	24.6	19.8	7.8	1.0	13.0	
	青柳小学校区	315	6.0	23.2	9.8	18.7	22.5	8.3	0.0	11.4	
	渡瀬小学校区	117	12.8	10.3	13.7	13.7	29.9	5.1	0.0	14.5	
	神泉小学校区	80	8.8	25.0	2.5	13.8	25.0	7.5	0.0	17.5	

注：網がけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・全項目を含む、安全安心活力のある町
- ・発展は不可能だが、固有の独自性を持ったまちづくり
- ・無駄をなくす町
- ・スポーツのまちづくり

(2) 自慢できるもの



神川町で自慢できるものは、「冬桜」38.2%、「御嶽の鏡岩 (国指定特別天然記念物)」21.6%、「下久保ダム」18.9%、「神流川水辺公園」18.1%、「多宝塔 (国指定重要文化財)」16.8%などが上位にあげられています。

性別でみると男女の差の大きいのは、冬桜(男性 33.9%、女性 40.9%)、神流川(男性 13.1%、女性 6.3%)などです。

年齢別では、概して年齢を重ねるほど多くなるのは「御嶽山」、「神流川」、「県立上武自然公園」、「城峯公園」、「下久保ダム」、「多宝塔」、「銅像阿弥陀如来立像」、「三波石峡」など、これまでの既存資源が中心となっています。これに対し、若年層の方が多いのは「神川中学校太陽光発電装置」、「御嶽の鏡岩」、「田園風景」となっています。

問25神川町で自慢できるもの

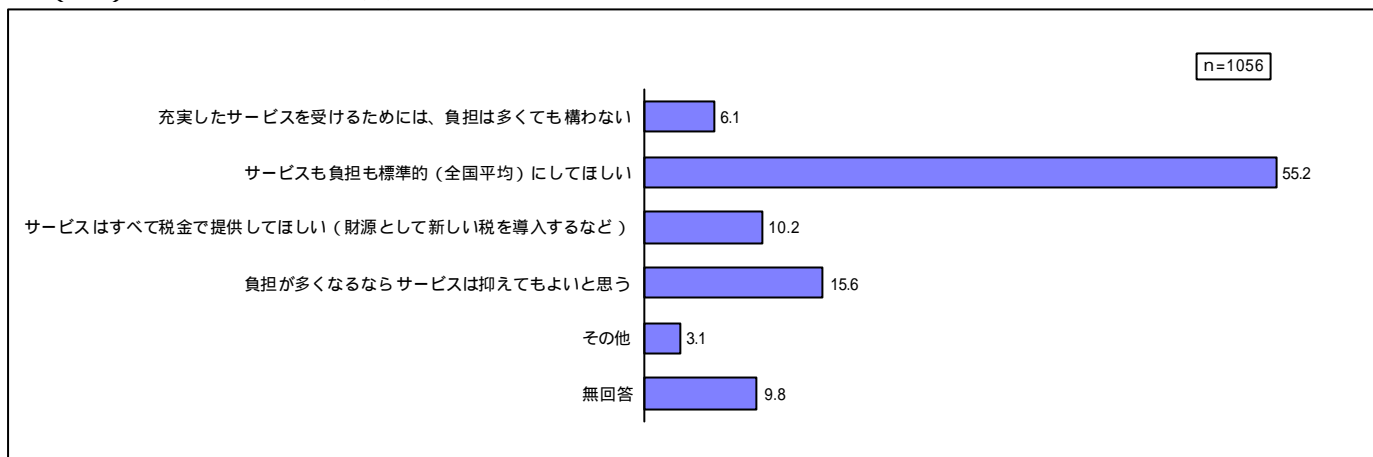
属性	全体	御嶽山	神流川	冬桜	夫婦梅	県立上武自然公園	神川ゆ〜ゆ〜ランド	城峯公園	神流川水辺公園	矢納フィッシングパーク	池田公園	100年の森	神乃泉水(城峯山の湧水)	下久保ダム	冬桜の宿神泉	いごいの郷	太陽光発電装置	神川中学校	八高線	丹荘駅	(国指定重要文化財)	(国指定重要文化財)	(国指定特別天然記念物)	(国名勝・天然記念物)	田園風景	山村風景	その他
全体	1,056	10.5	9.6	38.2	0.7	5.0	16.4	14.7	18.1	1.6	0.1	1.4	7.0	18.9	6.0	3.2	5.5	6.0	2.9	16.8	4.7	21.6	15.4	9.7	6.9	7.3	
性別																											
男	443	11.1	13.1	33.9	0.7	6.5	13.3	14.2	16.7	1.6	0.2	2.0	6.5	18.5	4.5	2.7	3.4	6.8	3.8	16.9	3.8	22.1	17.6	9.3	9.3	7.9	
女	540	10.0	6.3	40.9	0.7	4.1	19.4	15.2	19.3	1.9	0.0	0.9	7.8	18.5	7.0	3.3	7.6	5.6	1.7	16.3	5.0	20.9	13.5	10.6	4.8	7.2	
年齢																											
20歳～29歳	145	8.3	7.6	33.1	2.8	2.8	17.9	11.7	22.1	1.4	0.7	2.8	9.0	13.1	4.1	2.1	4.1	2.8	3.4	14.5	4.1	22.8	10.3	16.6	5.5	13.8	
30歳～39歳	151	9.9	9.3	35.1	1.3	2.0	14.6	7.3	13.9	2.6	0.0	0.7	6.0	12.6	5.3	2.0	11.3	7.9	3.3	13.2	3.3	24.5	12.6	9.9	7.9	12.6	
40歳～49歳	182	8.2	6.0	39.6	0.0	2.7	17.0	12.1	19.2	4.4	0.0	1.1	9.9	11.5	4.9	1.6	7.1	6.0	3.8	13.7	4.4	25.8	12.1	11.0	7.7	6.0	
50歳～59歳	247	15.0	11.7	42.1	0.4	4.5	13.4	20.2	15.0	0.8	0.0	0.8	6.1	23.1	3.6	2.4	3.6	6.5	1.6	18.2	5.3	17.8	19.4	11.3	7.3	6.5	
60歳～69歳	197	9.1	11.7	37.6	0.0	9.1	18.8	16.8	20.8	0.0	0.0	1.5	5.6	22.8	7.1	3.6	3.0	7.6	4.1	18.8	5.6	21.3	16.8	5.6	7.1	4.6	
70歳以上	107	12.1	8.4	36.4	0.0	10.3	19.6	15.0	20.6	0.9	0.0	1.9	6.5	29.0	14.0	9.3	4.7	4.7	0.9	24.3	6.5	19.6	18.7	1.9	4.7	1.9	
居住地																											
丹荘小学校区	499	6.4	10.0	36.7	0.4	4.4	18.8	11.0	17.8	1.4	0.0	1.2	6.2	20.4	4.8	3.4	6.0	7.8	4.2	14.2	4.2	23.2	13.6	12.0	4.8	8.4	
青柳小学校区	315	19.4	6.3	34.0	1.3	5.7	16.8	13.3	14.0	1.6	0.3	1.9	5.7	16.5	5.4	3.2	5.7	4.8	1.6	24.8	7.6	22.2	12.4	10.8	8.6	7.3	
渡瀬小学校区	117	12.8	19.7	36.8	0.9	0.9	12.8	18.8	36.8	1.7	0.0	0.0	9.4	16.2	2.6	2.6	4.3	3.4	2.6	12.8	0.9	24.8	19.7	3.4	6.0	6.0	
神泉小学校区	80	2.5	2.5	61.3	0.0	8.8	6.3	33.8	10.0	2.5	0.0	2.5	15.0	20.0	17.5	1.3	1.3	5.0	0.0	7.5	3.8	7.5	30.0	2.5	12.5	6.3	

【その他回答】

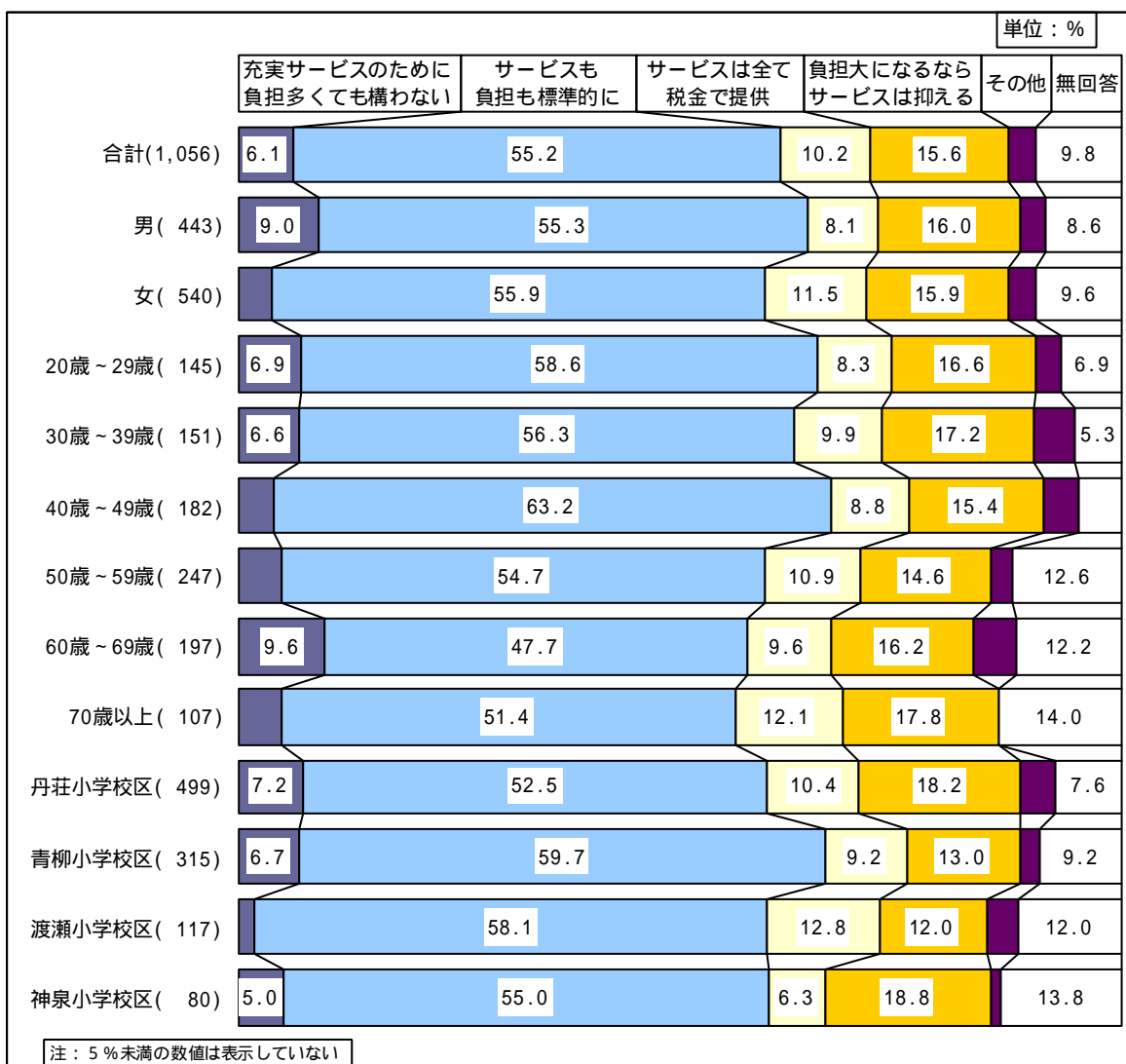
- ・梨(33件)
- ・温泉(4件)
- ・NECがあること
- ・公園
- ・古墳が多い
- ・丹荘小学校
- ・天神山公園
- ・ももたろうラーメン
- ・人
- ・金鑽神社(16件)
- ・農作物(2件)
- ・健康緑道
- ・小浜グラウンド
- ・埼玉国際ゴルフクラブ
- ・丹党
- ・原庭園
- ・豊かな自然
- ・神泉の豆庵の商品

8 . 行政について

(1) サービスと住民負担



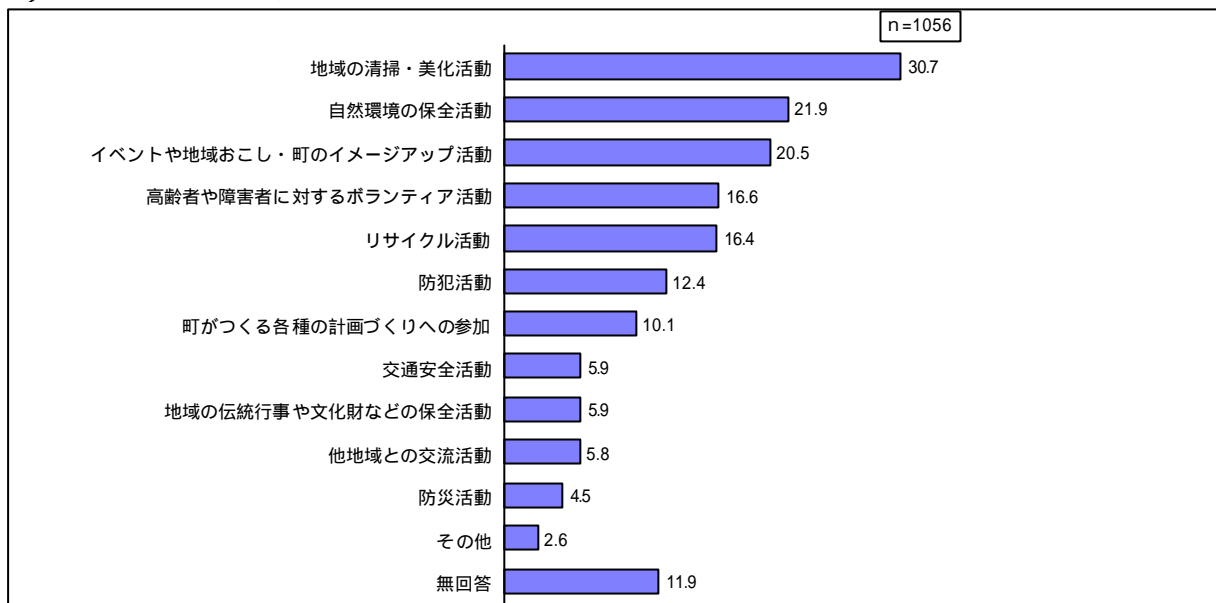
町が提供するサービスと住民負担のあり方は、「サービスも負担も標準的 (全国平均) にしてほしい」55.2%と断トツの1位です。次いで「負担が多くなるならサービスは抑えてもよいと思う」15.6%、「サービスはすべて税金で提供してほしい (新しい税の導入など)」10.2%、「充実したサービスを受けるためには負担は多くても構わない」6.1%となっています。



【その他回答】

- ・ 行政の無駄をなくす、人員縮小、合併した意味がない、増税反対
- ・ 家族構成も含めて考えて欲しい
- ・ 充実したサービスに見合った負担ならよい
- ・ サービスの充実、負担は平等が望ましい
- ・ 片寄りのないサービスを提供すべき
- ・ 負担は少なくサービスを多くする
- ・ 設備にお金をかけるのではなく、必要な人に直接援助するシステムが必要
- ・ 町の提供するサービスは要らない、民間企業が動けばよい
- ・ 税金を安くしてほしい
- ・ 負担は仕方ない、独自性を出して全国一のサービスを目指して欲しい
- ・ 利用者の本当の声に耳を
- ・ 公平にして欲しい
- ・ 行政に頼りすぎでは、生活態度等を指導した方がよいのでは
- ・ 税金をうまく使って住民の満足できるサービスを提供してもらいたい
- ・ 医療費など負担があまりかからないようにしてほしい
- ・ 負担が納得できるサービスの検討
- ・ 何とも言えない
- ・ 負担は少ない方がよい。
- ・ 依頼心を抑え、己で出来ることを最大限行った上でのサービスのあり方
- ・ 負担増は避けてほしい
- ・ 必要以上のサービスはいらない

(2) まちづくりで参加したい活動



「地域の清掃・美化活動」30.7%、「自然環境の保全活動」21.9%、「イベントや地域おこし、町のイメージアップ活動」20.5%、「高齢者や障害者に対するボランティア活動」16.6%、「リサイクル活動」16.4%、「防犯活動」12.4%などがあげられています。

男性が女性を大きく上回るのは「自然環境の保全活動」(男性 27.3%、女性 18.3%)、「防犯活動」(男性 16.3%、女性 10.6%)に対し、逆に女性が男性を上回るのは「高齢者や障害者に対するボランティア活動」(男性 11.7%、女性 20.6%)、「リサイクル活動」(男性 13.3%、女性 19.3%)などとなっています。

年齢別で見ると、概して年を重ねるほど参加が多くなるのは「自然環境の保全」や「地域の清掃・美化活動」、「高齢者や障害者に対するボランティア活動」となっています。これに対し、比較的若年層の方の参加が多くなるのは「イベントや地域おこし、町のイメージアップ活動」をはじめ、「リサイクル活動」、「防犯活動」となっています。また、「町がつくる各種の計画づくりへの参加」は30～50歳代に比較的多くなっています。

問23まちづくりで参加したい活動

単位：%

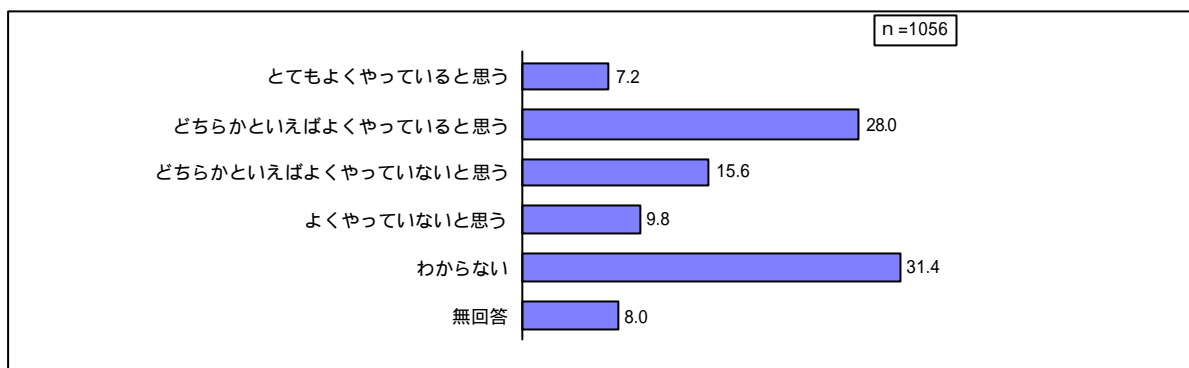
属性	全体	自然環境の保全活動	地域の清掃・美化活動	高齢者や障害者に対するボランティア活動	リサイクル活動	防犯活動	防災活動	交通安全活動	イベントや地域おこし活動・ジニアップ活動	地域の伝統行事や文化財などの保全活動	他地域との交流活動	町が主催する各種の計画づくりへの参加	その他	無回答
全体	1,056	21.9	30.7	16.6	16.4	12.4	4.5	5.9	20.5	5.9	5.8	10.1	2.6	11.9
性別														
男	443	27.3	30.7	11.7	13.3	16.3	5.6	6.8	21.9	6.1	6.5	10.2	3.2	9.5
女	540	18.3	30.4	20.6	19.3	10.6	3.7	5.6	20.0	5.4	5.0	10.0	2.4	12.4
年齢														
20歳～29歳	145	19.3	22.1	16.6	17.2	15.9	5.5	4.8	35.9	6.9	7.6	7.6	2.1	8.3
30歳～39歳	151	21.9	26.5	12.6	22.5	21.9	6.0	4.6	21.2	5.3	4.6	12.6	3.3	7.3
40歳～49歳	182	21.4	24.7	14.8	19.2	15.4	5.5	7.7	23.6	3.8	2.7	14.8	3.8	7.7
50歳～59歳	247	23.5	32.4	19.0	13.8	8.1	2.0	4.9	19.0	5.7	6.1	10.1	1.6	14.6
60歳～69歳	197	20.8	41.1	16.8	12.2	9.6	5.6	8.6	14.7	7.6	6.1	7.1	2.0	13.2
70歳以上	107	28.0	37.4	19.6	12.1	5.6	3.7	3.7	9.3	6.5	7.5	7.5	3.7	18.7
居住地														
丹荘小学校区	499	21.6	32.1	14.8	17.4	15.0	4.0	6.0	21.2	6.0	6.0	11.8	1.8	9.4
青柳小学校区	315	24.8	27.9	17.1	14.9	12.7	5.1	6.7	20.3	5.4	4.8	9.5	3.5	13.0
渡瀬小学校区	117	18.8	29.1	19.7	14.5	9.4	6.8	6.8	18.8	6.8	4.3	7.7	3.4	14.5
神泉小学校区	80	21.3	31.3	23.8	13.8	3.8	1.3	2.5	23.8	6.3	8.8	8.8	3.8	11.3

注：網かけは全体結果より5ポイント以上多いもの。

【その他回答】

- ・企業支援
- ・スポーツクラブ設立
- ・子育て支援
- ・子どもたちとのふれあい
- ・隣組を大切にし、思いやりの心が大切
- ・年中行事やセレモニーではなく、住民が自主的自発的に活動参加できるもの

(3) 役所の仕事ぶり



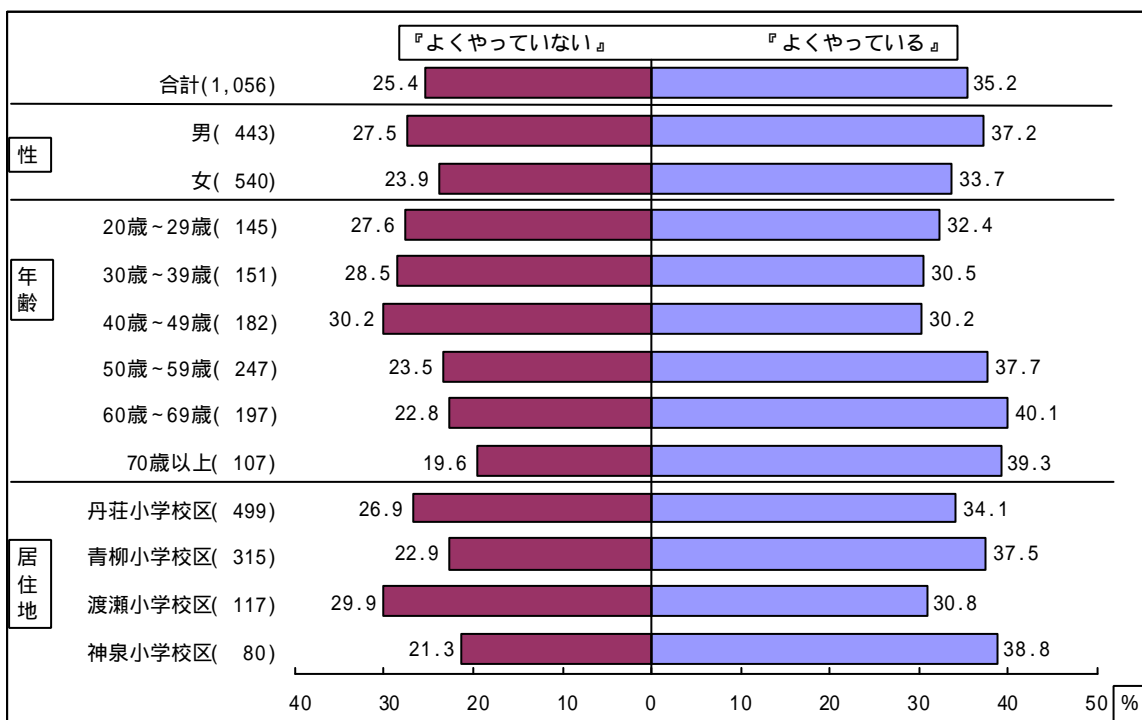
役所の仕事ぶりについては、「わからない」31.4%が1位ですが、「どちらかといえばよくやっていると思う」28.0%、「どちらかといえばよくやっていないと思う」15.6%、「よくやっていないと思う」9.8%、「とてもよくやっていると思う」7.2%の順となっています。

「よくやっていると思う」と「どちらかといえばよくやっていると思う」を合わせた『よくやっている』が35.2%、「よくやっていないと思う」と「どちらかといえばよくやっていないと思う」を合わせた『よくやっていない』が25.4%であり、『よくやっている』が10ポイントほど上回ります。

性別では、『よくやっている』は男性が37.2%、女性が33.7%、『よくやっていない』は男性27.5%、女性23.9%であり、いずれも男性が女性をやや上回っています。

年齢別では、『よくやっている』は60歳代40.1%、70歳以上39.3%、50歳代37.7%といった高年齢層に多いのに対し『よくやっていない』は、40歳代30.2%、30歳代28.5%、20歳代27.6%というように若壮年層に多くなっています。

地区別では、『よくやっている』は神泉小学校区38.8%、青柳小学校区37.5%にやや多く、『よくやっていない』は渡瀬小学校区に29.9%となっています。



自由回答

【自然環境】

- ・自然・緑を大切にしてほしい（同様 15...住みやすい、好き、環境が良い、守りたい）
- ・道路整備や工業誘致より、自然を守り、自然を生かしてほしい。（同様 2）
- ・自然中心のメダカや蛍が飛び交う町にしてほしい。（同様 1）
- ・神流川をきれいにして魚が住める川にしてほしい。（同様 1 ...手入れしてきれいなままで）
- ・自然と調和した生活しやすい環境をつくる。
- ・アンケートの神川町で自慢できるものの項目は、どれも今後の町にとって大事なこと、守ってほしい。

【上・下水道】

- ・下水道を早く整備してほしい。（同様 5 ...家庭排水など）
- ・下水道工事は、中途半端にすまされている。今後きれいに整備されるのか。高い加入金を取るだけで結局下水道は一部の地域だけで終わってしまうのではないか。（同様 1）
- ・上水道川の上流にある町なのに何で水道代が高いのか。見直しはできないか。（同様 3）

【道路交通・公共交通】

（道路）

- ・道路整備をしてほしい。（同様 6 ...悪い、狭い工事の後道路が悪くなった、砂利道）
- ・生活道路の整備の見直しをしてほしい。（同様 1）
- ・道路の整備や側溝、昭和に申請した工事が終了していない。もう少しスムーズに処理してほしい。
- ・歩道の整備。（同様 1 ...「歩いて暮らせるまち」、高齢者・障害者が危険）
- ・側溝に蓋をしていないところが多い。（同様 1）
- ・農道を舗装してほしい。（同様 1）
- ・中新里に遊歩道、大変気に入っている。遊歩道はベンチもあり、体も楽だが新里では無理。
- ・旧神泉地区にある児童公園や遊歩道が、昨年までとは違い雑草が茂っている。合併して悪くなったということのないようにしてほしい。
- ・自転車道の充実。
- ・道路がきれいでありがたい。

（公共交通）

- ・公共交通機関を良くしてほしい。交通の便が悪い。（同様 1）
- ・電車の本数が少ない。（同様 1）
- ・バスが少ない。循環バスを出してほしい。（同様 5 ...高齢者が大変、生活が不便）
- ・バスと八高線との連絡を考慮する。
- ・児玉や藤岡方面へ出るバスがあると便利。年寄りには駅まで歩いていくのが大変。
- ・丹荘駅をローカル線として魅力のある駅舎整備。（同様 2 ...駅前公園はどうなったか）
- ・駅は朝・夜には駅員もいないし、券売機もしまっているのが困る。
- ・午後 5 時過ぎには駅が無人になり、駅周辺は人の姿がなくさみしい。対策を。

- ・敬老会の時は町のバスが出るけど、他の時は使えないのか。
- ・朝日バス住民への年間パス発行 10,000 円 / 年、週末均一料金化、町内小中学校を結ぶ公共交通として活用する。
- ・八高線、丹荘駅のバリアフリー化、駅前無料駐車場の整備。
- ・公共交通に関する知見を早大に求める。聞きに行くだけでなく、継続的なコネクションをつくり、ともにつくる姿勢を相手に見せる。改善のためにできることを行ってほしい。

【環境衛生】

（ごみ）

- ・合併によりゴミ収集場所が減らされ不便。
- ・歩道に空き缶やペットボトルなど散乱している。町の美化の強化も必要。（同様 2）
- ・年 1 回の地域の清掃活動を月 1 回実施して、「ゴミのないまちづくり」をめざす。町民の継続した参加・活動が必要。町民全員が参加し、共通目標になれば連帯感も生まれると思う。
- ・有害ごみ（電池など）の回収回数が少ない。常時の収集場所を設置してほしい。
- ・川に家庭ごみが流されている。
- ・ごみ拾いや清掃活動、雨天は日にちを変更し、朝早いと労働者にはつらいので、8 時くらいにした方がいい。
- ・ポイ捨て等、子どもの頃からの家庭での教育が大事。自分、家庭の周りから始めたいと思う。
- ・月 1 回程度、雑誌や新聞の収集をするなど、リサイクル活動を充実してほしい。
- ・産業廃棄物処理施設の調査。
- ・モラルが低下している。公衆道徳等まず親や大人が実践しなければ改善されない。不法投棄、ポイ捨て等、自分良かれ風潮に向かっていく傾向ありに歯止めをかける方策を望む。

（ペット）

- ・ペットの糞の始末をしない人が多くモラルの低さを痛感している。（同様 2 ... 罰金や指導など必要）

（家畜の糞尿等）

- ・家畜の糞尿の悪臭がひどい。（同様 1 7 ... 窓があげられない、気分が悪くなる、ハエ）
- ・冬になると梨の枯れ葉が沢山飛んできて困る。
- ・農家は畑はきれいだが、脇の道路は草だらけ、自分たちは畑のそばに住んでいないので、牛の生糞を畑に蒔く。役所に電話したが、改善されない。
- ・荒れ放題になっている畑が多く、危険を伴い迷惑。役場から指導をしてほしい。（同様 1）
- ・梨畑の消毒、洗濯物、人・環境への影響が心配。（同様 2 ... 子どもがそばにいても行う、音がすごい）

（野焼き）

- ・野焼き、家庭ごみを燃やす行為を何とかしてほしい。（同様 6 ... ごみ収集所がせまく捨てる場所がない、剪定した枝が指定袋に入らず自然も減って土に戻らない、行政の注意が及ばない、洗濯物がくさい）

【公園】

- ・公園に整備された遊具がほしい。（同様 3 ... ゆ～ゆ～ランドに設置、親の意見を聞いた遊具の設置）
- ・子どもが安心して遊べる公園を増やしてほしい。（同様 4 ... 子、親の交流、各地区均等に）

- ・近所に公園がなく、児玉まで車で行く。公園がほしい。
- ・公園はとてもきれいでありがたい。
- ・新宿の公園のように特徴のない公園は作るだけ無駄。

【土地利用・住宅】

- ・農地転用の手続き等をスムーズにし、これから住む人を受け入れる体制を整える。(同様1)
- ・町営住宅を便利な場所につくる。
- ・棲み分けをしていかなければ産業が発展しない。住まいとの区分は重要。
- ・住宅地の中に工場等を作ることを規制しなければならない。
- ・美しいまちづくりとして、ゴミをなくし、家や屋根色をどの家も同じにする。
- ・まちづくりは地域に差がありすぎる。丹荘地区は少し外に出てみても緑がなく、少し疲れてもベンチもなく、散歩に出られない。
- ・農道整備はヒートアイランド現象のもとであり、休耕地をどう活用するか考えてほしい。
- ・遊休農地を活用した、住民が集まって憩う公園づくりをし、健康づくりと住民同士のコミュニケーションが図れるとよい。

【防災、治山治水】

- ・防災、地震対策の充実。(同様1)
- ・山、川の整備がまったくできていない。
- ・洪水による橋改修はいつはじめるのか。毎年増水時期になると心配になる。
- ・防災無線を夜中に流すのはどうかと思う。
- ・防災無線の音量をちょっと下げてほしい。
- ・防災無線をもっと活用してほしい。例えば、夕方5時は音楽だけでなく、遊んでいる子どもたちには帰宅の呼びかけをしてほしい。夏と冬では時間を変えてもよいのではないか。
- ・火事が多い。
- ・災害も少なく、安心して住めるよい町だと感じている。

【防犯、交通安全】

- ・道路標識・カーブミラーなどの設置。1度町全体を点検してほしい。(同様1)
- ・駐車が多く高齢者、子どもなどの歩行の妨げとなるので辞めてほしい。
- ・街灯が少ないので設置してほしい。(同様8...暗い、危ない、痴漢がこわい、街灯が消えている)
- ・子ども110番の家、いつも留守のような家についていたりするが、見直しは行っているか。
- ・通学路の舗装、整備、死角になる雑草の草刈りなどを行う。(同様3)
- ・近隣同士と挨拶が少ない。防犯のために町全体で取り組むべき。
- ・子どもがらみの事件(虐待、いじめ、連れ去り)後を絶たない。親子の絆と地域ぐるみでの声かけ、ためらわずに注意できるような環境づくりが必要。(同様2)
- ・防犯(詐欺対策など)に力を入れる。矢納地区はほとんどが高齢者ばかり。町全体でバックアップをしてほしい。
- ・道路端の杉、檜をなくすことにより、明るくなり冬場の凍結防止になり、交通安全・防犯にもつながる。

【福祉】

- ・福祉や介護など受ける側や町民に施設や利用内容を詳しくわかりやすくしてもらいたい。
- ・福祉環境の整備。

（児童福祉・子育て支援・ひとり親福祉）

- ・安心して子育てできるまちにしてほしい。（同様4...働ける環境、サービスの充実、経済支援）
- ・安心して子どもを預けられる保育所、幼稚園がほしい。（同様3...受入体制の整備、数がほしい）
- ・医療費の控除を小学生に上がるまでから、中学生に上がるまでにしてほしい。（同様1）
- ・医療費控除は、書類を提出しなくても保険証やカードの提示など簡単にしてほしい。（同様2）
- ・保育所を3人目以降から無料にしてほしい。
- ・不妊治療に関する援助が一切ない。少しでも改善すれば、子どもに恵まれる人はいると思う。
- ・小さな子どもが遊べる屋内施設があると良い。（同様2...保育園に行っていない子の通える広場）
- ・幼稚園の夏休みの希望保育の実施、少しの病気なら預かってほしい。（同様1）
- ・神川町は児童館が1つもない。1つくらいほしい。（同様1）
- ・昔ながらの子育ての伝承や、子育ての不安を相談できる場所を整えてほしい。
- ・学童保育を充実してほしい。悪条件である学童に預けなければならない。（同様1）
- ・丹荘保育所の行事等が手抜きされている。生活発表会の会場は中央公民館から保育所内になり、家族全員で見に行けない。保育参観とバザーは同じ日に済ませられ、運動会も午前のみ、お昼と一緒に食べるのも大切。冬の雪遊びもレジャー施設に変わった。方針に疑問を感じる保護者が大勢いる。
- ・高齢社会というが少子化問題の対策も進めてほしい。このままだとより少子化が進む。（同様3）
- ・母子家庭でも働きやすい環境にしてほしい。

（高齢者福祉）

- ・高齢者福祉はとても充実している。（同様1）
- ・高齢者に対する福祉の充実に関心を入れてほしい。（同様1）
- ・低所得高齢者へのケア、施設。（同様1）
- ・単身老人増に対する長屋方式等の建築必要性出てくるかもしれない。
- ・ひとり暮らし高齢者の話を聞いてあげるサービスができたらいと思う。
- ・高齢で身の回りや家事が不便で精神的にも老化しているが、トイレに行けて、ぼけていなければ認定は受けられない。他の老人とふれあえる施設もない。一週間に1日だけでも気軽に年寄りが集まれる施設が必要。町独自で精神的な圧迫感が軽減される対策ができないものか。
- ・介護保険料は、40代からはじまり年金からも健康な老人からひかれ、使うことがないと不安、使う時もお金を支払うシステム。何のための介護保険なのか。
- ・寝たきり老人へ民生委員がヤクルトを配っているが廃止しても良いと思う。老人の状態を確認するためかもしれないが、ヘルパーを頼んでいる家庭も多く、無駄。

（障害者福祉）

- ・障害者に対する福祉の充実に関心を入れてほしい。
- ・身体障害者、精神病の人と話をしたり、聞いてあげるサービス。

【健康づくり、医療】

- ・近くに病院があると良い。

- ・医療機関の充実を図り、安心して医療が受けられる環境をつくってほしい。
- ・休日、夜間に対応できる医療施設の充実。
- ・耳鼻咽喉科、眼科があればよい。(同様1)
- ・町の検診で知り合いの人に測定記入をされたりするのは嫌な気がする。
- ・診療所の医師を増やし交代勤務にし、入院設備の整った病院があったらと思う。

【産業・雇用】

- ・梨は人気があるが、JA直売所など産地なのに高すぎる。手軽に買える梨もほしい。
- ・林を手入れし、山河の景観を良く、動物野鳥による田畑の作物被害を減らす。
- ・商業も工業も発展がない。もう少し力を入れてほしい。
- ・事業者による公道の私有地化(通行の妨げになり危険)。
- ・商店街が出来ると良い。(同様6...色々な店がほしい、店が少ない、上里に負けないよう)
- ・スーパー・ショッピングモール、デパートをつくってほしい。(同様4)
- ・もっと若者向きのお店を作ってほしい。(同様2...レンタルビデオ、映画館、本屋)
- ・商業施設が少なすぎて生活は不便を感じる。(同様1)
- ・銀行があるとよい。(同様1)
- ・閉めたままの商店が多く寂れた町というイメージ。(同様1...活気がなくさみしい)
- ・商業など人の集まる施設を誘致する。(同様1...遊休農地を利用し税収を増やす)
- ・企業を誘致してもらいたい。(同様2...自動車会社、地元や若者の雇用確保)
- ・資源リサイクル工場を工業団地に誘致したらよい。家電リサイクル、ペットボトル、自動車、油、タイヤ等。人材は町内から80%確保。工場があれば公害、自然、環境、資源リサイクルなど、子どもをはじめとして町民も地球環境資源の大切さが勉強できる。工業団地として成功すればアジアから視察も来る。
- ・工業に力を入れたところで今後の日本の状況では無駄。
- ・緑を残しながらの企業誘致をしてほしい。
- ・若者に夢を持てる職場を提供してほしい。働こうとしている若者はたくさんいる。(同様1)
- ・働けるところをもっと増やせれば、町から出ていく人が少なくなる。

【観光】

- ・観光施設、観光資源のPRが必要。(同様2...住民でも知らない、インター近く良い)
- ・観光面に力を入れたらどうか。民間の力を借りても良い。
- ・神川といえばこれといった特徴がない。名所、名産、スポーツ等。(同様2)
- ・観光課に周辺地域も含めた観光資源を勉強してもらい、マップ等も力を入れてほしい。
- ・冬桜を町のあちこちに植樹して冬桜の町にしたら良い。コスモスも良い。(同様1)
- ・フラワーパークなどがあると良い。
- ・アカシアの湯が少し知られるようになり地元住民は残念。今まで以上に利用できるといい。
- ・都会の人の農業体験として、空農地を行政で管理し、観光農業にも力を入れるべき。
- ・100年の森グランドゴルフ場をPRし、ゴルフパックで日帰りの時は弁当を、また宿泊パックで送迎付きなどシルバー向けの観光を考えたら良い。
- ・鏡岩は国の柵を取り外し、岩の上で遊べるようにしたらもっと訪れる人がいるのではないか。

【教育】

- ・教育制度をしっかりと、町を背負っていく子どもたちを育ててほしい。(同様1)
- ・文化・スポーツ等で活躍できる基盤を作りにくい。全国・世界に通用する町を代表する人をつくれない。支援制度も広報活動もない。子どもが神川町に残ることが不安。(同様1)
- ・子どもの学力向上
- ・子どもの登下校は、事件が多くなってきているので、スクールバスを検討してほしい。(同様2...幼稚園バスと供用検討)
- ・ケナフを栽培して小中学校で紙づくり体験(空農地の利用)
- ・中学校を2つに分けると良いと思う。平地部、山村部という分け方。気質の違いを考慮した成果が期待できる。同じ理由で小学校は3校体制がよいのではないか。生徒数の面からもよいと思う。
- ・神泉小学校の教育は素晴らしい。
- ・教師の質の低下がひどい。もっと質の良い先生を入れてほしい。(同様1)
- ・神川幼稚園の先生の質が悪い。子どもの教育にふさわしくないと町内では評判。(同様1)
- ・家庭の価値観がくずれているを感じる。大人の教育が必要。子どもだけに生命の大切さを教えても、むずかしい。

【生涯学習】

- ・生涯学習は充実している。
- ・学校教育以外の教育機会整備(人材、情報、環境の充実)
- ・図書館の整備をしてほしい。(同様4...狭い、本が少ない、自習室がほしい、)
- ・町の公共の施設で利用できる券や参加できるイベント等を増やしてほしい。
- ・生涯学習の参加費の軽減。参加費が高くて参加できない人もいる。参加費無料への努力を。

【文化】

- ・伝統芸能の補助をもっとたくさんしてほしい。
- ・神川町にも夏祭りがあればいいと思う。
- ・神川町花火大会をやってほしい。
- ・町全体で楽しめる行事がない。新しい行事を企画するのは難しい中、現状の物を良くしていく工夫をしてほしい。

【スポーツ・レクリエーション】

- ・フィットネスクラブやジムゴルフ、スイミングなどの施設がほしい。(同様1)
- ・活発にイベントを実施している区やスポーツ団体にはもっと補助金を出しても良い。
- ・健康増進のためのウォーキング道やサイクリング道をもっと充実した方がよい。
- ・高齢者や障害者が気楽に行かれる温泉施設、1日分の料金が低額で楽しめる施設がいいと思う。

【地域交流・広域交流】

- ・役場から半径1万kmに住む人は知っていると言うくらい名前が知られるよう、大人から子どもまで参加できるイベントしたらどうか。

- ・色々な町の人とふれあえるイベントや集まりがあったら良いと思う。
- ・合併により、今まで交流の全くなかった町民の方とイベント等で顔を合わせることが多くなり、親しくなることができた。(同様1...合併したので交流の場を設けたい)
- ・字で行う行事より、町全体でのお祭りやイベントに変える。字費の負担も軽いし、コミュニケーションもとれる。(同様3)
- ・若者が定着するよう祭り、イベントをつくってほしい。(同様2...活躍の場、なじめる行事)
- ・中高年の力を多いに利用すべきだと思う。三世代が仲良く生活できるような環境が良い。

【地域活動・町民参加】

- ・育成会は不要だと思う。乳児検診の手伝いがあるが、保健婦がすれば役員は必要ない。
- ・少しでも多くの人が積極的になれるよう、啓発、環境づくりをしてほしい。(同様6)
- ・住民が納得できるような町政を望む。住民不在の町政という感じがする。
- ・町政に参加し議員の仕事ぶりなど聞いてみたい。
- ・町をもっと好きになれるよう、町民が一丸となってまちづくりをしていけるとよい。
- ・これからはもっと関心を持ち参加したい。(同様1)
- ・女性議会が開催されているが、いつも出席者は同一人物だと思う。もっと広く参加者を捜し、沢山の意見を述べられるような環境にしてほしい。

【情報・通信】

- ・ケーブルテレビ等情報環境の整備の拡大が進めば、若者の住みやすい環境になるかと思う。
- ・家庭にパソコンがない人が気軽に使用できるよう、公共施設に用意してもらえると良いと思う。

【広報・広聴・情報提供】

- ・もっと情報提供をしてほしい。(同様5...情報が少なすぎる)
- ・住民の声に耳を傾けてほしい。(同様1)
- ・住民からの意見・提案を町政に反映できるような仕組みづくりが大切。(同様1)
- ・議会傍聴をやすくしてほしい。
- ・若い人の意見を聞くことが困難な町。納税する人の意見を聞いた方が良いのではないか。
- ・合併によって分からないことばかり。いっそうの町の情報の公開をお願いしたい。
- ・行政を中心とした広報等の呼びかけが必要。
- ・各戸に役場宛に意見や要望を書く手紙を送る。負担はかなりあると思うが、やってみなければ結果は分からない。毎年毎月やることで意味があると思う。
- ・ホームページの内容を充実させる。(同様1...活用させる)
- ・町のお金の使い道を細かく調べて広報などに載せる。
- ・広報を通して皆にわかりやすい神川町を自慢できる町にする。

【行財政】

(行政)

- ・役場の職員が多い。(同様15...暇そうにしている)
- ・役場の職員の対応を良くしてほしい。(同様16...速やかに、待たされる、差別しない、プライバシー)

一への配慮、無駄話が多い)

- ・役場の方々は親切な方が多いので良い。(同様1)
- ・役場の職員の給料、人員の削減。浮いたお金でサービスの向上を図る。(同様1)
- ・役場職員は土日が休みなので、利用して地域のボランティアを積極的にしてほしい。地域の模範となるべき。地域の役員のご用聞きもボランティアの一つ。
- ・町の職員は町の外での情報に敏感になってほしい。まちづくりや住民に利益となるものを進んで呼び込むことが必要
- ・会社は1/3が派遣社員で、仕事も厳しく休日返上、ボーナスほぼ0で頑張ってきた。少し景気良くなったからといって、真っ先に色々の面で苦しめられるのはこういう人達。働き場のない人達が増え医療費等、支払えない人達が出来てしまうのは当然、考え直すべき。町民のサービスを削るより職員の改革を積極的にするべき。
- ・町民全てに公平、平等な行政にしてほしい。(同様1)
- ・行政全体がもっと高い意識をもってもらいたい。
- ・行政及び議会のお手盛りはやめてほしい。
- ・「すぐやる課」などを作って実行してもらいたい。
- ・窓口受付等の時間を延長してほしい。(同様1)
- ・手続き等面倒なところが多く、その用紙が経費の無駄である。
- ・施設をつくっておわり、ただやるのではなく、維持管理やその後をしっかりと。
- ・担当の管轄を分ける必要があるのは承知しているが、よりよい環境を整えていく。
- ・箱物行政はしない、公共施設の有効活用。(同様2)
- ・役場組織を風通しのよいものにすることが必要。

(町長、議会)

- ・議員の人数が多い。(同様12...定数12,14名、合併と同時に減らせればよかった、委員会も削減)
- ・町長、町議会の皆様達に神川町に根を下ろして町の発展のため頑張ってもらいたい。(同様1)
- ・町長や議員は選挙の時ばかり自宅へ来たりするが、その他の時は全く無視で凄く腹が立つ。
- ・助役はいらないのではないかな。
- ・議員は住民がどのような生活をしているか、困っていることはないか、区長との連携を密にしてほしい。
- ・議員の議会出席の日当は、給料があるから必要ない。通勤手当の実費のみで良いと思う。
- ・町長は若い人に変えた方がいいと思う。(同様1)
- ・レベルの高い町議会にしてほしい。
- ・収入役が助役に昇格したこと、同じ人間が町の重要なポストをあちこち異動して行政に加わることはおかしいと思う。他の人材を掘り起こしてほしいと思う。
- ・町長選、年寄り知名度だけで田村町長に投票している。これでは選挙ではない。

(財政)

- ・税金を有効に使ってほしい。無駄遣いしないでほしい。(同様8...中途半端な事業はいらない、必要な人、高齢者、障害者につかってほしい)
- ・税金を取りすぎ。安くしてほしい。(同様1)
- ・夕張市にならないよう努力してもらいたい。(同様2)
- ・住民税が高すぎる。他の市町村と同じ額ならもっと便利なところに住む。(同様1)

- ・支出を抑えた行政を目指してほしい。サービス施設などは収益が上げられるくらいでないと思目だ
と思う。町の使われていない空き地や建物などは処分又は1カ所にまとめる。(同様2)
- ・「行政は経営である」という職員の意識改革が必要。経営には三役の指導を期待する。
- ・目的のために使われていない、活かされていない補助金のカット等再点検が必要。
- ・%による課税負担でなく無収入、生活保護家庭は負担しないでも済む行政が人道。無収入に課して
も集金の赤字は当然。
- ・水道料、国保税等税金が高くなり、家計がきつい。福祉も国が削る一方。老後を考えると不安。
- ・限られた財源に対し、増えていく社会保障費。無駄な公共施設を作らず、民営化できるものは民営
化し、大勢の人が働ける工場誘致、地場産業の振興を促進して、徹底的に無駄をなくし、もったい
ない運動を展開し、自然豊かな神川町で安心して暮らせるまちにしてほしい。

【合併】

(賛成)

- ・市町村合併をさらに進めてほしい。
- ・本庄市との合併早期実現。(同様2...財政たてなおし)
- ・最初は戸惑ったが、幼稚園で延長教育が始まり保育園とほぼ同じサービスが受けられ満足。

(反対)

- ・市町村合併は反対。(同様1)
- ・神川町のように農林業が多く山や田畑で土地面積が広い地方では、合併することで不便になる事柄
が多い。住民個人も行政も散財が増している。
- ・合併しても何も変わっていない。今の状態が続くのならば合併しても意味がない。
- ・神川町が誕生してまだ日が浅く、町全体のことがまったくわからないし、交流の場もない。

(その他)

- ・合併により町の財産も増えた。将来生かすも殺すも町民、町政の考えにかかっている。
- ・合併し、施設や観光地(見所)が地理的にもわからない。パンフレット等の企画があればよい。
- ・神川のやり方を旧神泉に押しつけている。よい点はとりあげて新しい取り組みをしてほしい。
- ・神泉村と合併したことにより神川町のイメージも変わってくる。
- ・合併したお互いのよいところをアピールし、新神川町が発展できるようにする。

【その他】

(アンケート)

- ・若者達にアンケートしてもらおうと良いのでは。(同様1...20歳以下、中高生)
- ・アンケート調査がまちづくりに活かされることを望む。(同様1)
- ・今回のアンケートは家庭を持っている人を対象にしたアンケートのようだった。家庭を持っている
人と独身では回答が違うと思う。わからないという回答が増えると思う。
- ・高齢者ゆえあまり参加できないことが残念。
- ・調査問題、全体としてはよいと思う。
- ・アンケートはアンケートでしかない。
- ・アンケートと自分の考えが合わず、どの番号に をつけるか迷った。アンケートだと答えをいくつ
か作ることになり、私個人の伝えたい答えとは少し異なるようになってしまう。

- ・調査の対象を無作為に選ぶと、高齢者、障害者にとってはむずかしく大変。
- ・アンケートは結構だが、協力した人にお礼はないのか。

(人口減少対策)

- ・人口を増やす(子どもが少なくなっているの)
- ・独自の施策を打ち出して「神川町に住みたい」と思えるようにする。
- ・若い人を移住させるため、住環境・子育て支援の充実を行い、インターネットや広告で町外にPR。
- ・交通、買い物、病院の不便さを実感。人を集めることによって、町に活気が出ると思う。
- ・他市町村に比べインパクトがないので、自然に過疎地になっていく。
- ・高齢化社会になっていくが、子どもたちが都会に出て帰ってきてくれるようなまちづくり。
- ・遊ぶところがないと若い人は離れていくだけ。ラーメン屋、公園、プールを作る。
- ・農業などの後継者が他市町へ働きに出かけ、高齢化の町となり、衰退の一途と思う。そこで大々的に魅力あるまちづくりをしてほしい。例えば商業、工業(企業)、住宅誘致各ゾーンをつくり、関連するプロジェクトをつくり計画立てる。現状では人口増、税収も見込めない。
- ・町の人口を増やすため、税金の負担を軽くする。

(その他)

- ・学校指定のものなど、安価か自由になるとうれしい。
- ・これといった産業や資源がないので人が資源だが、疎かになっている。
- ・総合計画は総花的な計画ではなく、何に力点をおいてまちづくりを進めていくか、特徴や方針のわかる計画書にしてほしい。
- ・世代交代をして若い時代の町にしてほしい。考え方を変えるように。
- ・現状に不満はないので、このままあまり変わらずにいてもらえればと思う
- ・神川町には何がある。そのある物を利用しなければバカである。
- ・もっと町が発展するように頑張ってもらいたい。
- ・いろいろたくさんありすぎてよくわからない。
- ・8年近く駐在所の訪問が一度もない。
- ・電話番号0274を埼玉に直してほしい。
- ・無駄なこと、くだらないことはやめてほしい。
- ・無駄なことはしないでほしい。
- ・うちの子を役場に入れて下さい。
- ・税金を投入しないこと。

【まちづくりのイメージ】

- ・弱者にやさしいまちづくり。(同様2)
- ・明るく活気のあるまちづくり。(同様2)
- ・子どもたちにとっても安心・安全なまちづくり。(同様1)
- ・自然と都市が調和したまちづくり。(同様1)
- ・環境と文化の保全を中心とした、住環境重視のまちづくり。
- ・公害のない自然環境の良いまちづくりを進めてほしい。
- ・町長が言われていた「心」を大切にすまちづくり。
- ・子どもや老人が安心して住めるまちづくり。

- ・きれいな町並み、住みよい町、ごみなし運動など住んでみたいと思えるまちづくり。教育も、働く場所も、自然環境も充実し、町民一人ひとりを大切に、健康で楽しく生涯学習で学べるところ。
- ・今、古がうまく調和したまちづくりを行ってほしい。
- ・農業、商業、住宅環境が全て共存できる町。
- ・美しい自然を残しつつ、文化、教育施設を充実させて住みよいまちづくり。
- ・自然を守りつつ発展する神川を考える。21世紀に向かって少子・高齢化を考えたまちづくり。
- ・「日々の生活」から住みよい町にしていきたい。
- ・生活が楽になるばかりではなく人間味のある町になってほしい。一人一人の感受性の豊かなまちづくり。
- ・自然・農業をいかし、財政を充実させ、子ども、高齢者に優しいまちをつかってほしい。
- ・今のすばらしい環境を大事にし、住民が豊かに明るく楽しく文化的に生活ができる環境づくり。
- ・今ある自然を壊さずに、住みやすいまちづくりをしてほしい。未来を担う子どもたちが安心して暮らし、その子どもたちが町に残れるまちづくり。
- ・形ばかりでなく人間を大切にする人間が自慢になるような町になってほしい。
- ・周辺の市町・産業・交通を考え、神川町がどんな役割を背負えるかを検討し、望ましい町のあるべき形を議論すべき。